

令和7年度第1回鴨川市地域福祉推進会議

日時 令和7年8月26日（火）午後2時～

場所 鴨川市総合保健福祉会館

2階 コミュニティホール

1 開 会

2 あいさつ

3 委員等紹介

4 議事録署名人の選出

5 議 題

（1）第4期計画策定にあたって【資料1】

- ① 計画の位置づけ
- ② 健康増進・地域福祉をめぐる国・県の動向
- ③ 鴨川市の健康福祉を取り巻く状況
- ④ 計画策定の方向性
- ⑤ 計画の構成（案）
- ⑥ 計画の期間・他計画との関連

（2）市民アンケート調査 調査報告書について【資料2】【資料2-2】

（3）地域福祉計画策定における今後の取り組み及びスケジュールについて

- ①今後の取り組み及びスケジュール【資料3】
- ②団体インタビューについて【資料3-2】

6 そ の 他

第1回合同会議及び第2回会議 令和7年10月22日（水） 鴨川市ふれあいセンター

（1）健康づくり推進協議会との第1回合同会議 午後1時30分 2階コミュニティホール

（2）第2回地域福祉推進会議 午後3時 2階研修室

7 閉 会

鴨川市地域福祉推進会議 委員名簿

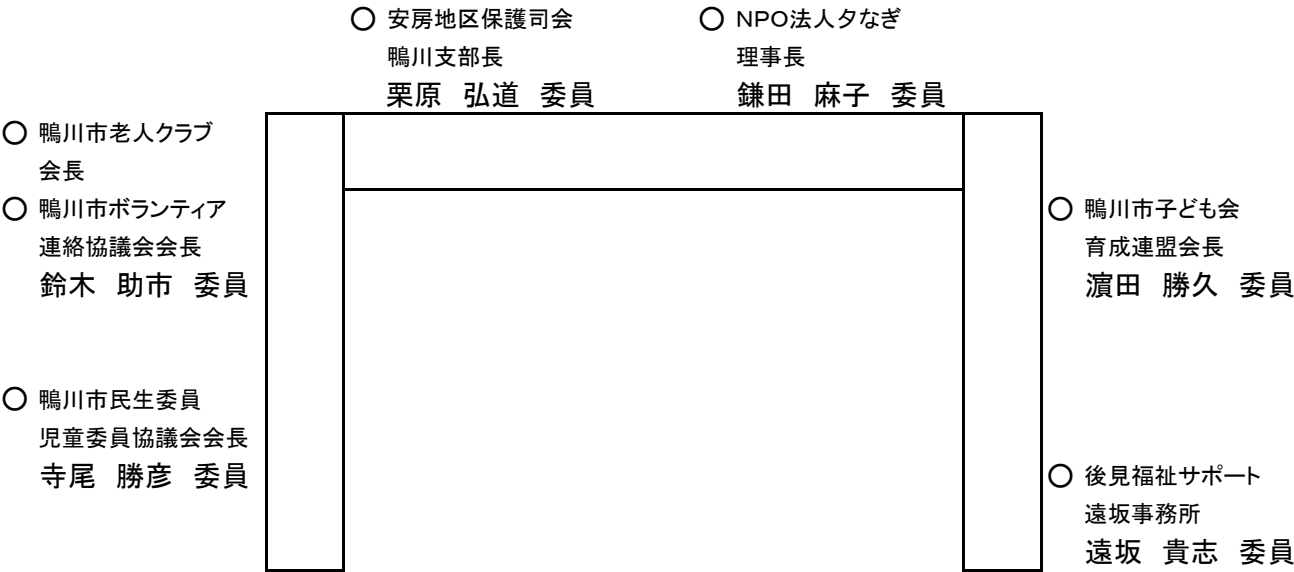
令和6年3月 27 日から令和8年3月 26 日まで

	区分	氏名	所属等	備考
1	福祉団体 等関係者	エノモト ユタカ 榎本 豊	鴨川市社会福祉協議会 会長	【委員長】
2	同上	テラオ カツヒロ 寺尾 勝彦	鴨川市民生委員児童委員協議会 会長	
3	同上	ススキ スケイチ 鈴木 助市	鴨川市ボランティア連絡協議会 会長 鴨川市老人クラブ連合会 会長	【副委員長】 ボランティア団体代表 高齢者団体代表
4	同上	クリハラ ヒロミチ 栗原 弘道	安房地区保護司会鴨川支部長	
5	同上	カマダ マヤコ 鎌田 麻子	NPO法人夕なぎ理事長	精神保健福祉士
6	識見を有 するもの	ハマダ カツヒサ 濱田 勝久	鴨川市子ども会育成連盟会長	
7	同上	トオサカ タカシ 遠坂 貴志	後見福祉サポート 遠坂事務所	社会福祉士

※順不同、敬称略

鴨川市地域福祉推進会議 席次表

日 時 令和7年8月26日(火) 午後2時
場 所 鴨川市総合保健福祉会館
2階 コミュニティホール



○健康推進課長 課長 長幡 祐自	○福祉課 課長 四宮 俊英	○議長 委員長 榎本 豊 委員	○福祉課 地域ささえあい係 係長 久保 正治
○子ども支援課 課長 嶋津 延枝	○鴨川市社会福祉協議会 事務局長 羽田 幸弘	○福祉課 課長補佐 渡邊 賢次	○健康推進課 保健予防係 係長 高橋 誠
○子ども支援課 子ども家庭センター センター長 鈴木卓	○鴨川市社会福祉協議会 地域福祉推進室 高橋 徹	○健康推進課 福祉総合相談センター 平川 健司	○健康推進課 課長補佐 石渡 一光
○ジャパンインターナショナル 総合研究所 研究員	○鴨川市社会福祉協議会 地域福祉推進室 吉田 華子	○健康推進課 福祉総合相談センター 濱崎 圭一	○福祉課 地域ささえあい係 久保 和正

「鴨川市健康福祉推進計画」策定にあたって

Ⅰ 計画の位置づけ

本計画は、社会福祉法第 107 条に基づく「地域福祉計画」と、健康増進法第8条第2項に基づく「健康増進計画」を一体として策定するもので、本市の健康・福祉に関する各種施策を総合的に推進していきます。

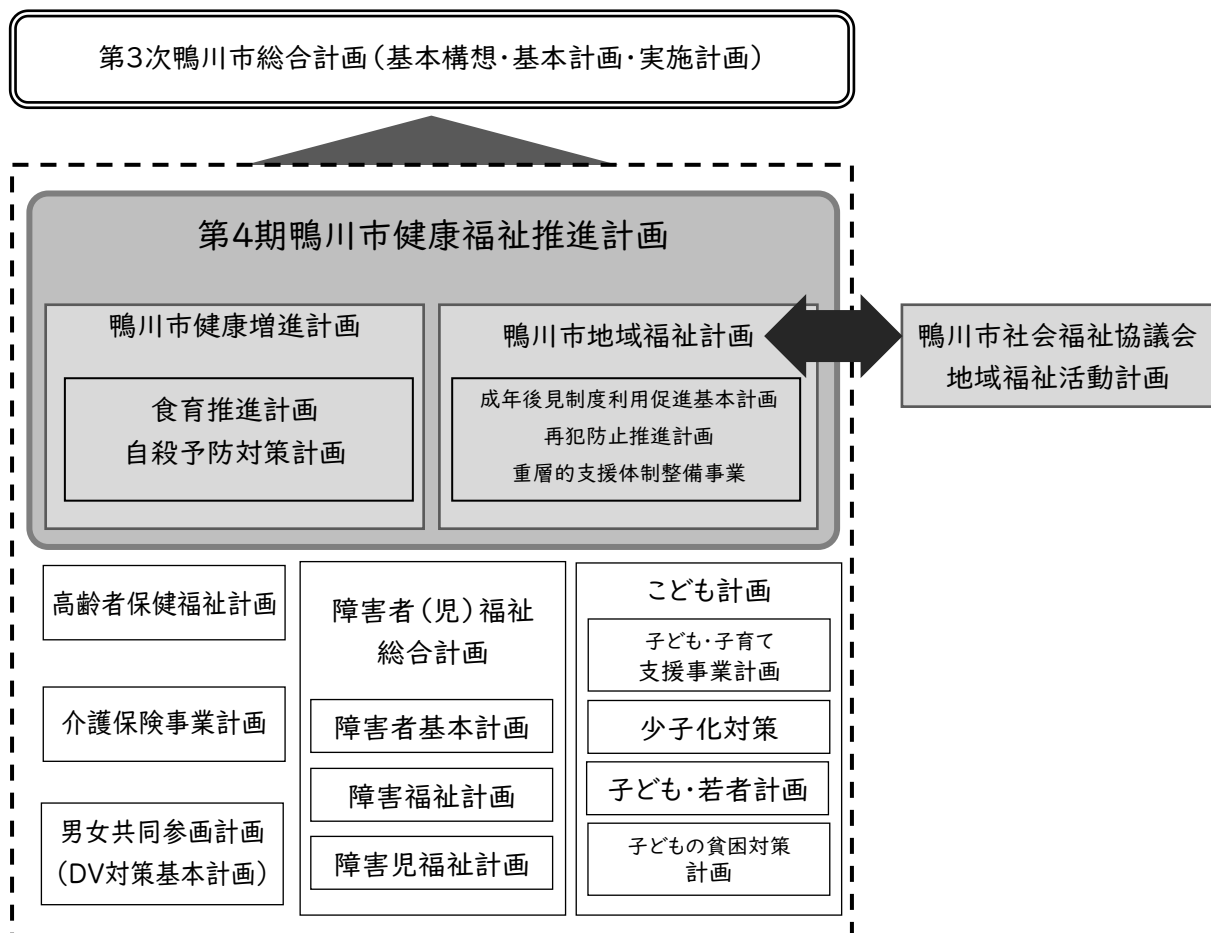
健康増進計画には、食育推進法第 18 条に定める「市町村食育推進計画」及び自殺対策基本法に基づく「市町村自殺対策計画」を包含するとともに、既存の個別計画との連携を図ります。

また、地域福祉計画には、成年後見制度の利用の促進に関する法律第 14 条に基づく「成年後見制度利用促進基本計画」及び再犯の防止等の推進に関する法律第8条に基づく「再犯防止推進計画」、社会福祉法第 106 条に基づく「重層的支援体制整備事業」を包含します。

策定に当たっては、「第3次鴨川市総合計画」を最上位計画として、まちづくりの基本理念や将来都市像、施策に掲げる目標を踏まえるとともに、本計画を各福祉分野の上位計画に位置づけ、関連計画との整合を図ります。

さらに、本市の地域福祉の推進に当たって、より具体的な活動・行動のあり方を定めた、鴨川市社会福祉協議会が策定する「鴨川市地域福祉活動計画」と連動したものとします。

■計画の位置付け



2 健康増進・地域福祉をめぐる国・県の動向

I) 健康増進分野

令和5年に「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部を改正する件（新基本指針）」が告示されました。

新たな「健康日本21（第三次）」では、人生100年時代を迎え、社会が多様化する中で、各人の健康課題も多様化しており、「誰一人取り残さない健康づくり」を推進することや、生活習慣の改善を含め、個人の行動と健康状態の改善を促すため、「より実効性をもつ取組」を推進することに重点を置いています。

第5次食育推進基本計画の策定も進められており、これらの新たな動きを踏まえながら、健康増進計画の策定を進める必要があります。

■国の動向

母子保健分野	令和3年「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」閣議決定 ●従来、母子保健の国民運動として取り組まれてきた「健やか親子21」が、成育医療等基本方針に基づく国民運動として位置づけられる
食育推進分野	令和3年「第4次食育推進基本計画」策定 ●重点事項として、「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」「持続可能な食を支える食育の推進」、横断的な重点事項として、「『新たな日常』やデジタル化に対応した食育の推進」が掲げられる
自殺対策分野	令和4年「新たな自殺総合対策大綱」閣議決定 ●子ども・若者や女性の自殺対策や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進 ●令和8（2026）年までに平成27（2015）年比30%以上減少を目標
健康増進分野	令和5年「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部を改正する件（新基本指針）」告示 ●「①健康寿命の延伸と健康格差の縮小」「②個人の行動と健康状態の改善」「③社会環境の質の向上」「④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」の4つが基本的方向性として掲げられる
歯科保健分野	令和6年「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（第2次）」展開 ●健康日本21（第三次）と連携し、生涯を通じた歯科口腔保健に係る施策等を総合的に推進

■県の動向

- 第4次千葉県食育推進計画 策定（令和4～8年度）
→令和6年時点の進捗状況として、朝食を欠食する20～30歳代の割合、農林漁業体験に参加したことがある県民の割合などが特に悪化・後退。
- 健康ちば21（第3次）策定（令和6年4月）
健康に関心の薄い層へのアプローチのための環境づくりに重点的に取り組む
- 「第3次千葉県歯・口腔保健計画」を策定（令和6～11年度）。
- 千葉県子ども・若者みらいプラン（令和7～11年度）に、成育医療等に関する計画を一体策定。
- 第2次千葉県自殺対策推進計画の中間見直し（令和6年4月）
子ども・若者、女性、孤独・孤立対策との連携、ICTの効果的活用等、総合的な対策の推進が示された。

II) 地域福祉分野

令和2年に「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が公布されて以降、生活困窮者自立支援法の他、孤独・孤立対策、成年後見制度、再犯防止など福祉分野に横断的にかかわる法改正や計画の見直しが行われています。

地域福祉を取り巻く状況は大きく動いており、これらの動きを踏まえながら、地域福祉計画の策定を進める必要があります。

成年後見制度	令和4年「第二期成年後見制度利用促進基本計画」閣議決定 ●全市町村で早期の基本計画策定が求められる(～令和6年度) ●重層的支援体制整備と連携することで効率的・効果的な実施が可能との通知(令和3年3月)
ひきこもり	令和4年度～ ひきこもり支援推進事業の拡充 ●内閣府の調査(令和5年3月):ひきこもり状態の方が50人に1人(推計) ●ひきこもり支援にかかる支援ハンドブックの策定(令和6年度)
再犯防止推進	令和5年「第二次再犯防止推進計画」閣議決定 ●国・地方公共団体・民間協力者等が連携した取り組みを推進 令和5年「地方再犯防止推進計画策定の手引き」改定 ●自治体における計画策定の標準的なプロセスが記載される
孤独・孤立対策	令和6年 孤独・孤立対策推進法 施行 ●地方公共団体は、孤独・孤立対策地域協議会を置くよう努めることが明記される 令和6年「孤独・孤立対策に関する施策の推進を図るための重点計画」閣議決定 ●孤独・孤立対策推進法に基づいて改定、孤独・孤立状態の予防をめざした取組強化 等
こども	令和5年 こども基本法 施行 令和6年 こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律 施行
生活困窮者	令和7年 生活困窮者自立支援法等の一部を改正する法律 施行 ●生活保護を受けている世帯の子どもや、経済的に厳しい単身の高齢者などへの支援を強化 ●住まいを確保するのが困難な人に対し、自治体等が入居から退去までの一貫した見守り支援を強化(一時生活支援事業が居住支援事業に変更)

■今後注視すべき国の動向

- 令和7年5月、社会福祉法改正に向け「地域共生社会の在り方検討会議」中間とりまとめが示される。
 →重層事業を活用せず、包括的な支援体制整備を進める自治体への支援に向けた議論の必要性。
 →成年後見制度における司法と福祉との連携強化が不可欠。
 →若者や身寄りのない高齢者に対する支援のあり方の検討。
- 住宅セーフティネット法改正(R7.10 施行)→市町村の居宅支援協議会設置が努力義務化。
- 生活困窮者自立支援制度における支援会議について、設置と活用が努力義務化。

■県の動向

- 「第四次千葉県地域福祉支援計画」策定(令和5年9月)
 →市町村による地域福祉推進への支援、福祉人材の確保・育成、地域福祉活動の推進、包括的な相談支援体制の強化などを推進。

3 鴨川市の健康福祉を取り巻く状況

①統計情報からみる状況

65 歳以上人口比率	世帯	外国人人口
令和 2 年⇒38.3%  令和 5 年⇒39.8% ⇒高齢者割合が約4割まで上昇	令和元年⇒世帯数:16,145 世帯 1 世帯当たり人員:2.04 人  令和 6 年⇒世帯数:16,061 世帯 1 世帯当たり人員:1.90 人 ⇒世帯の少人数化が進行	令和 2 年⇒668 人  令和 6 年⇒845 人 ⇒直近5年間で約 27%の増加。
自殺死亡率 (10 万人あたり自殺者数)	生活保護の総数	地域福祉センター利用状況
令和元年 千葉県:15.18 鴨川市:18.14  令和 6 年 千葉県:14.67 鴨川市:16.22 ⇒令和元年と比較し令和6年で低下するも、県よりやや高い。	令和 2 年⇒世帯数:225 世帯 世帯人員:259 人  令和 5 年⇒世帯数:248 世帯 世帯人員:284 人 ⇒今後も支援を要する方の増加が見込まれる。	平成 30 年⇒7,052 人  令和 5 年⇒4,511 人 ⇒コロナ禍の減少を経て回復しつつあるものの、以前の水準に回復せず
健康寿命(65 歳平均自立期間)	主要死因別死亡者の割合	要介護(要支援)認定率
平成28年⇒男性:17.87 年 女性:20.29 年  令和 3 年⇒男性:17.49 年 女性:20.42 年 ⇒健康寿命は、女性は延伸しているものの、男性は減少。男女ともに県全体の数値を下回る。	平成 30 年 がん・心疾患・脳血管疾患:49.5% 老衰:11.7%  令和4年 がん・心疾患・脳血管疾患:46.4% 老衰:12.7% ⇒特に心疾患の割合が 1.8 ポイント減少。	令和元年 千葉県:15.9% 鴨川市:19.3%  令和 5 年 千葉県:17.4% 鴨川市:19.8% ⇒県も上昇傾向にあるが、一貫して市が上回る。

鴨川市統計書(令和 6 年版)より

※65 歳以上人口比率:千葉県年齢別・町丁字別人口

※健康寿命:千葉県健康ナビ

※自殺死亡率:厚生労働省 地域における自殺の基礎資料

※認定率:介護保険見える化システム(各年3月末時点)

②アンケート調査からみる状況

令和6年度実施「鴨川市健康福祉推進計画策定のための市民アンケート調査 調査報告書」(別冊)を参照。

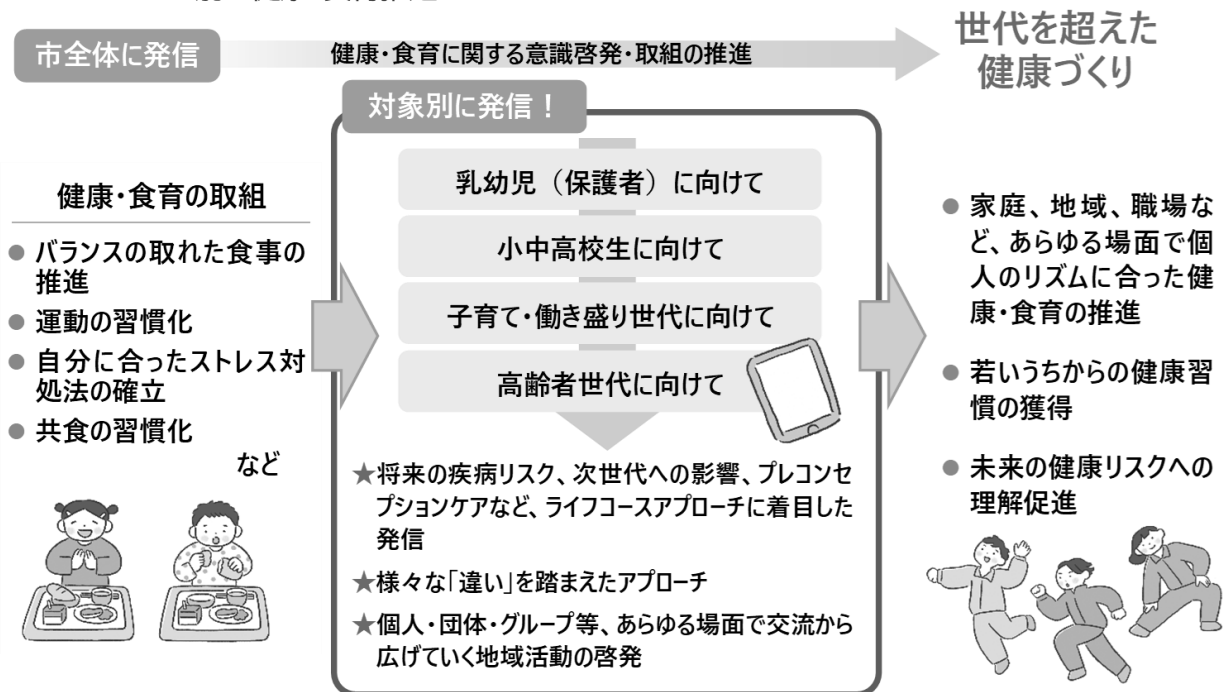
4 計画策定の方向性

I) 健康増進分野

鴨川市の主要死因をみると悪性新生物や循環器系疾患（心疾患・脳血管疾患等）が多くなっています。年齢別では、悪性新生物の死亡が50歳代あたりから増え始めること、また、循環器系疾患は生活習慣による高血圧や運動不足などが一因と言われており、若いうちからの健康的な習慣の獲得が重要です。

また、国の健康日本 21（第三次）において、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの視点が新たに示されました。特に重点的に関わる対象として、「こども」「高齢者」「女性」の3つのライフコースに着目した健康づくりが重要となります。

■ライフコース別の健康・食育推進のイメージ



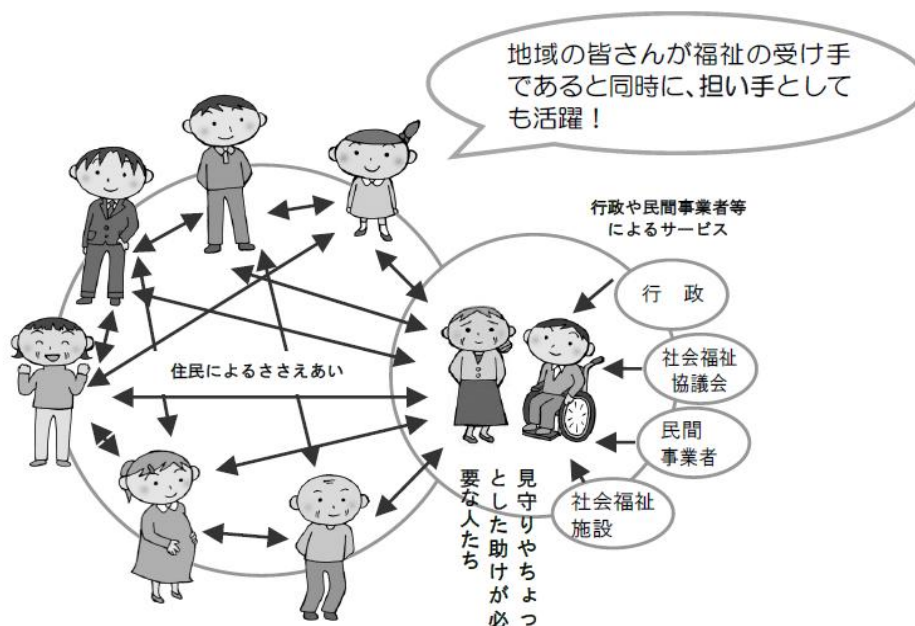
Ⅱ) 地域福祉分野

地域福祉とは

『地域福祉』とは、公的な福祉サービスだけではカバーしきれない生活課題を解消するため、住民相互の助け合い・ささえあいの力で、誰もが安心して暮らせるような地域社会をつくっていくことです。

鴨川市は、医療・福祉において社会資源に恵まれた環境にありますが、人口減少や少子高齢化の進行、医療・福祉ニーズが増大すると見込まれます。

そこで、住民が主体となって、地域生活課題の解決のために活動し、ふれあい、共にささえあう共生の地域づくりを目指し、「自立」「共生」「公共」という考え方を基本に、地域福祉を推進することが重要となります。



ア) 市町村再犯防止推進計画

市町村再犯防止推進計画とは、地域社会の理解と協力を得ながら、犯罪をした人などの円滑な社会復帰を支援することで再犯を防止し、安心して暮らせる社会を目指すものです。本計画では、新たに市町村再犯防止推進計画を包含します。

イ) 重層的支援体制整備事業

重層的支援体制整備事業とは、市町村における既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、地域の多様化する支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築を図るものです。

ウ) 孤独・孤立、若者、ヤングケアラー、ひきこもり対策のさらなる強化

これまで、高齢者の孤立防止など、制度の狭間や複合的な課題を抱えた市民への支援に努めてきましたが、国や県の方角性を踏まえ、より明確に「孤独・孤立、若者、ヤングケアラー、ひきこもり対策」等について取組を検討します。

5 計画の構成(案)

第1部 総論

- 第1章 計画の策定に当たって
 - 第1節 計画の背景・趣旨
 - 第2節 計画の位置付け
 - 第3節 計画の期間
 - 第4節 健康福祉に関する国・県の動向
- 第2章 鴨川市における健康福祉の現状及び課題
 - 第1節 健康福祉の現状
 - 第2節 健康福祉を取り巻く課題(総括)
- 第3章 健康福祉推進計画の基本的な考え方
 - 第1節 計画のコンセプト
 - 第2節 計画の方向性
 - 第3節 自立・共生・公共による健康福祉の推進
 - 第4節 重点的取り組み
 - 第5節 計画の推進体制

第2部 各論Ⅰ 健康増進計画 (食育推進計画・自殺予防対策計画)

- 第1章 計画の基本的な考え方
 - 第1節 健康づくりの基本的な考え方
 - 第2節 健康づくりの基本理念
 - 第3節 基本となる取り組みの方向・施策の体系
 - 第4節 重点項目
 - 第5節 第2期計画の進捗状況
- 第2章 基本的施策の展開
 - 第1節 ライフステージに応じた健康づくり
 - 第2節 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
 - 第3節 栄養・食生活による健康増進(食育推進計画)
 - 第4節 身体活動・運動による健康増進
 - 第5節 休養・こころの健康づくり(自殺予防対策計画)
 - 第6節 喫煙・飲酒対策の充実
 - 第7節 歯と口腔の健康づくり
 - 第8節 地域連携・協働による健康をささえる基盤づくりの推進

国や県に合わせて、ライフ
フコースの考え方を追加

国や県に合わせて、自然
に健康になれる環境づく
り、健康にアクセスしや
すい環境づくりを追加

第3部 各論Ⅱ 地域福祉計画

- 第1章 計画の基本的な考え方
 - 第1節 地域福祉の基本的な考え方
 - 第2節 地域福祉の基本理念
 - 第3節 基本となる取り組みの方向・施策の体系
 - 第4節 重点項目
 - 第5節 第2期計画の進捗状況
 - 第6節 社会福祉協議会の取り組み(地域福祉活動計画)
- 第2章 基本的施策の展開
 - 第1節 ふれあい、ささえあいのある地域づくり
 - 第2節 地域づくりを支える包括的な仕組みづくり
 - 第3節 安心して生活できる環境づくり
 - 第4節 災害等の非常事態に備える体制づくり
 - 第5節 権利と利益を守る体制づくり(成年後見制度利用促進基本計画)
 - 第6節 再犯を防止し、地域で支える体制づくり(再犯防止推進計画)【新規】

※第3部に
重層的支援体制整備事業
に関する内容を包含

新たに、再犯防止に
関する計画を追加

6 計画の期間・他計画との関連

本計画は、令和8年度から令和12年度の5か年を計画期間とします。計画の推進にあたっては、市の最上位計画である総合計画を踏まえるとともに、他の関連計画との整合・連携を図ります。

■関連計画の例

年度 計画	R7	R8	R9	R10	R11	R12
総合計画	第2次	次期計画				
地域健康福祉 計画	現行計画	次期計画				
こども計画	現行計画					次期計画
高齢者保健福祉 計画等	第9期		次期計画			
障害者計画	現行計画	次期計画				
障害福祉計画・ 障害児福祉計画	第7期・第3期		次期計画			
県 地域福祉支 援計画	第4次		次期計画			

鴨川市健康福祉推進計画策定
のための市民アンケート調査
調 査 報 告 書

令和7年3月
鴨川市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の概要	3
2. 報告書を見る際の留意点	4
第2章 調査結果	5
1. 宛名の方及び家族のことについて	7
2. 地域福祉について	14
3. 福祉のまちづくりについて	36
4. 災害時に対する備えについて	63
5. 健康状態と健康への備えについて	68
6. かかりつけ医について	91
7. 鴨川市の健康・福祉について	93
第3章 調査票	117

第 1 章 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「鴨川市健康福祉推進計画」の策定にあたり、近所付き合いや地域活動への参加状況、健康福祉活動などの実態及び市民の考え方や意識の傾向を把握し、今後の地域福祉施策及び健康増進施策を検討するための基礎資料とするために実施しました。

(2) 調査項目

本調査は、以下の内容で構成しています。

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 宛名の方及び家族のことについて | (問 1～8) |
| 2. 地域福祉について | (問 9～19) |
| 3. 福祉のまちづくりについて | (問 20～34) |
| 4. 災害時に対する備えについて | (問 35～38) |
| 5. 健康状態と健康への備えについて | (問 39～55) |
| 6. かかりつけ医について | (問 56) |
| 7. 鴨川市の健康・福祉について | (問 57～59) |

(3) 調査設計

調査区域：鴨川市全域

調査対象：鴨川市内在住の 18 歳以上の市民

標 本 数：2,000 人

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（令和 7 年 1 月 1 日時点）

実施時期：令和 7 年 2 月 14 日～3 月 6 日

実施方法：郵送による配布、郵送・W e b 回収

(4) 回収結果

有効回収数：843 件（郵送：638 件、W e b：205 件）

有効回収率：42.2%

2. 報告書を見る際の留意点

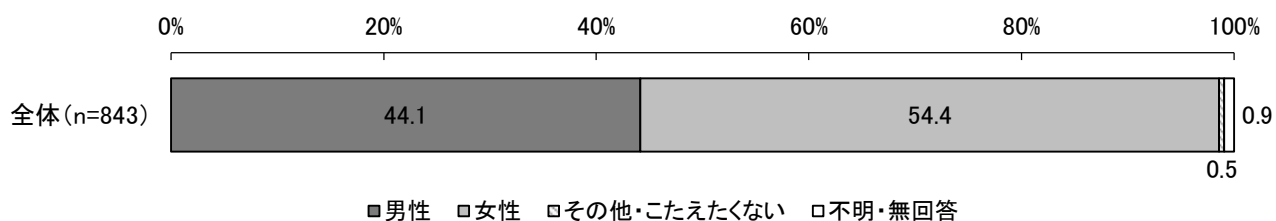
- ・回答結果の割合（％）は、その質問の回答者数を基数（n）として、少数第2位を四捨五入して算出しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つを選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100％にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の場合は、回答結果の割合（％）の合計値が100％を超えることがあります。
- ・図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- ・選択肢の語句が長い場合は、本文や表・グラフ中で省略した表現を用いることがあります。
- ・表・グラフの、整数は回答者数（単位：人）、小数第1位までの数値は百分率（単位：％）を、それぞれ表しています。
- ・複数回答のクロス集計表については、回答率1位までの項目に網かけをしています。なお、同率回答がある場合については、2つの項目に網かけをしています。

第 2 章 調査結果

1. 宛名の方及び家族のことについて

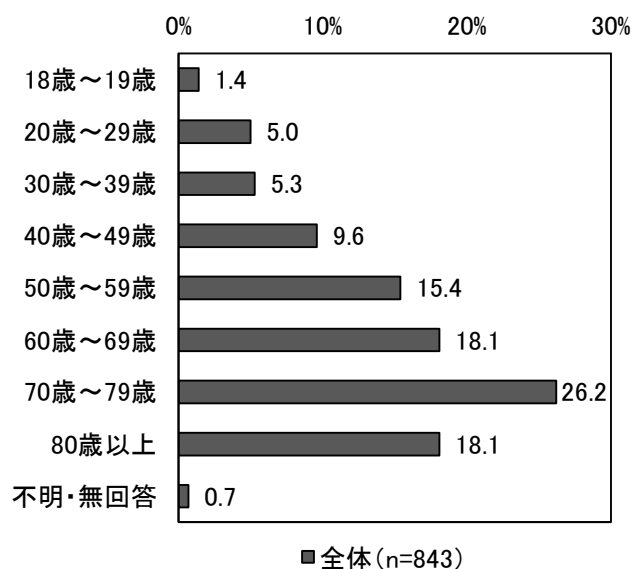
問1 あなたの性別はどれですか。(○は1つ)

宛名の方の性別については、「男性」が4割、「女性」が5割と、「女性」の割合が多くなっています。



問2 あなたの年齢はどれですか。(○は1つ)

宛名の方の年齢については、「70～79 歳」が最も多く、次いで「60～69 歳」および「80 歳以上」となっています。

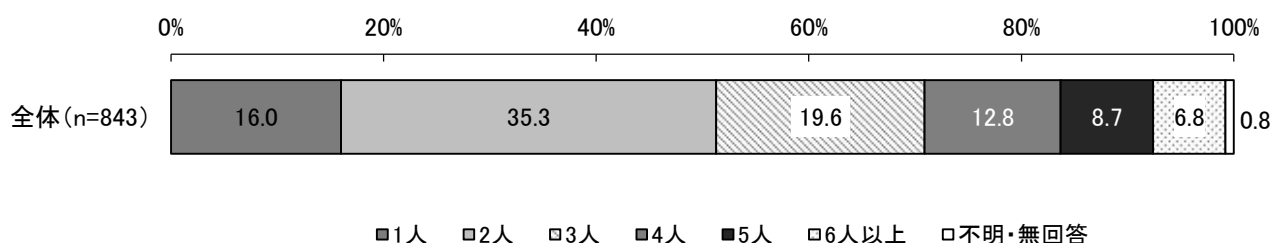


問3 ご家族はあなたを含めて何人ですか。(○は1つ)

宛名の方の家族の人数については、「2人」が最も多く、次いで「3人」「1人」となっています。

性別にみると、男女ともに「2人」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下と40歳代で「3人」、30歳代で「4人」、50歳代以上で「2人」が最も多くなっています。



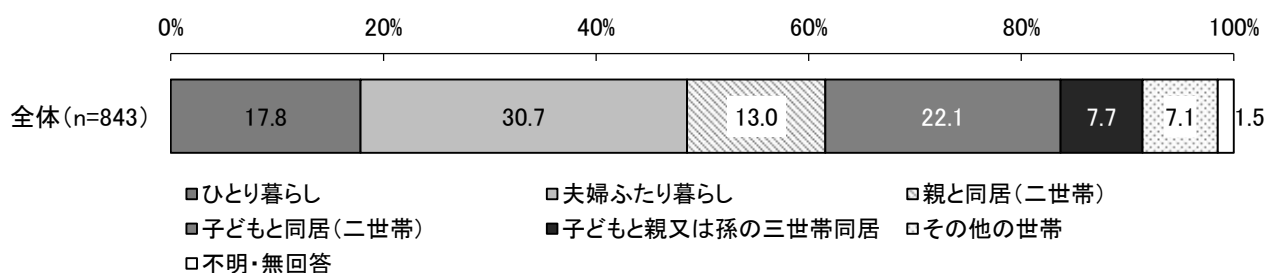
単位: %		n (人)	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	不明・ 無回答
全体	今回	843	16.0	35.3	19.6	12.8	8.7	6.8	0.8
	前回	806	11.9	30.5	22.1	15.1	10.2	9.2	1.0
性別	男性	372	14.8	37.1	21.5	14.0	6.2	6.5	0.0
	女性	459	17.0	34.4	18.5	11.5	10.9	7.2	0.4
年代別	20歳代以下	54	16.7	7.4	24.1	18.5	16.7	14.8	1.9
	30歳～39歳	45	6.7	8.9	22.2	33.3	20.0	8.9	0.0
	40歳～49歳	81	7.4	12.3	28.4	23.5	18.5	9.9	0.0
	50歳～59歳	130	12.3	30.8	15.4	20.8	12.3	7.7	0.8
	60歳～69歳	153	15.7	43.1	23.5	7.8	5.9	3.9	0.0
	70歳～79歳	221	16.7	51.1	17.6	5.4	3.6	5.4	0.0
	80歳以上	153	26.1	39.2	15.7	8.5	4.6	5.9	0.0

問4 あなたの世帯構成はどれにあてはまりますか。(○は1つ)

宛名の方の世帯構成については、「夫婦ふたり暮らし」が最も多く、次いで「子どもと同居（二世帯）」「ひとり暮らし」となっています。

性別にみると、男女ともに「夫婦ふたり暮らし」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下で「親と同居（二世帯）」、30歳代から50歳代で「子どもと同居（二世帯）」、60歳代以上で「夫婦ふたり暮らし」が最も多くなっています。



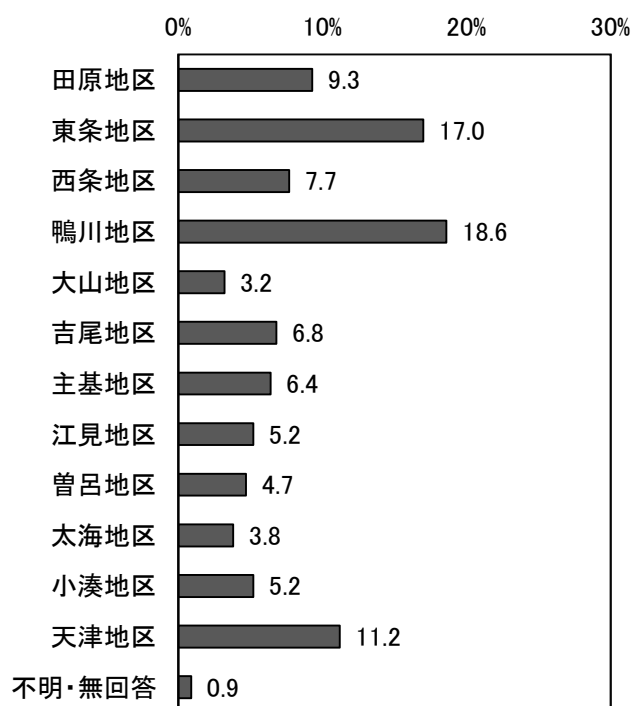
単位: %		n (人)	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	親と同居 (二世帯)	子どもと同居 (二世帯)	子どもと親 又は孫の三 世帯同居	その他の 世帯	不明・ 無回答
全 体	今回	843	17.8	30.7	13.0	22.1	7.7	7.1	1.5
	前回	806	13.4	28.2	11.7	29.4	9.6	6.6	1.2
性 別	男性	372	16.7	33.6	14.2	22.0	5.9	6.7	0.8
	女性	459	18.7	29.0	12.2	22.0	9.4	7.6	1.1
年 代 別	20歳代以下	54	29.6	5.6	44.4	1.9	7.4	9.3	1.9
	30歳～39歳	45	4.4	8.9	24.4	44.4	8.9	8.9	0.0
	40歳～49歳	81	6.2	11.1	24.7	38.3	11.1	7.4	1.2
	50歳～59歳	130	13.8	20.0	20.8	23.8	10.8	10.0	0.8
	60歳～69歳	153	15.0	39.2	13.1	14.4	7.8	9.2	1.3
	70歳～79歳	221	19.9	46.2	3.6	19.9	5.4	4.5	0.5
	80歳以上	153	27.5	35.9	0.0	23.5	6.5	5.2	1.3

問5 あなたが住んでいる地区はどこですか。(○は1つ)

宛名の方の居住地区については、「鴨川地区」が最も多く、次いで「東条地区」「天津地区」となっています。

性別にみると、男女ともに「鴨川地区」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下と50歳代、80歳以上で「鴨川地区」、30～40歳代、70歳代で「東条地区」、60歳代で「鴨川地区」と「天津地区」が最も多くなっています。



■全体 (n=843)

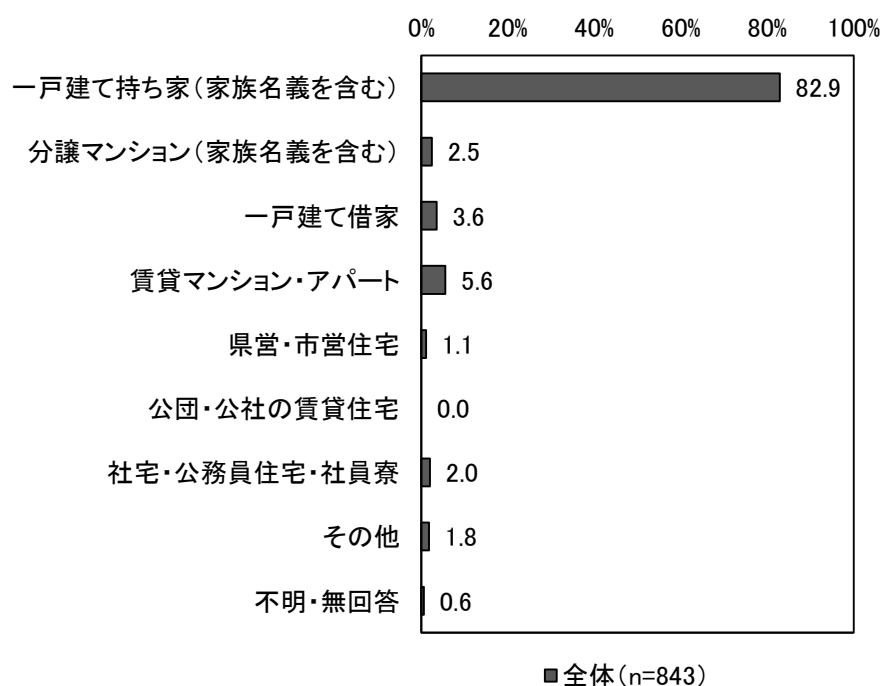
単位: %		n (人)	田 原 地 区	東 条 地 区	西 条 地 区	鴨 川 地 区	大 山 地 区	吉 尾 地 区	主 基 地 区	江 見 地 区	曾 呂 地 区	太 海 地 区	小 湊 地 区	天 津 地 区	不 明 ・ 無 回 答
全 体	今回	843	9.3	17.0	7.7	18.6	3.2	6.8	6.4	5.2	4.7	3.8	5.2	11.2	0.9
	前回	806	8.9	17.5	9.1	18.9	4.5	5.8	4.8	5.3	4.6	4.6	4.6	10.9	0.5
性 別	男性	372	9.4	17.5	7.0	19.1	3.8	6.7	5.9	4.6	5.1	5.4	5.6	9.7	0.3
	女性	459	9.2	16.8	8.3	18.3	2.8	7.0	7.0	5.9	4.6	2.2	5.0	12.6	0.4
年 代 別	20歳代以下	54	5.6	29.6	7.4	33.3	0.0	3.7	1.9	3.7	3.7	1.9	0.0	9.3	0.0
	30歳～39歳	45	15.6	28.9	15.6	20.0	4.4	2.2	2.2	2.2	0.0	4.4	2.2	2.2	0.0
	40歳～49歳	81	9.9	22.2	9.9	17.3	0.0	4.9	4.9	4.9	3.7	3.7	4.9	13.6	0.0
	50歳～59歳	130	7.7	13.1	10.0	20.0	3.8	6.2	7.7	4.6	4.6	6.2	1.5	14.6	0.0
	60歳～69歳	153	7.2	10.5	4.6	13.7	2.6	12.4	9.2	9.2	6.5	5.2	5.2	13.7	0.0
	70歳～79歳	221	10.4	20.4	6.3	15.4	3.6	7.7	6.3	3.6	5.4	3.2	6.8	9.5	1.4
	80歳以上	153	10.5	11.1	7.8	22.9	5.2	3.9	6.5	5.9	4.6	2.0	9.2	10.5	0.0

問6 現在、あなたのお住まいは次のどれですか。(〇は1つ)

宛名の方の現在の住まいについては、「一戸建て持ち家」が最も多く、次いで「賃貸マンション・アパート」「一戸建て借家」となっています。

性別にみると、男女ともに「一戸建て持ち家」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「一戸建て持ち家」が最も多くなっています。また、20歳代以下で「賃貸マンション・アパート」が2割台と、他の年代に比べて多くなっています。



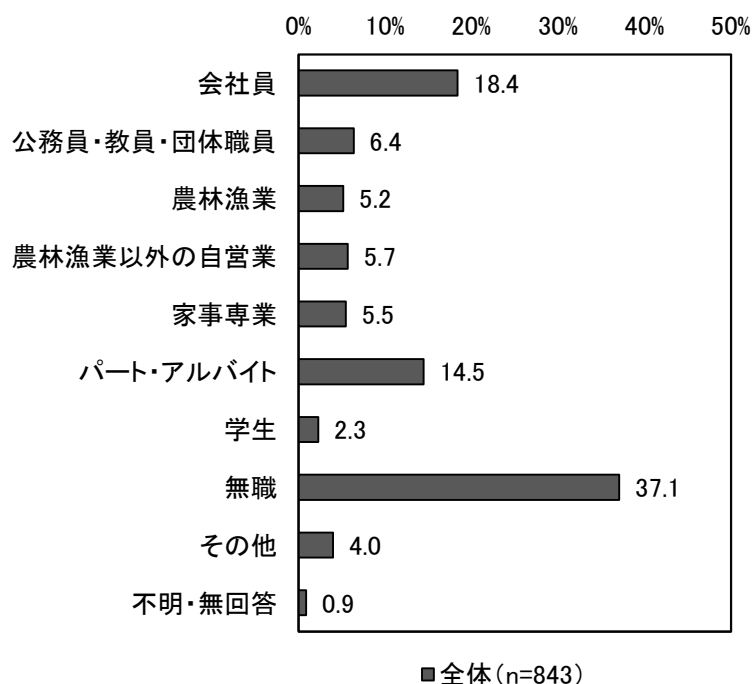
単位: %		n (人)	(一戸建て持ち家を含む)	(分譲マンションを含む)	一戸建て借家	賃貸マンション・アパート	県営・市営住宅	公団・公社の賃貸住宅	社宅・公務員住宅・社員寮	その他	不明・無回答
全体	今回	843	82.9	2.5	3.6	5.6	1.1	0.0	2.0	1.8	0.6
	前回	806	87.6	1.0	1.9	5.5	0.9	0.0	1.5	1.1	0.6
性別	男性	372	84.1	3.2	3.8	4.8	0.8	0.0	1.3	1.9	0.0
	女性	459	83.0	2.0	3.5	6.1	1.3	0.0	2.4	1.7	0.0
年代別	20歳代以下	54	51.9	1.9	3.7	25.9	1.9	0.0	14.8	0.0	0.0
	30歳～39歳	45	73.3	2.2	4.4	13.3	2.2	0.0	2.2	2.2	0.0
	40歳～49歳	81	79.0	2.5	8.6	3.7	1.2	0.0	3.7	1.2	0.0
	50歳～59歳	130	76.2	2.3	5.4	10.8	1.5	0.0	2.3	1.5	0.0
	60歳～69歳	153	88.2	4.6	0.7	3.3	0.0	0.0	0.7	2.6	0.0
	70歳～79歳	221	90.5	0.9	3.6	2.3	0.5	0.0	0.5	1.8	0.0
	80歳以上	153	90.8	3.3	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0

問7 あなたの職業は、次のどれですか。(〇は1つ)

宛名の方の職業については、「無職」が最も多く、次いで「会社員」「パート・アルバイト」となっています。

性別にみると、男女ともに「無職」が最も多くなっています。また、男性で「会社員」、女性で「パート・アルバイト」が2割台と多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下で「学生」、30～50歳代で「会社員」、60歳代以上で「無職」が最も多くなっています。



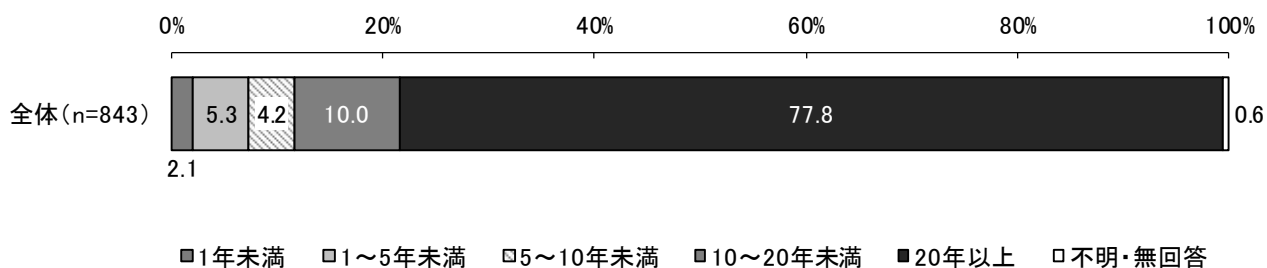
単位: %		n (人)	会社員	公務員・教員・団体職員	農林漁業	農林漁業以外の自営業	家事専業	パート・アルバイト	学生	無職	その他	不明・無回答
全体		843	18.4	6.4	5.2	5.7	5.5	14.5	2.3	37.1	4.0	0.9
性別	男性	372	22.3	8.1	8.3	8.1	1.1	6.2	1.6	39.2	4.8	0.3
	女性	459	15.3	5.0	2.8	3.9	8.9	21.4	2.8	36.2	3.3	0.4
年代別	20歳代以下	54	29.6	14.8	0.0	1.9	0.0	11.1	35.2	1.9	5.6	0.0
	30歳～39歳	45	42.2	13.3	8.9	4.4	6.7	15.6	0.0	4.4	4.4	0.0
	40歳～49歳	81	44.4	12.3	0.0	7.4	2.5	24.7	0.0	4.9	3.7	0.0
	50歳～59歳	130	40.8	13.1	3.1	10.0	3.1	18.5	0.0	7.7	3.1	0.8
	60歳～69歳	153	15.7	7.8	5.2	5.9	5.9	19.6	0.0	36.6	3.3	0.0
	70歳～79歳	221	2.7	0.5	6.8	5.9	9.5	14.9	0.0	55.7	3.6	0.5
	80歳以上	153	0.7	0.0	8.5	2.6	4.6	1.3	0.0	75.8	5.9	0.7

問8 鴨川市にあなたは何年住んでいますか。(○は1つ)

宛名の方の居住年数については、「20年以上」が最も多く、次いで「10～20年未満」「1～5年未満」となっています。

性別にみると、男女ともに「20年以上」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下で「10～20年未満」と「20年以上」、30歳代以上で「20年以上」が最も多くなっています。



単位: %		n (人)	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	不明・無回答
全体		843	2.1	5.3	4.2	10.0	77.8	0.6
性別	男性	372	1.9	5.1	5.4	8.9	78.5	0.3
	女性	459	2.4	5.4	3.1	10.9	78.2	0.0
年代別	20歳代以下	54	7.4	18.5	11.1	31.5	31.5	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	22.2	11.1	20.0	44.4	0.0
	40歳～49歳	81	1.2	3.7	6.2	19.8	69.1	0.0
	50歳～59歳	130	3.8	4.6	3.8	10.0	76.9	0.8
	60歳～69歳	153	2.0	4.6	3.9	2.6	86.9	0.0
	70歳～79歳	221	0.9	1.8	2.3	7.7	87.3	0.0
	80歳以上	153	1.3	2.6	2.0	5.2	88.9	0.0

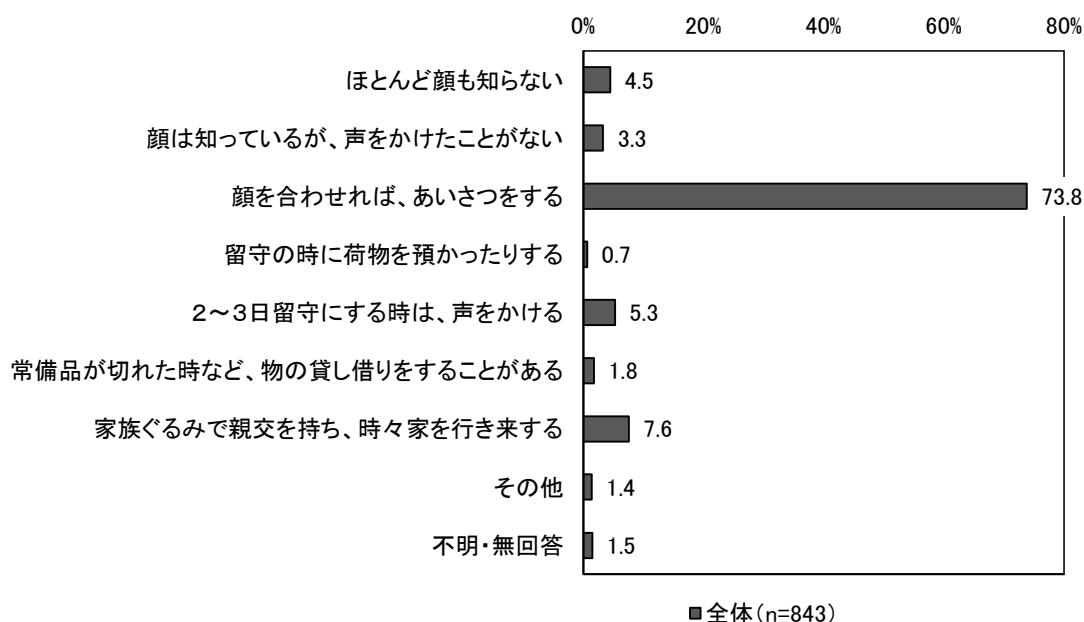
2. 地域福祉について

問9 あなたは、普段ご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(〇は1つ)

普段ご近所とどの程度の付き合いをしているかについては、「顔を合わせれば、あいさつをする」が最も多く、次いで「家族ぐるみで親交を持ち、時々家を行き来する」「2～3日留守にする時は、声をかける」が最も多くなっています。

性別にみると、男女ともに「顔を合わせれば、あいさつをする」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「顔を合わせれば、あいさつをする」が最も多くなっています。また、20歳代以下で「ほとんど顔も知らない」と「顔は知っているが、声をかけたことがない」が他の年代に比べて多くなっています。

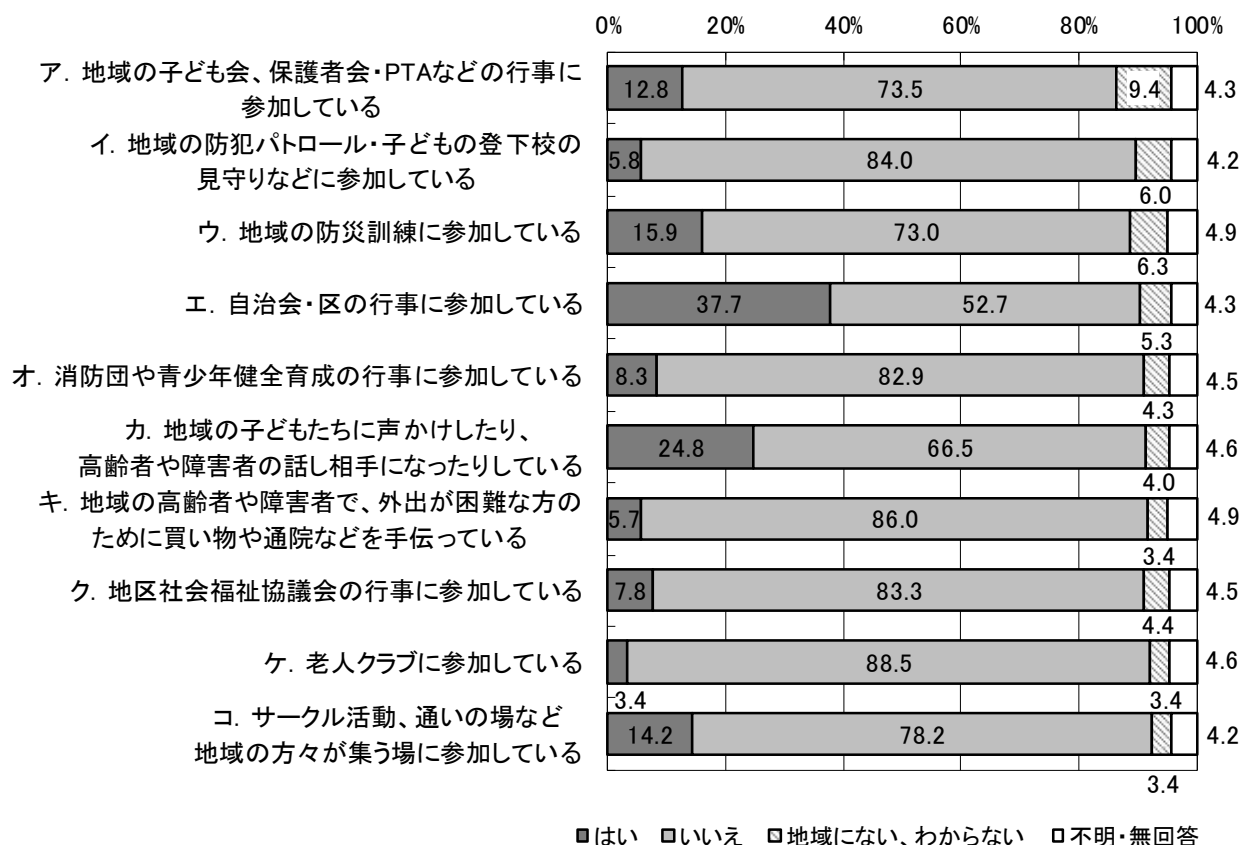


単位: %		n (人)	ほとんど顔も知らない	顔は知っているが、声をかけたことがない	顔を合わせれば、あいさつをすれば、	留守の時に荷物を預かったりする	2～3日留守にする時は、声をかける	常備品が切れた時など、物の貸し借りをすることがある	家族ぐるみで親交を持ち、時々家を行き来する	その他	不明・無回答
全体	今回	843	4.5	3.3	73.8	0.7	5.3	1.8	7.6	1.4	1.5
	前回	806	2.2	0.7	74.4	1.4	7.9	2.1	9.3	0.7	1.1
性別	男性	372	2.7	4.0	78.0	0.5	4.0	1.9	6.2	1.1	1.6
	女性	459	5.4	2.6	71.2	0.9	6.5	1.5	8.9	1.7	1.1
年代別	20歳代以下	54	18.5	25.9	53.7	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0
	30歳～39歳	45	11.1	8.9	73.3	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	2.2
	40歳～49歳	81	4.9	2.5	87.7	0.0	0.0	1.2	3.7	0.0	0.0
	50歳～59歳	130	5.4	0.8	78.5	0.8	3.1	1.5	8.5	0.0	1.5
	60歳～69歳	153	6.5	1.3	73.9	1.3	6.5	1.3	6.5	1.3	1.3
	70歳～79歳	221	0.5	0.5	75.1	0.0	8.6	1.4	10.9	1.8	1.4
	80歳以上	153	0.0	2.6	68.6	2.0	7.8	3.3	9.8	3.9	2.0

問 10 次の項目にお答えください。(○は各項目1つ)

地域活動等については、「自治会・区の行事に参加している」が最も多く、次いで「地域の子どもたちに声かけしたり、高齢者や障害者の話し相手になったりしている」「地域の防災訓練に参加している」となっています。

また、「地域の子ども会、保護者会・PTAなどの行事に参加している」は、「地域にない、わからない」が1割と、他の項目に比べて多くなっています。



ア 地域の子ども会、保護者会・PTAなどの行事に参加している

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	12.8	73.5	9.4	4.3
	前回	806	15.3	72.2	6.7	5.8
性 別	男性	372	13.2	73.7	8.3	4.8
	女性	459	12.6	73.9	10.0	3.5
年 代 別	20歳代以下	54	9.3	85.2	5.6	0.0
	30歳～39歳	45	33.3	66.7	0.0	0.0
	40歳～49歳	81	40.7	53.1	4.9	1.2
	50歳～59歳	130	17.7	66.9	14.6	0.8
	60歳～69歳	153	7.2	83.0	8.5	1.3
	70歳～79歳	221	6.3	79.2	10.0	4.5
	80歳以上	153	4.6	71.2	11.1	13.1

イ 地域の防犯パトロール・子どもの登下校の見守りなどに参加している

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	5.8	84.0	6.0	4.2
	前回	806	5.3	83.4	5.6	5.7
性 別	男性	372	7.3	82.3	5.6	4.8
	女性	459	4.6	86.1	6.1	3.3
年 代 別	20歳代以下	54	1.9	92.6	5.6	0.0
	30歳～39歳	45	13.3	84.4	2.2	0.0
	40歳～49歳	81	16.0	75.3	7.4	1.2
	50歳～59歳	130	8.5	86.2	5.4	0.0
	60歳～69歳	153	4.6	86.3	7.8	1.3
	70歳～79歳	221	3.2	85.5	6.3	5.0
	80歳以上	153	2.6	80.4	4.6	12.4

ウ 地域の防災訓練に参加している

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	15.9	73.0	6.3	4.9
	前回	806	22.0	66.3	6.6	5.2
性 別	男性	372	16.7	71.8	5.6	5.9
	女性	459	15.7	74.1	6.5	3.7
年 代 別	20歳代以下	54	3.7	90.7	5.6	0.0
	30歳～39歳	45	6.7	84.4	8.9	0.0
	40歳～49歳	81	11.1	80.2	7.4	1.2
	50歳～59歳	130	11.5	76.9	10.8	0.8
	60歳～69歳	153	21.6	71.9	4.6	2.0
	70歳～79歳	221	19.9	69.2	4.5	6.3
	80歳以上	153	18.3	63.4	5.2	13.1

エ 自治会・区の行事に参加している

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	37.7	52.7	5.3	4.3
	前回	806	43.2	48.6	3.8	4.3
性 別	男性	372	45.4	46.5	3.8	4.3
	女性	459	32.0	57.7	6.3	3.9
年 代 別	20歳代以下	54	5.6	85.2	5.6	3.7
	30歳～39歳	45	20.0	75.6	4.4	0.0
	40歳～49歳	81	27.2	64.2	6.2	2.5
	50歳～59歳	130	36.9	52.3	10.8	0.0
	60歳～69歳	153	50.3	43.1	5.9	0.7
	70歳～79歳	221	44.3	49.8	1.8	4.1
	80歳以上	153	39.9	42.5	4.6	13.1

オ 消防団や青少年健全育成の行事に参加している

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	8.3	82.9	4.3	4.5
	前回	806	9.1	81.8	3.5	5.7
性 別	男性	372	12.1	78.5	4.3	5.1
	女性	459	5.0	87.4	3.9	3.7
年 代 別	20歳代以下	54	3.7	87.0	7.4	1.9
	30歳～39歳	45	17.8	77.8	2.2	2.2
	40歳～49歳	81	18.5	76.5	3.7	1.2
	50歳～59歳	130	13.1	80.0	6.9	0.0
	60歳～69歳	153	7.8	87.6	3.3	1.3
	70歳～79歳	221	4.1	87.3	3.6	5.0
	80歳以上	153	4.6	79.1	3.3	13.1

カ 地域の子どもたちに声かけしたり、高齢者や障害者の話し相手になっている

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	24.8	66.5	4.0	4.6
	前回	806	25.6	65.9	3.3	5.2
性 別	男性	372	23.4	67.2	4.6	4.8
	女性	459	26.4	66.4	3.3	3.9
年 代 別	20歳代以下	54	16.7	72.2	7.4	3.7
	30歳～39歳	45	26.7	66.7	6.7	0.0
	40歳～49歳	81	18.5	74.1	4.9	2.5
	50歳～59歳	130	23.8	72.3	3.8	0.0
	60歳～69歳	153	26.1	69.9	2.0	2.0
	70歳～79歳	221	29.0	62.9	3.6	4.5
	80歳以上	153	24.8	58.2	3.9	13.1

キ 地域の高齢者や障害者で、外出が困難な方のために買い物や通院などを手伝っている

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	5.7	86.0	3.4	4.9
	前回	806	5.1	86.1	3.0	5.8
性 別	男性	372	6.2	84.7	3.5	5.6
	女性	459	5.2	87.8	3.1	3.9
年 代 別	20歳代以下	54	1.9	90.7	5.6	1.9
	30歳～39歳	45	4.4	93.3	2.2	0.0
	40歳～49歳	81	1.2	92.6	4.9	1.2
	50歳～59歳	130	5.4	90.8	3.8	0.0
	60歳～69歳	153	4.6	92.2	2.0	1.3
	70歳～79歳	221	7.7	83.7	3.2	5.4
	80歳以上	153	8.5	73.2	3.3	15.0

ク 地区社会福祉協議会の行事に参加している

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	7.8	83.3	4.4	4.5
	前回	806	8.6	82.6	3.2	5.6
性 別	男性	372	7.3	83.3	4.0	5.4
	女性	459	8.5	83.7	4.4	3.5
年 代 別	20歳代以下	54	0.0	92.6	5.6	1.9
	30歳～39歳	45	4.4	88.9	6.7	0.0
	40歳～49歳	81	0.0	91.4	7.4	1.2
	50歳～59歳	130	3.1	91.5	5.4	0.0
	60歳～69歳	153	10.5	85.0	3.3	1.3
	70歳～79歳	221	10.4	81.9	2.7	5.0
	80歳以上	153	13.7	68.6	3.9	13.7

ケ 老人クラブに参加している

単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全 体	今回	843	3.4	88.5	3.4	4.6
	前回	806	4.5	88.1	2.9	4.6
性 別	男性	372	3.0	89.0	3.0	5.1
	女性	459	3.9	88.7	3.5	3.9
年 代 別	20歳代以下	54	1.9	94.4	0.0	3.7
	30歳～39歳	45	0.0	95.6	4.4	0.0
	40歳～49歳	81	1.2	91.4	6.2	1.2
	50歳～59歳	130	1.5	93.1	4.6	0.8
	60歳～69歳	153	1.3	96.1	2.0	0.7
	70歳～79歳	221	2.7	89.6	2.7	5.0
	80歳以上	153	11.1	71.2	3.9	13.7

コ サークル活動、通いの場など地域の方々が集う場に参加している

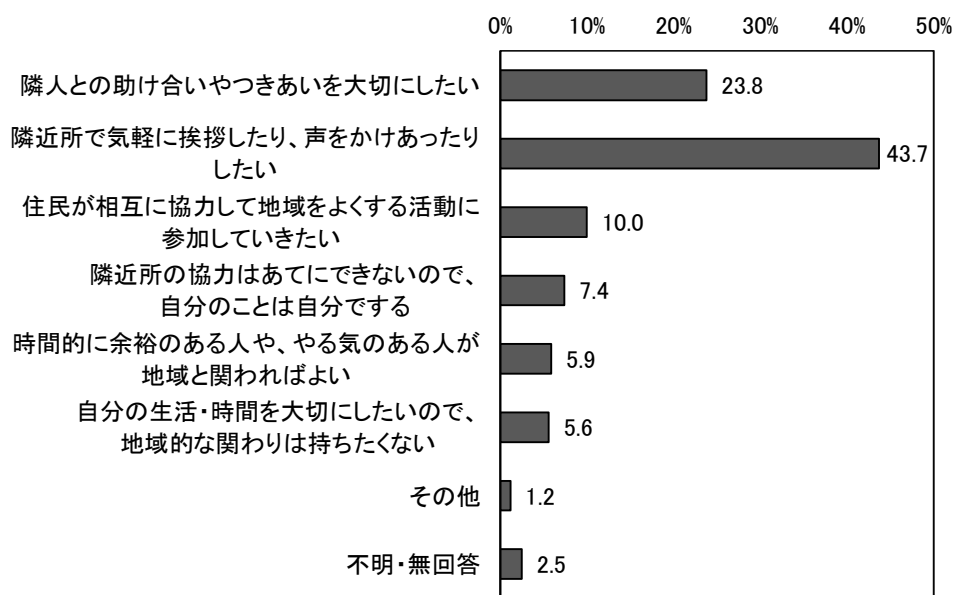
単位：％		n (人)	はい	いいえ	地域にない、 わからない	不明・無回答
全体		843	14.2	78.2	3.4	4.2
性別	男性	372	9.1	82.0	3.5	5.4
	女性	459	18.7	75.4	3.1	2.8
年代別	20歳代以下	54	5.6	92.6	1.9	0.0
	30歳～39歳	45	4.4	88.9	6.7	0.0
	40歳～49歳	81	6.2	86.4	6.2	1.2
	50歳～59歳	130	7.7	88.5	3.8	0.0
	60歳～69歳	153	14.4	82.4	2.0	1.3
	70歳～79歳	221	19.9	72.9	2.7	4.5
	80歳以上	153	22.2	61.4	3.3	13.1

問 11 地域における人とのつきあいや地域との関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

地域における人とのつきあいや関わりの考えについては、「隣近所で気軽に挨拶したり、声をかけあったりしたい」が最も多く、次いで「隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい」「住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加していきたい」となっています。

性別にみると、男女ともに「隣近所で気軽に挨拶したり、声をかけあったりしたい」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「隣近所で気軽に挨拶したり、声をかけあったりしたい」が最も多く、年代が上がるほど「隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい」が多い傾向があります。



■全体 (n=843)

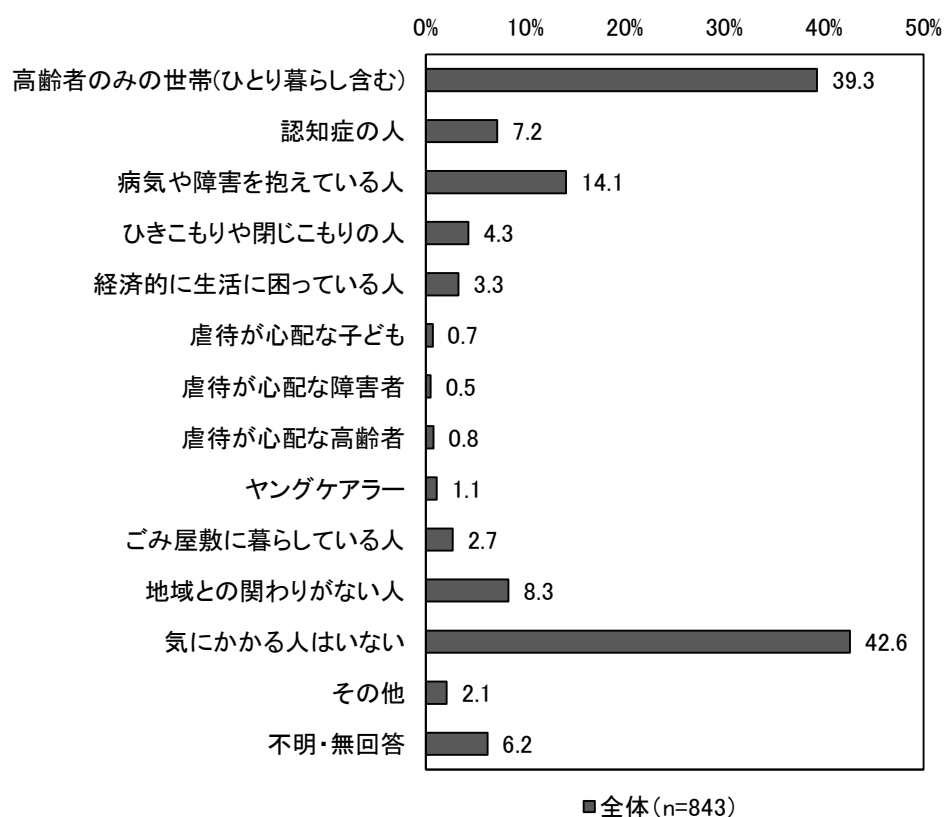
単位: %		n (人)	隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい	隣近所で気軽に挨拶したり、声をかけあったりしたい	住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加していきたい	隣近所の協力はあてにできないので、自分のことは自分です	時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わればよい	自分の生活・時間を大切にしたいので、地域的な関わりは持ちたくない	その他	不明・無回答
全体	今回	843	23.8	43.7	10.0	7.4	5.9	5.6	1.2	2.5
	前回	806	32.6	38.1	10.7	5.3	5.6	4.5	1.2	2.0
性別	男性	372	23.1	41.9	12.1	8.1	4.6	6.5	1.1	2.7
	女性	459	25.1	45.5	8.5	6.8	6.8	4.4	1.3	1.7
年代別	20歳代以下	54	7.4	46.3	7.4	13.0	16.7	5.6	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	8.9	40.0	4.4	6.7	20.0	17.8	0.0	2.2
	40歳～49歳	81	13.6	53.1	7.4	6.2	13.6	4.9	0.0	1.2
	50歳～59歳	130	18.5	49.2	7.7	7.7	4.6	8.5	3.1	0.8
	60歳～69歳	153	27.5	40.5	16.3	5.9	3.9	5.2	0.0	0.7
	70歳～79歳	221	27.1	43.4	10.0	8.1	2.3	3.6	1.4	4.1
	80歳以上	153	35.9	39.2	9.8	6.5	2.0	2.6	0.7	3.3

問 12 あなたの近所や地域には、次のような気にかかる人(支援が必要そうな人)がいますか。
(あてはまるものすべてに○)

近所や地域の気にかかる人(支援が必要な人)については、「気にかかる人はいない」が最も多く、次いで「高齢者のみの世帯(ひとり暮らし含む)」「病気や障害を抱えている人」となっています。

性別にみると、男性で「高齢者のみの世帯(ひとり暮らし含む)」、女性で「気にかかる人はいない」が最も多くなっています。

年代別にみると、40歳代以下と70歳代以上で「気にかかる人はいない」、50歳代で「高齢者のみの世帯(ひとり暮らし含む)」と「気にかかる人はいない」、60歳代で「高齢者のみの世帯(ひとり暮らし含む)」が最も多くなっています。



※ヤングケアラー

家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者

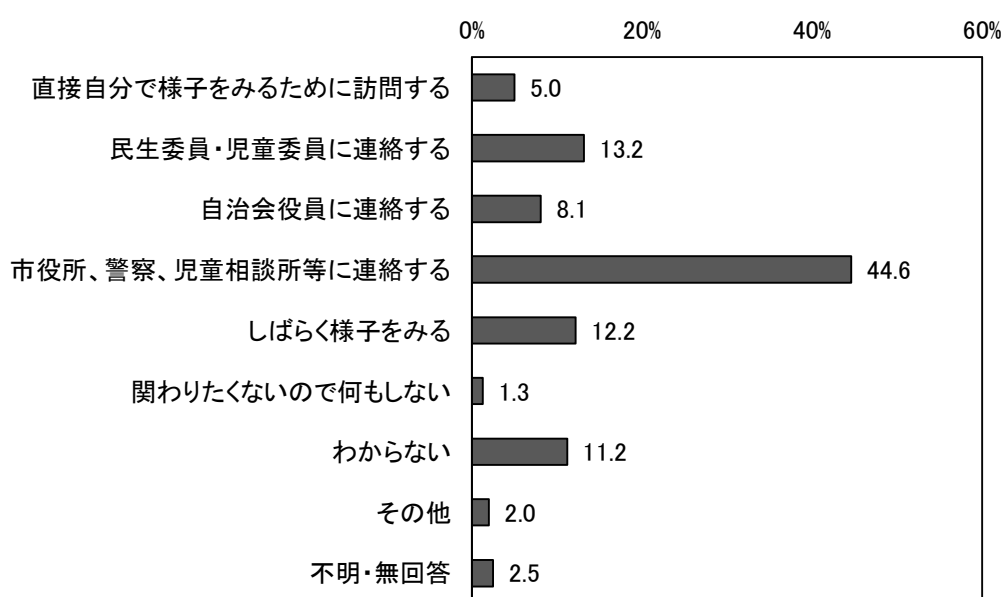
単位：％		n (人)	高齢者のみの世帯 (ひとり暮らし含む)	認知症の人	病気や障害を 抱えている人	ひきこもりの人 閉じこもりの人	経済的に生活に困 っている人	虐待が心配な子ど も	虐待が心配な障 害者	虐待が心配な高 齢者	ヤングケアラ ー	ごみ屋敷に暮ら している人	地域との関わり がない人	気にかかる人 はいない	その他	不明・無回 答
全 体	今回	843	39.3	7.2	14.1	4.3	3.3	0.7	0.5	0.8	1.1	2.7	8.3	42.6	2.1	6.2
	前回	806	36.5	8.7	12.3	4.5	4.5	0.6	0.4	0.7	－	1.9	7.4	30.5	1.2	－
性 別	男性	372	42.7	8.3	16.1	5.4	4.3	0.3	0.3	0.5	1.9	2.2	10.8	39.5	1.6	5.1
	女性	459	37.0	6.5	12.6	3.3	2.4	1.1	0.7	1.1	0.4	3.1	5.9	45.1	2.4	6.8
年 代 別	20歳代以下	54	25.9	9.3	13.0	1.9	3.7	3.7	3.7	3.7	1.9	1.9	7.4	53.7	1.9	5.6
	30歳～39歳	45	40.0	2.2	11.1	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	6.7	42.2	0.0	4.4
	40歳～49歳	81	37.0	3.7	8.6	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	46.9	2.5	4.9
	50歳～59歳	130	43.1	10.0	17.7	6.9	6.2	0.0	0.0	0.0	2.3	3.1	10.0	43.1	2.3	2.3
	60歳～69歳	153	50.3	8.5	15.7	3.3	2.6	1.3	0.0	0.7	0.7	0.0	9.8	33.3	2.6	6.5
	70歳～79歳	221	41.2	6.3	15.8	5.0	2.7	0.5	0.5	0.5	0.5	4.5	8.1	43.0	1.4	4.1
	80歳以上	153	28.8	7.8	11.8	3.9	3.3	0.7	0.7	2.0	2.0	2.6	8.5	45.1	3.3	12.4

問 13 最近、高齢者の孤独死や児童虐待などがニュースになることがあります。もし、あなたの周りでそのようなことが起きるおそれがある状況を感じたら、どのように対応しますか。(○は1つ)

身の回りで高齢者の孤独死や児童虐待などの状況を感じた時の対応については、「市役所、警察、児童相談所等に連絡する」が最も多く、次いで「民生委員・児童委員に連絡する」「しばらく様子を見る」となっています。

性別にみると、男女ともに「市役所、警察、児童相談所等に連絡する」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「市役所、警察、児童相談所等に連絡する」が最も多くなっています。また、60歳代以上で「民生委員・児童委員に連絡する」が1～2割と、他の年代に比べて多くなっています。



■全体(n=843)

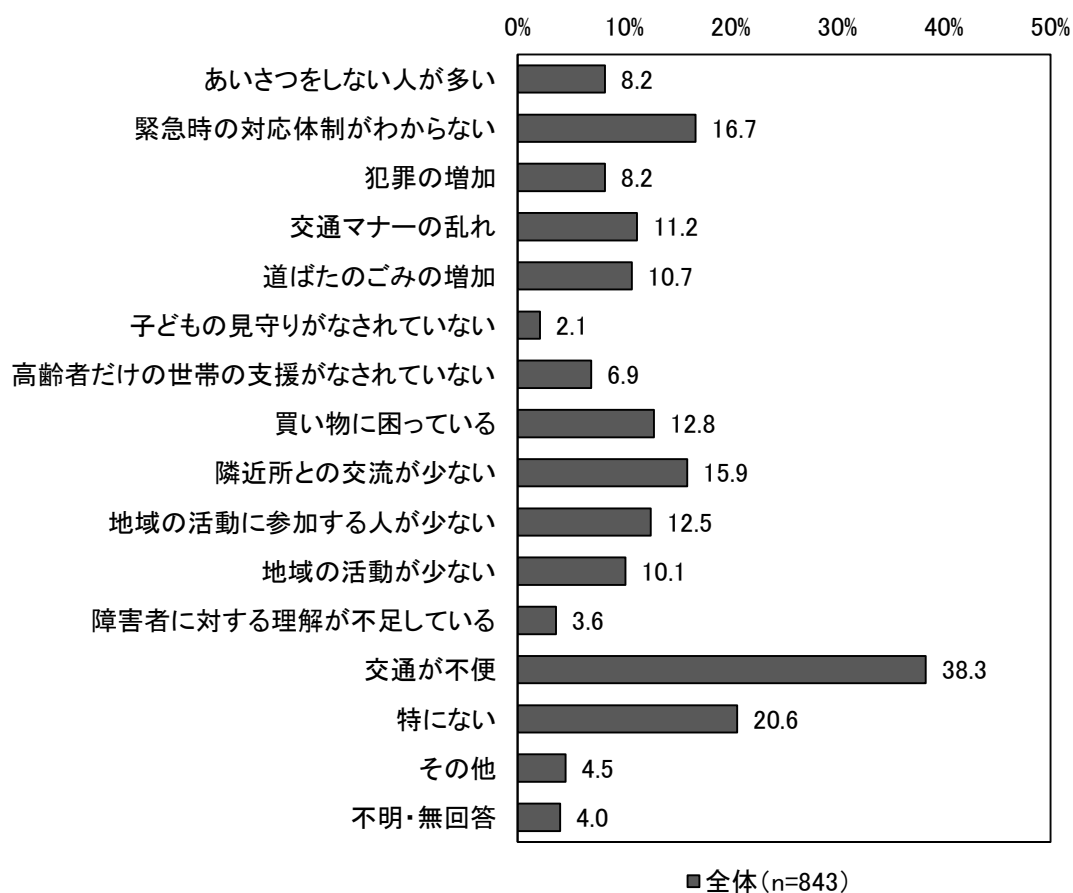
単位: %		n (人)	直接自分で様子を見るために訪問する	民生委員・児童委員に連絡する	自治会役員に連絡する	市役所、警察、児童相談所等に連絡する	しばらく様子を見る	関わりたくないので何もしない	わからない	その他	不明・無回答
全体	今回	843	5.0	13.2	8.1	44.6	12.2	1.3	11.2	2.0	2.5
	前回	806	5.7	17.7	6.9	43.8	11.7	1.7	8.1	1.4	3.0
性別	男性	372	6.5	11.6	7.3	47.6	11.6	1.6	10.5	0.8	2.7
	女性	459	3.9	14.8	8.5	43.1	13.1	1.1	11.1	2.6	1.7
年代別	20歳代以下	54	5.6	0.0	0.0	57.4	24.1	0.0	11.1	1.9	0.0
	30歳～39歳	45	4.4	4.4	0.0	62.2	11.1	2.2	8.9	6.7	0.0
	40歳～49歳	81	3.7	4.9	2.5	55.6	14.8	2.5	12.3	2.5	1.2
	50歳～59歳	130	2.3	6.9	6.2	57.7	13.1	0.8	12.3	0.0	0.8
	60歳～69歳	153	3.9	21.6	9.2	40.5	8.5	3.3	9.8	1.3	2.0
	70歳～79歳	221	8.6	14.5	13.6	36.2	13.6	0.0	10.0	1.4	2.3
	80歳以上	153	3.9	20.3	9.2	35.3	8.5	1.3	12.4	3.9	5.2

問 14 現在、あなたの住んでいる地域の中で、どのようなことが問題だと思われますか。
(あてはまるものすべてに○)

居住している地域の問題点については、「交通が不便」が最も多く、次いで「特にない」「緊急時の対応体制がわからない」となっています。

性別にみると、男女ともに「交通が不便」が最も多くなっています。次いで、男性で「特にない」、女性で「緊急時の対応体制がわからない」が多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「交通が不便」が最も多くなっています。



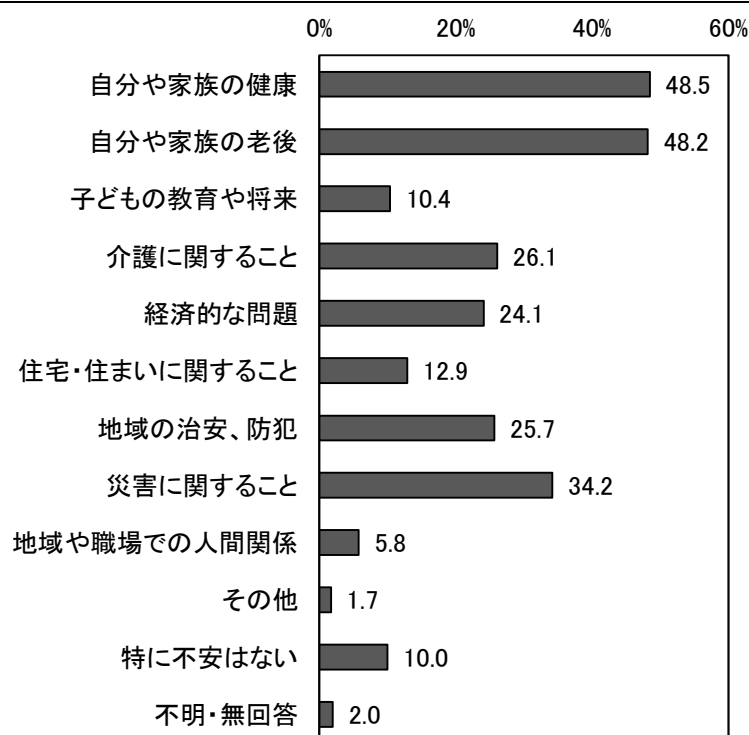
単位：%		n (人)	多い あいさつをしない人が	緊急時の対応体制が わからない	犯罪の増加	交通マナーの乱れ	道ばたのごみの増加	子どもの見守りがなされて いない	高齢者だけの世帯の 支援がなされていない	買い物に困っている	隣近所との交流が 少ない	地域の活動に参加する 人が少ない	地域の活動が少ない	障害者に対する理解が 不足している	交通が不便	特 に ない	その他	不明・無回答
全 体	今回	843	8.2	16.7	8.2	11.2	10.7	2.1	6.9	12.8	15.9	12.5	10.1	3.6	38.3	20.6	4.5	4.0
	前回	806	7.6	28.3	1.4	7.7	11.0	2.5	6.5	－	15.5	13.6	8.9	5.1	－	27.9	4.6	6.3
性 別	男性	372	8.6	13.2	7.8	12.6	12.4	3.5	6.5	11.0	18.8	16.1	11.0	3.5	31.5	22.3	4.3	3.5
	女性	459	7.8	19.8	8.1	9.8	9.2	1.1	7.2	13.9	13.3	9.6	9.4	3.3	43.4	19.6	4.6	4.1
年 代 別	20歳代以下	54	7.4	20.4	11.1	14.8	11.1	1.9	11.1	14.8	14.8	5.6	3.7	3.7	63.0	11.1	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	15.6	13.3	20.0	13.3	4.4	2.2	6.7	6.7	8.9	2.2	4.4	37.8	22.2	8.9	2.2
	40歳～49歳	81	6.2	23.5	14.8	25.9	21.0	7.4	9.9	6.2	21.0	8.6	17.3	7.4	43.2	16.0	6.2	3.7
	50歳～59歳	130	10.8	16.2	14.6	16.9	10.0	2.3	9.2	16.2	11.5	11.5	5.4	3.8	43.8	23.1	6.2	1.5
	60歳～69歳	153	7.8	19.0	6.5	11.8	12.4	1.3	5.2	13.1	16.3	13.7	7.8	3.9	30.7	19.6	5.9	2.6
	70歳～79歳	221	7.2	18.1	4.5	5.9	9.5	1.4	8.1	13.1	17.2	14.9	14.9	2.7	37.1	22.6	3.6	3.6
	80歳以上	153	11.1	9.2	2.6	2.0	5.2	0.7	3.3	13.7	17.6	14.4	10.5	2.0	31.4	22.9	1.3	9.2

問 15 現在、不安に感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在、不安に感じていることについては、「自分や家族の健康」が最も多く、次いで「自分や家族の老後」「災害に関すること」となっています。

性別にみると、男性で「自分や家族の健康」、女性で「自分や家族の老後」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下で「経済的な問題」、30歳代で「災害に関すること」、40～60歳代で「自分や家族の老後」、70歳代以上で「自分や家族の健康」が最も多くなっています。



■全体 (n=843)

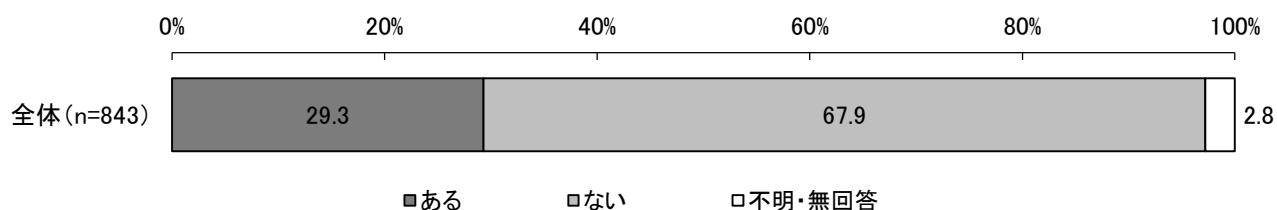
単位: %		n (人)	自分や 家族の 健康	自分や 家族の 老後	子 ども の 教 育 や 将 来	介 護 に 関 す る こ と	経 済 的 な 問 題	住 宅 ・ 住 ま い に 関 す る こ と	地 域 の 治 安 、 防 犯	災 害 に 関 す る こ と	地 域 や 職 場 で の 人 間 関 係	そ の 他	特 に 不 安 は な い	不 明 ・ 無 回 答
全体		843	48.5	48.2	10.4	26.1	24.1	12.9	25.7	34.2	5.8	1.7	10.0	2.0
性 別	男性	372	50.5	48.1	11.8	26.1	23.4	13.2	23.4	32.3	6.2	1.6	9.4	1.9
	女性	459	46.8	48.1	9.6	26.1	24.0	12.6	27.5	35.7	4.8	1.5	10.7	1.7
年 代 別	20歳代以下	54	33.3	25.9	11.1	13.0	38.9	5.6	27.8	33.3	7.4	0.0	18.5	0.0
	30歳～39歳	45	28.9	42.2	33.3	17.8	33.3	20.0	31.1	44.4	13.3	4.4	8.9	2.2
	40歳～49歳	81	45.7	54.3	37.0	25.9	32.1	17.3	32.1	45.7	13.6	2.5	8.6	0.0
	50歳～59歳	130	44.6	56.2	15.4	30.0	32.3	23.1	30.8	40.0	12.3	0.0	6.2	2.3
	60歳～69歳	153	47.7	52.9	5.9	22.9	26.1	13.7	24.2	38.6	2.0	2.0	11.8	1.3
	70歳～79歳	221	57.5	50.2	2.3	27.1	18.1	11.3	23.1	29.9	2.3	2.3	8.6	0.9
	80歳以上	153	51.6	40.5	2.0	32.7	11.1	3.9	21.6	22.2	2.0	1.3	11.8	4.6

問 16 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

ボランティア活動をしたことがあるかについては、「ある」が3割、「ない」が7割と、「ない」の割合が多くなっています。

性別にみると、男女ともに「ない」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「ない」が最も多くなっています。また、40歳代で「ある」が4割と、他の年代に比べてやや多くなっています。



単位: %		n (人)	はい	いいえ	不明・無回答
全体	今回	843	29.3	67.9	2.8
	前回	806	31.3	64.4	4.3
性別	男性	372	32.0	65.3	2.7
	女性	459	26.6	70.6	2.8
年代別	20歳代以下	54	35.2	64.8	0.0
	30歳～39歳	45	35.6	64.4	0.0
	40歳～49歳	81	39.5	59.3	1.2
	50歳～59歳	130	27.7	71.5	0.8
	60歳～69歳	153	24.8	70.6	4.6
	70歳～79歳	221	28.5	69.2	2.3
	80歳以上	153	26.8	67.3	5.9

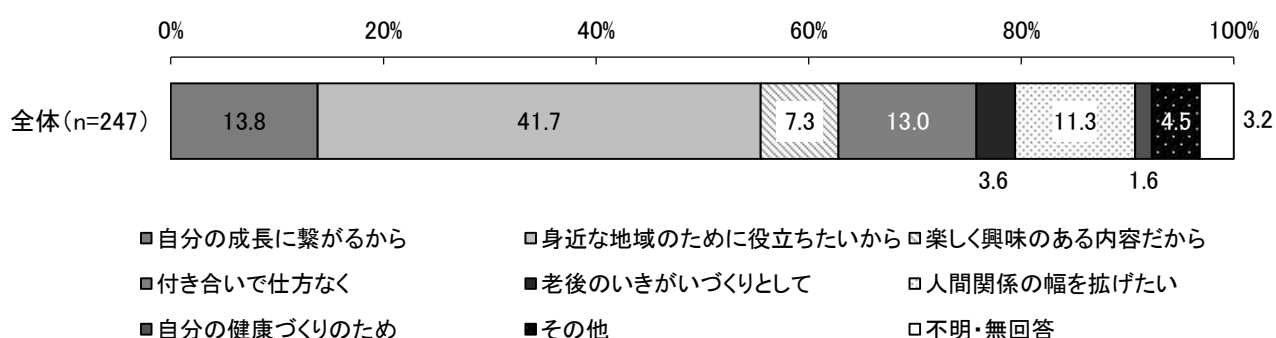
《問 16 で「1 ある」とお答えの方に》

問 16-1 ボランティア活動に参加した理由として最もあてはまるものは何ですか。(○は1つ)

ボランティア活動への参加理由については、「身近な地域のために役立ちたいから」が最も多く、次いで「自分の成長に繋がるから」「付き合いで仕方なく」となっています。

性別にみると、男女ともに「身近な地域のために役立ちたいから」が最も多くなっています。また、男性で「付き合いで仕方なく」、女性で「楽しく興味のある内容だから」が多くなっています。

年代別にみると、20 歳代以下で「自分の成長に繋がるから」、30 歳代で「身近な地域のために役立ちたいから」と「付き合いで仕方なく」、40 歳代以上で「身近な地域のために役立ちたいから」が最も多くなっています。



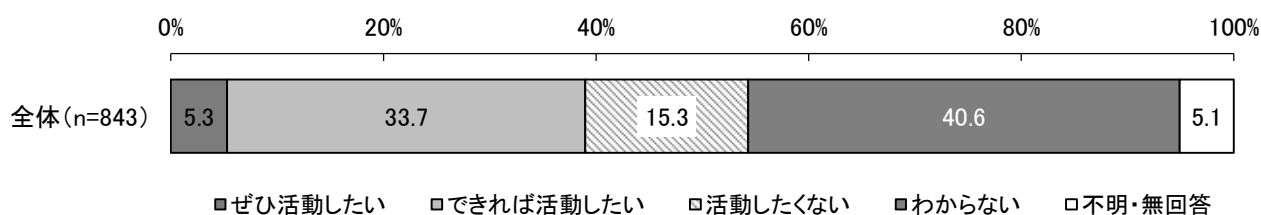
単位: %		n (人)	自分の成長に繋がる	身近な地域のために役立ちたいから	楽しく興味のある内容だから	付き合いで仕方なく	老後のいきがいくとして	人間関係の幅を拡げたい	自分の健康づくりのため	その他	不明・無回答
全体	今回	247	13.8	41.7	7.3	13.0	3.6	11.3	1.6	4.5	3.2
	前回	252	11.9	53.2	14.7	13.1	-	-	-	6.7	0.4
性別	男性	119	12.6	42.9	2.5	17.6	4.2	13.4	0.8	1.7	4.2
	女性	122	14.8	41.8	12.3	7.4	3.3	9.8	2.5	5.7	2.5
年代別	20歳代以下	19	31.6	15.8	5.3	5.3	0.0	10.5	0.0	26.3	5.3
	30歳～39歳	16	12.5	37.5	0.0	37.5	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0
	40歳～49歳	32	18.8	34.4	18.8	15.6	0.0	6.3	0.0	3.1	3.1
	50歳～59歳	36	13.9	50.0	8.3	11.1	0.0	13.9	2.8	0.0	0.0
	60歳～69歳	38	15.8	44.7	5.3	21.1	0.0	5.3	0.0	5.3	2.6
	70歳～79歳	63	9.5	46.0	3.2	9.5	6.3	15.9	0.0	3.2	6.3
	80歳以上	41	4.9	46.3	9.8	2.4	12.2	14.6	4.9	2.4	2.4

問 17 今後、あなたはボランティア活動をしたいと思いますか。(〇は1つ)

今後ボランティア活動をしたいと思うかについては、「わからない」が最も多く、次いで「できれば活動したい」「活動したくない」となっています。

性別にみると、男女ともに「わからない」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下で「できれば参加したい」、30歳代以上で「わからない」が最も多くなっています。



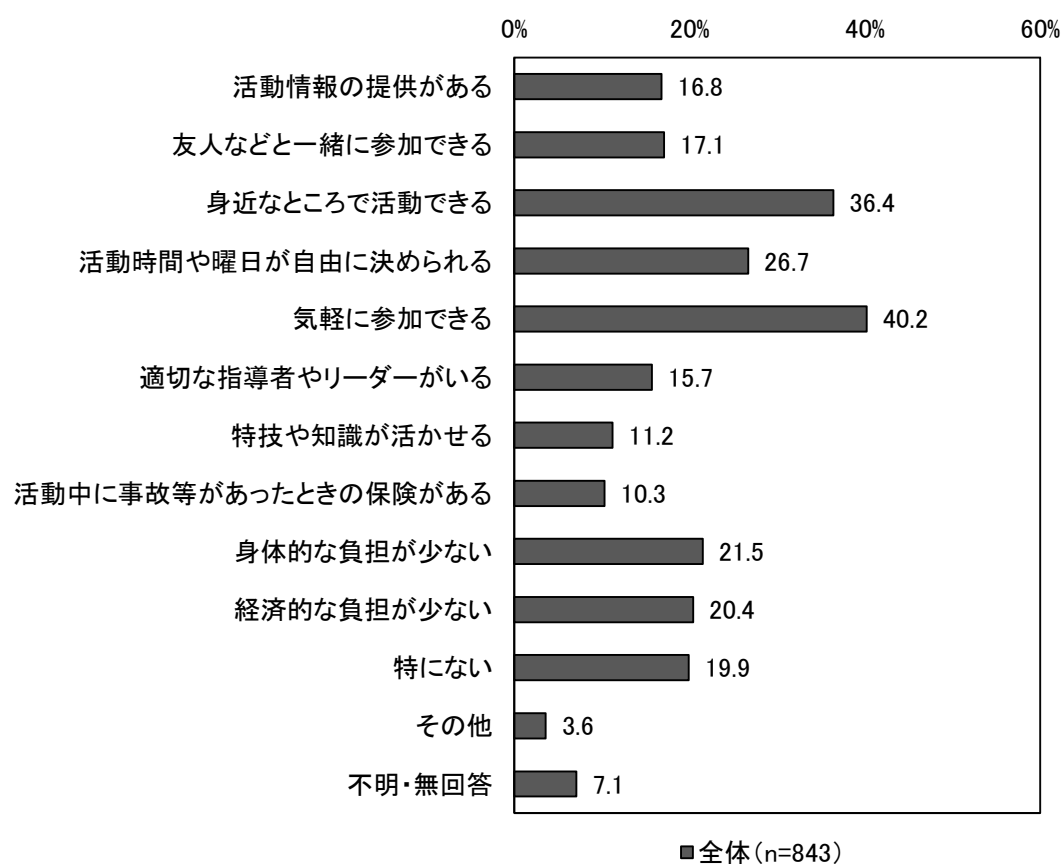
単位: %		n (人)	ぜひ 活動したい	できれば 活動したい	活動したくない	わからない	不明・無回答
全体	今回	843	5.3	33.7	15.3	40.6	5.1
	前回	806	5.6	37.2	11.7	37.2	8.3
性別	男性	372	6.7	32.5	19.1	37.6	4.0
	女性	459	4.4	34.9	12.6	42.5	5.7
年代別	20歳代以下	54	9.3	42.6	11.1	37.0	0.0
	30歳～39歳	45	11.1	28.9	26.7	31.1	2.2
	40歳～49歳	81	7.4	29.6	12.3	46.9	3.7
	50歳～59歳	130	4.6	33.1	12.3	46.9	3.1
	60歳～69歳	153	3.9	37.9	11.8	42.5	3.9
	70歳～79歳	221	3.2	35.7	17.2	41.2	2.7
	80歳以上	153	6.5	28.1	19.0	32.7	13.7

問 18 どのような条件であれば、地域活動などに参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動に参加したいと思う条件については、「気軽に参加できる」が最も多く、次いで「身近なところで活動できる」、「活動時間や曜日が自由に決められる」となっています。

性別にみると、男女ともに「気軽に参加できる」が最も多くなっています。

年代別にみると、50 歳代以下で「気軽に参加できる」、60～70 歳代で「身近なところで活動できる」、80 歳以上で「特にない」が最も多くなっています。また、20 歳代以下で「友人などと一緒に参加できる」が他の年代に比べて多くなっています。



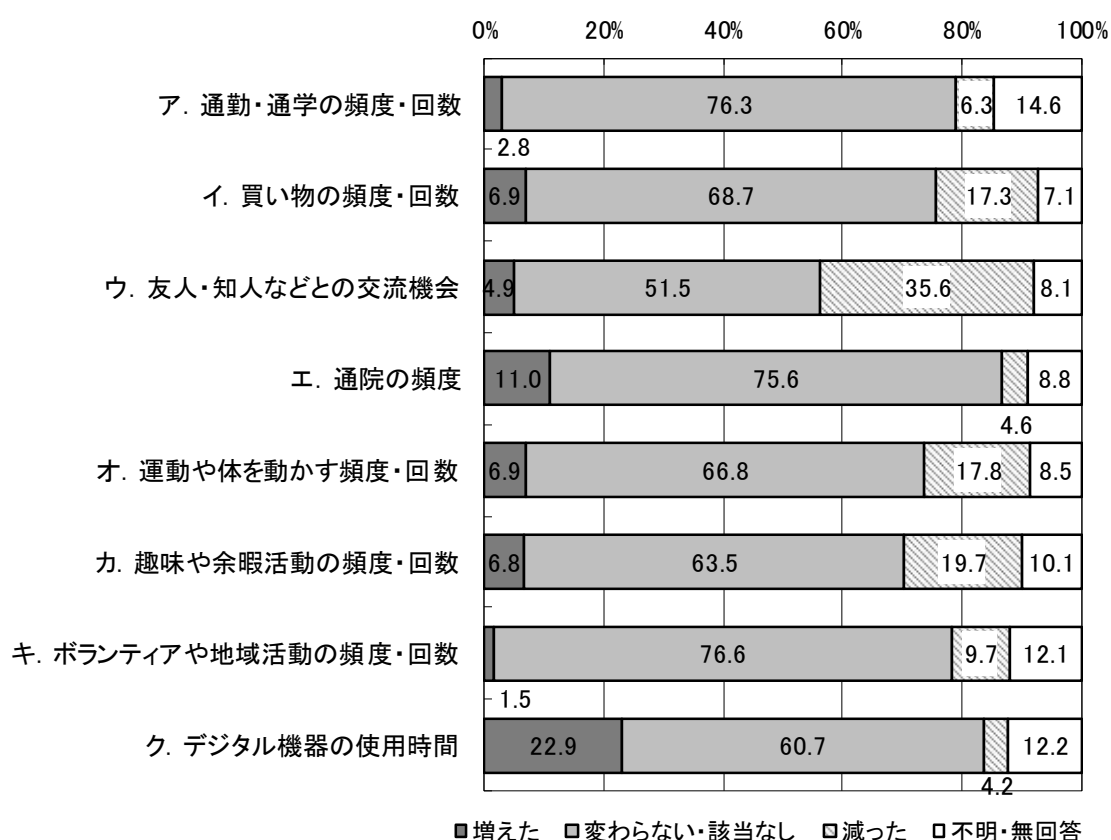
単位：%		n (人)	活動情報の提供がある	友人などと一緒に参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日が自由に決められる	気軽に参加できる	適切な指導者やリーダーがいる	特技や知識が活かせる	活動中に事故等があったときの保険がある	身体的な負担が少ない	経済的な負担が少ない	特にない	その他	不明・無回答
全体	今回	843	16.8	17.1	36.4	26.7	40.2	15.7	11.2	10.3	21.5	20.4	19.9	3.6	7.1
	前回	806	16.3	23.1	35.2	23.4	36.2	17.6	11.9	9.7	18.2	20.8	18.0	3.1	9.6
性別	男性	372	18.5	12.6	32.0	27.4	38.7	14.2	13.7	11.6	19.4	17.7	22.8	3.2	6.5
	女性	459	15.5	20.5	40.5	26.4	42.0	16.8	8.9	9.2	23.1	22.2	17.4	3.7	7.2
年代別	20歳代以下	54	16.7	38.9	33.3	27.8	57.4	9.3	13.0	9.3	14.8	33.3	14.8	1.9	0.0
	30歳～39歳	45	20.0	15.6	37.8	35.6	40.0	13.3	13.3	6.7	11.1	26.7	22.2	2.2	4.4
	40歳～49歳	81	22.2	17.3	43.2	34.6	54.3	19.8	14.8	12.3	14.8	29.6	21.0	2.5	3.7
	50歳～59歳	130	24.6	16.2	40.8	35.4	52.3	24.6	14.6	15.4	22.3	23.1	17.7	0.8	3.1
	60歳～69歳	153	17.6	11.8	46.4	33.3	45.1	16.3	9.8	11.1	26.8	22.2	20.3	3.3	3.3
	70歳～79歳	221	17.2	18.6	38.9	24.4	36.2	19.0	10.4	11.3	24.4	18.1	19.5	2.7	5.9
	80歳以上	153	5.9	14.4	17.6	9.8	19.0	3.9	7.8	4.6	20.3	8.5	22.2	9.2	19.6

問 19 新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、現在のあなたの日常生活はどのような変化がありましたか。(〇は各項目1つ)

新型コロナウイルス感染症拡大前と比較した日常生活の変化について、「増えた」の割合は「デジタル機器の使用時間」が最も多く、次いで「通院の頻度」となっています。「減った」の割合は「友人・知人などとの交流機会」が最も多く、次いで「趣味や余暇活動の頻度・回数」となっています。

性別にみると、女性で「買い物の頻度・回数」が「減った」の割合が男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下で「デジタル機器の使用時間」が「増えた」の割合が多くなっています。



ア 通勤・通学の頻度・回数

単位: %		n (人)	増えた	変わらない ・該当なし	減った	不明・無回答
全体		843	2.8	76.3	6.3	14.6
性別	男性	372	1.3	76.1	5.9	16.7
	女性	459	4.1	76.7	6.3	12.9
年代別	20歳代以下	54	9.3	83.3	7.4	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	97.8	0.0	0.0
	40歳～49歳	81	3.7	91.4	3.7	1.2
	50歳～59歳	130	3.8	89.2	3.1	3.8
	60歳～69歳	153	3.3	85.6	9.2	2.0
	70歳～79歳	221	1.8	70.1	6.8	21.3
	80歳以上	153	0.7	49.0	7.8	42.5

イ 買い物の頻度・回数

単位: %		n (人)	増えた	変わらない ・該当なし	減った	不明・無回答
全体		843	6.9	68.7	17.3	7.1
性別	男性	372	5.9	74.2	11.6	8.3
	女性	459	7.8	64.5	21.6	6.1
年代別	20歳代以下	54	11.1	77.8	11.1	0.0
	30歳～39歳	45	13.3	82.2	4.4	0.0
	40歳～49歳	81	3.7	86.4	7.4	2.5
	50歳～59歳	130	7.7	83.1	7.7	1.5
	60歳～69歳	153	10.5	69.9	19.0	0.7
	70歳～79歳	221	5.4	61.1	24.4	9.0
	80歳以上	153	3.3	50.3	24.2	22.2

ウ 友人・知人などとの交流機会

単位: %		n (人)	増えた	変わらない ・該当なし	減った	不明・無回答
全体		843	4.9	51.5	35.6	8.1
性別	男性	372	2.7	54.6	33.1	9.7
	女性	459	6.8	48.8	37.7	6.8
年代別	20歳代以下	54	11.1	64.8	24.1	0.0
	30歳～39歳	45	4.4	64.4	28.9	2.2
	40歳～49歳	81	4.9	48.1	45.7	1.2
	50歳～59歳	130	2.3	56.2	39.2	2.3
	60歳～69歳	153	7.8	49.7	41.2	1.3
	70歳～79歳	221	5.0	53.4	32.1	9.5
	80歳以上	153	2.0	40.5	32.0	25.5

エ 通院の頻度

単位: %		n (人)	増えた	変わらない ・該当なし	減った	不明・無回答
全体		843	11.0	75.6	4.6	8.8
性別	男性	372	11.0	76.6	3.5	8.9
	女性	459	11.1	75.2	5.2	8.5
年代別	20歳代以下	54	11.1	88.9	0.0	0.0
	30歳～39歳	45	11.1	88.9	0.0	0.0
	40歳～49歳	81	4.9	84.0	9.9	1.2
	50歳～59歳	130	7.7	86.2	3.1	3.1
	60歳～69歳	153	11.8	80.4	5.9	2.0
	70歳～79歳	221	14.9	69.7	3.6	11.8
	80歳以上	153	11.1	58.8	5.2	24.8

オ 運動や体を動かす頻度・回数

単位: %		n (人)	増えた	変わらない ・該当なし	減った	不明・無回答
全体		843	6.9	66.8	17.8	8.5
性別	男性	372	5.4	69.6	15.3	9.7
	女性	459	8.3	64.9	19.2	7.6
年代別	20歳代以下	54	7.4	74.1	18.5	0.0
	30歳～39歳	45	8.9	77.8	11.1	2.2
	40歳～49歳	81	8.6	70.4	19.8	1.2
	50歳～59歳	130	6.9	75.4	15.4	2.3
	60歳～69歳	153	10.5	73.9	13.7	2.0
	70歳～79歳	221	5.0	63.8	20.4	10.9
	80歳以上	153	4.6	49.7	20.3	25.5

カ 趣味や余暇活動の頻度・回数

単位: %		n (人)	増えた	変わらない ・該当なし	減った	不明・無回答
全体		843	6.8	63.5	19.7	10.1
性別	男性	372	5.1	65.3	18.8	10.8
	女性	459	8.1	62.5	20.0	9.4
年代別	20歳代以下	54	13.0	68.5	16.7	1.9
	30歳～39歳	45	6.7	77.8	15.6	0.0
	40歳～49歳	81	11.1	64.2	23.5	1.2
	50歳～59歳	130	3.8	76.2	16.9	3.1
	60歳～69歳	153	8.5	69.3	19.6	2.6
	70歳～79歳	221	5.9	62.0	19.0	13.1
	80歳以上	153	4.6	43.8	22.9	28.8

キ ボランティアや地域活動の頻度・回数

単位: %		n (人)	増えた	変わらない ・該当なし	減った	不明・無回答
全体		843	1.5	76.6	9.7	12.1
性別	男性	372	1.6	75.3	11.0	12.1
	女性	459	1.5	78.2	8.7	11.5
年代別	20歳代以下	54	0.0	90.7	7.4	1.9
	30歳～39歳	45	0.0	95.6	4.4	0.0
	40歳～49歳	81	0.0	86.4	12.3	1.2
	50歳～59歳	130	2.3	90.0	5.4	2.3
	60歳～69歳	153	2.0	86.9	8.5	2.6
	70歳～79歳	221	2.3	69.7	11.3	16.7
	80歳以上	153	1.3	51.0	13.7	34.0

ク デジタル機器の使用時間

単位: %		n (人)	増えた	変わらない ・該当なし	減った	不明・無回答
全体		843	22.9	60.7	4.2	12.2
性別	男性	372	22.0	61.3	3.8	12.9
	女性	459	23.7	60.3	4.4	11.5
年代別	20歳代以下	54	55.6	44.4	0.0	0.0
	30歳～39歳	45	40.0	57.8	2.2	0.0
	40歳～49歳	81	33.3	63.0	2.5	1.2
	50歳～59歳	130	36.9	58.5	1.5	3.1
	60歳～69歳	153	25.5	70.6	0.7	3.3
	70歳～79歳	221	9.5	67.0	7.7	15.8
	80歳以上	153	6.5	49.7	7.2	36.6

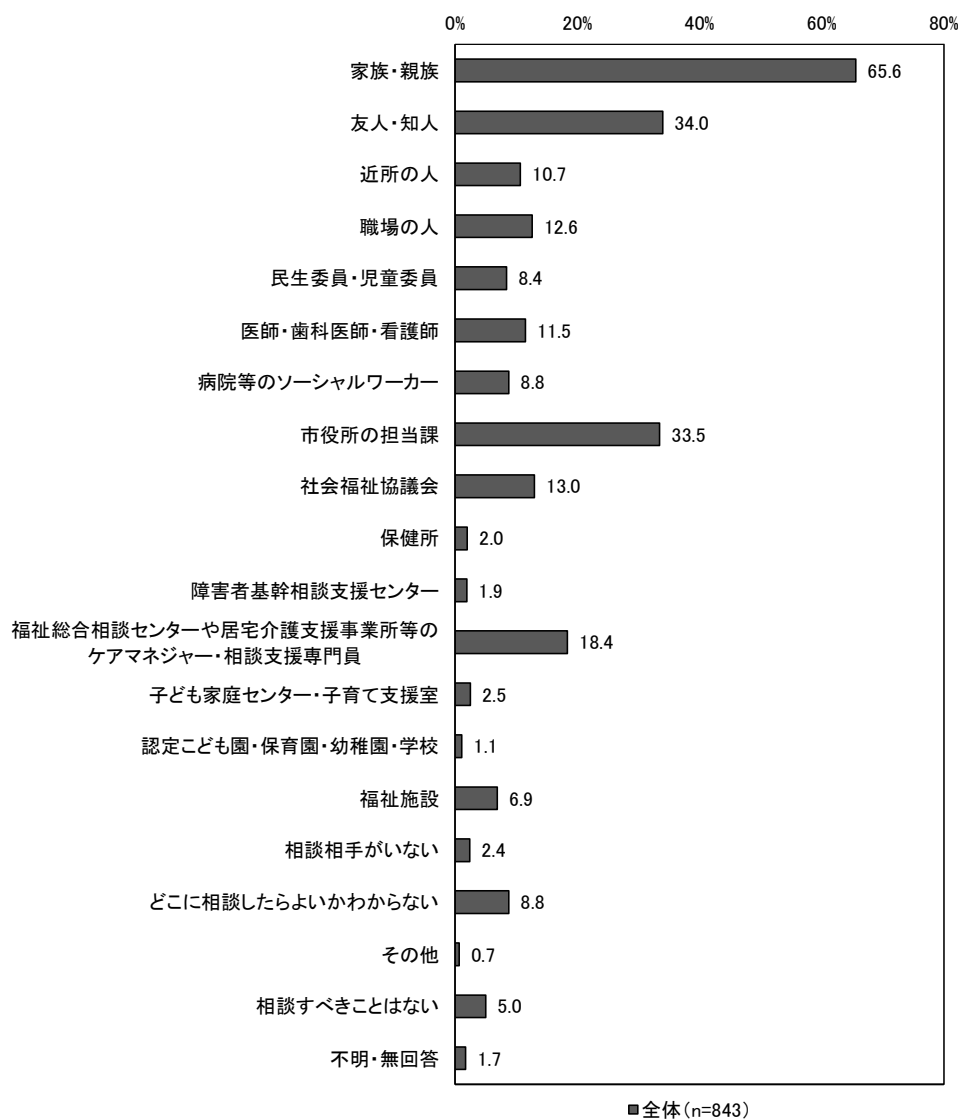
3. 福祉のまちづくりについて

問 20 福祉について困ったとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

福祉に関して困ったときの相談相手は、「家族・親族」が最も多く、次いで「友人・知人」「市役所の担当課」となっています。

性別にみると、男女ともに「家族・親族」が最も多くなっています。また、女性で「友人・知人」が男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「家族・親族」が最も多くなっています。また、40～50歳代で「職場の人」が3割台、60歳代以上で「福祉総合相談センターや居宅介護支援事業所等のケアマネジャー・相談支援専門員」が2割台と、他の年代に比べて多くなっています。



※社会福祉協議会

社会福祉法に基づく、地域福祉の推進を図ることを目的とした社会福祉法人。

※障害者基幹相談支援センター

障害者の相談支援について鴨川市において中核的な役割を担う相談窓口。(鴨川市市民福祉部福祉課)

単位：%		n (人)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	医師・歯科医師・看護師	病院等のソーシャルワーカー	市役所の担当課	社会福祉協議会	保健所
全体	今回	843	65.6	34.0	10.7	12.6	8.4	11.5	8.8	33.5	13.0	2.0
	前回	806	80.9	33.9	8.6	14.1	3.2	28.9	5.1	18.7	—	1.9
性別	男性	372	60.8	28.8	12.6	11.8	10.5	11.3	8.3	36.0	14.0	2.2
	女性	459	69.5	38.1	9.4	13.1	7.0	11.5	9.2	31.4	12.2	1.5
年代別	20歳代以下	54	79.6	33.3	1.9	18.5	0.0	7.4	3.7	7.4	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	68.9	40.0	2.2	17.8	0.0	13.3	8.9	26.7	0.0	4.4
	40歳～49歳	81	76.5	43.2	3.7	32.1	3.7	8.6	12.3	39.5	6.2	1.2
	50歳～59歳	130	63.8	36.9	10.0	30.0	4.6	7.7	6.9	33.8	10.8	4.6
	60歳～69歳	153	52.9	32.0	14.4	9.2	5.9	12.4	10.5	42.5	15.7	2.0
	70歳～79歳	221	69.7	38.9	14.5	3.6	12.7	13.6	11.3	36.2	16.7	0.5
	80歳以上	153	62.7	21.6	11.8	0.7	16.3	13.1	5.2	28.1	18.3	2.6

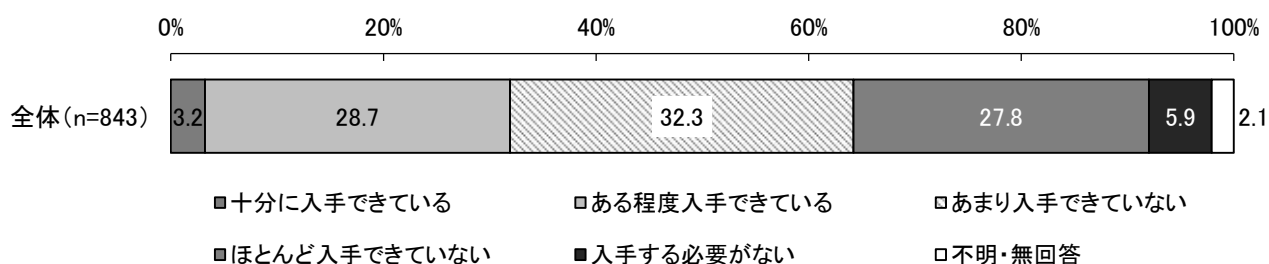
単位：%		n (人)	障害者基幹相談支援センター	居宅介護支援事業所等のケアマネジャー・相談支援専門員	福祉総合相談センターや子育て支援室	子ども家庭センター・幼稚園・学校	認定こども園・保育園・福祉施設	相談相手がいらない	どこに相談したらよいかわからない	その他	相談すべきことはない	不明・無回答
全体	今回	843	1.9	18.4	2.5	1.1	6.9	2.4	8.8	0.7	5.0	1.7
	前回	806	1.4	14.3	0.6	1.4	—	—	5.2	0.9	2.4	2.2
性別	男性	372	2.7	18.0	2.2	0.5	6.7	1.9	8.1	0.5	5.1	1.6
	女性	459	1.3	18.5	2.8	1.5	6.8	2.8	9.2	0.9	5.0	1.5
年代別	20歳代以下	54	0.0	1.9	5.6	1.9	3.7	0.0	7.4	0.0	11.1	0.0
	30歳～39歳	45	0.0	4.4	11.1	11.1	8.9	2.2	13.3	2.2	8.9	0.0
	40歳～49歳	81	2.5	11.1	7.4	2.5	3.7	2.5	11.1	1.2	2.5	0.0
	50歳～59歳	130	1.5	12.3	2.3	0.8	7.7	3.1	5.4	0.8	6.9	0.8
	60歳～69歳	153	2.6	22.9	0.7	0.0	7.2	2.0	8.5	1.3	7.8	0.7
	70歳～79歳	221	1.4	22.2	0.9	0.0	5.4	2.7	7.7	0.5	2.7	3.2
	80歳以上	153	3.3	27.5	0.7	0.0	9.8	2.6	10.5	0.0	2.0	2.6

問 21 あなたは、福祉サービスに関する情報をどの程度入手できていますか。(○は1つ)

福祉サービスに関する情報の入手状況については、「あまり入手できていない」が最も多く、次いで「ある程度入手できている」「ほとんど入手できていない」となっています。

性別にみると、男女ともに「あまり入手できていない」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下と70歳代以上で「あまり入手できていない」、30～50歳代以下で「ほとんど入手できていない」、60歳代で「ある程度入手できている」が最も多くなっています。



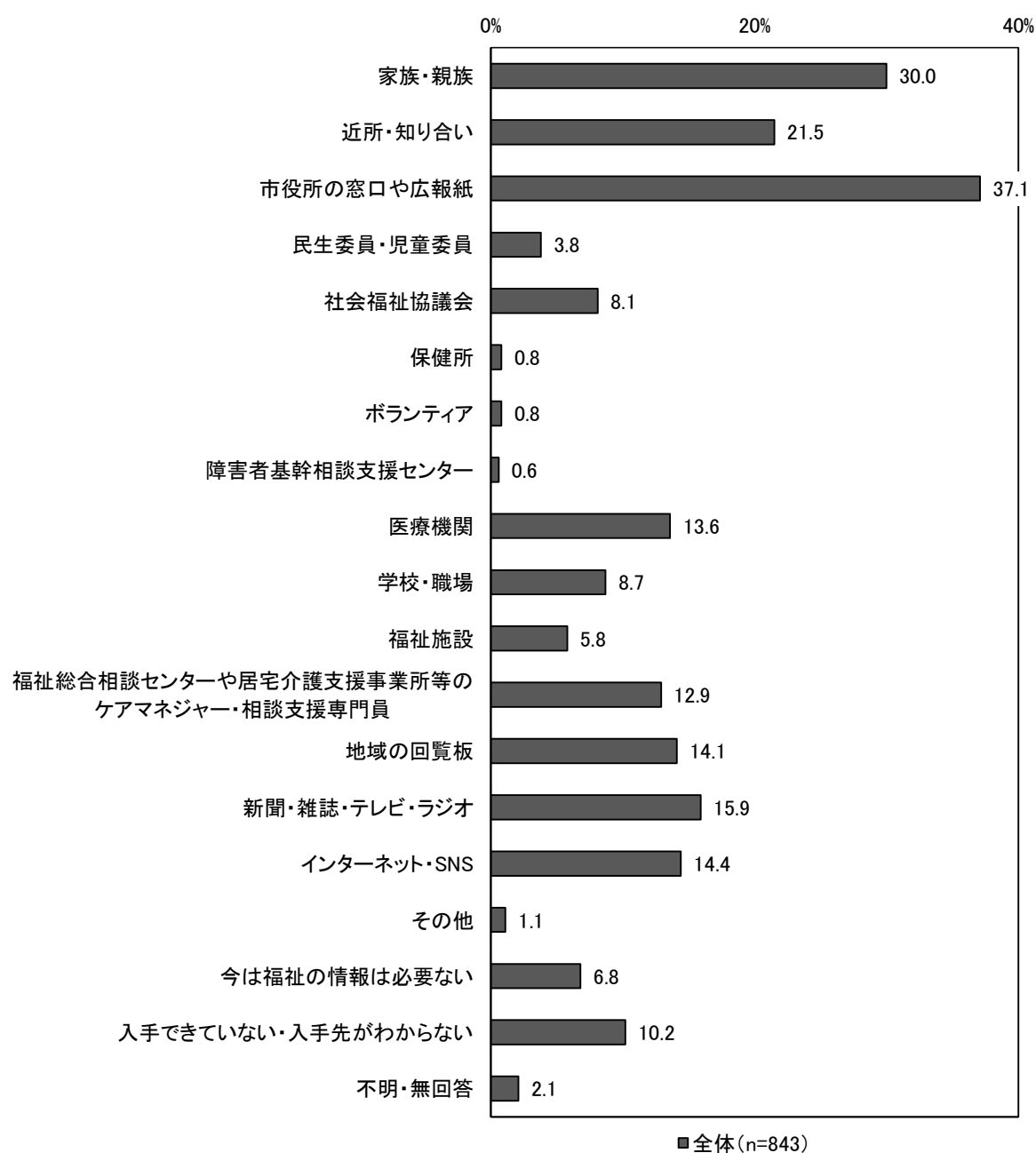
単位: %		n (人)	十分に入手 できている	ある程度入手 できている	あまり入手 できていない	ほとんど入手 できていない	入手する 必要がある	不明・無回答
全 体	今回	843	3.2	28.7	32.3	27.8	5.9	2.1
	前回	806	1.9	31.0	28.9	28.9	5.1	4.2
性 別	男性	372	3.8	28.5	33.6	25.8	5.6	2.7
	女性	459	2.8	29.2	31.4	28.8	6.3	1.5
年 代 別	20歳代以下	54	7.4	18.5	38.9	22.2	13.0	0.0
	30歳～39歳	45	6.7	22.2	26.7	28.9	15.6	0.0
	40歳～49歳	81	2.5	23.5	22.2	42.0	8.6	1.2
	50歳～59歳	130	3.1	21.5	27.7	42.3	5.4	0.0
	60歳～69歳	153	1.3	33.3	30.7	27.5	5.9	1.3
	70歳～79歳	221	1.8	33.0	36.2	22.6	4.1	2.3
	80歳以上	153	5.2	33.3	35.9	17.0	2.6	5.9

問 22 あなたは、福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

福祉サービスに関する情報の入手先については、「市役所の窓口や広報紙」が最も多く、次いで「家族・親族」「近所・知り合い」となっています。

性別にみると、男女ともに「市役所の窓口や広報紙」が最も多くなっています。また、女性で「近所・知り合い」が男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、40歳代以下で「家族・親族」、50歳代以上で「市役所の窓口や広報紙」が最も多くなっています。また、20歳代以下で「インターネット・SNS」「学校・職場」が3割と、他の年代に比べて多くなっています。



単位：％		n (人)	家族・親族	近所・知り合い	市役所の窓口や広報紙	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	保健所	ボランティア	障害者基幹相談支援センター	医療機関	学校・職場
全体	今回	843	30.0	21.5	37.1	3.8	8.1	0.8	0.8	0.6	13.6	8.7
	前回	806	32.3	23.6	34.6	2.5	7.4	0.5	1.2	1.0	11.0	－
性別	男性	372	30.4	18.5	39.0	4.8	8.6	1.6	0.5	1.1	11.3	5.9
	女性	459	30.1	24.2	36.2	3.1	7.4	0.2	1.1	0.2	15.0	11.1
年代別	20歳代以下	54	42.6	11.1	7.4	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	14.8	29.6
	30歳～39歳	45	40.0	22.2	28.9	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	15.6	20.0
	40歳～49歳	81	34.6	16.0	32.1	2.5	1.2	0.0	1.2	0.0	9.9	24.7
	50歳～59歳	130	26.2	24.6	31.5	0.8	6.9	1.5	0.8	0.8	13.1	13.1
	60歳～69歳	153	26.8	23.5	47.1	1.3	8.5	0.7	0.0	0.0	18.3	3.9
	70歳～79歳	221	31.2	24.4	47.5	5.9	10.9	0.5	0.5	0.9	14.0	2.3
	80歳以上	153	26.1	19.6	33.3	8.5	12.4	2.0	2.0	1.3	9.8	0.0

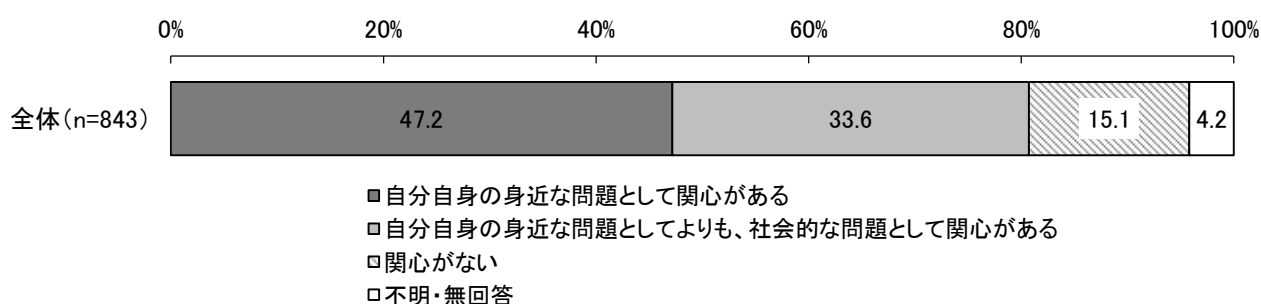
単位：％		n (人)	福祉施設	居宅介護支援センターや マネジャー・相談支援専門員	福祉総合相談センターや 地域の回覧板	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネット・SNS	その他	今は福祉の情報は必要ない	入手先がわからない・ 入手できていない・	不明・無回答
全体	今回	843	5.8	12.9	14.1	15.9	14.4	1.1	6.8	10.2	2.1
	前回	806	4.7	12.9	24.9	19.1	－	－	7.6	－	5.1
性別	男性	372	7.3	11.6	17.2	18.0	15.6	1.3	6.5	10.2	1.9
	女性	459	4.8	14.2	11.8	14.2	13.3	0.9	7.0	9.8	2.2
年代別	20歳代以下	54	3.7	3.7	3.7	9.3	33.3	0.0	14.8	11.1	0.0
	30歳～39歳	45	8.9	4.4	2.2	6.7	24.4	2.2	11.1	6.7	0.0
	40歳～49歳	81	3.7	6.2	2.5	7.4	23.5	2.5	7.4	14.8	1.2
	50歳～59歳	130	10.0	7.7	10.0	9.2	23.8	0.8	8.5	14.6	0.0
	60歳～69歳	153	5.2	17.6	19.6	14.4	16.3	0.7	5.9	11.1	2.0
	70歳～79歳	221	5.4	13.1	20.4	24.9	5.9	0.9	5.4	7.7	3.2
	80歳以上	153	4.6	22.2	17.0	19.0	2.6	1.3	3.9	7.2	3.9

問 23 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。(○は1つ)

福祉への関心については、「自分自身の身近な問題として関心がある」が最も多く、次いで「自分自身の身近な問題としてよりも、社会的な問題として関心がある」「関心がない」となっています。

性別にみると、男女ともに「自分自身の身近な問題として関心がある」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下と40歳代で「自分自身の身近な問題としてよりも、社会的な問題として関心がある」、30歳代で「自分自身の身近な問題としてよりも、社会的な問題として関心がある」と「関心がない」、50歳代以上で「自分自身の身近な問題として関心がある」が最も多くなっています。



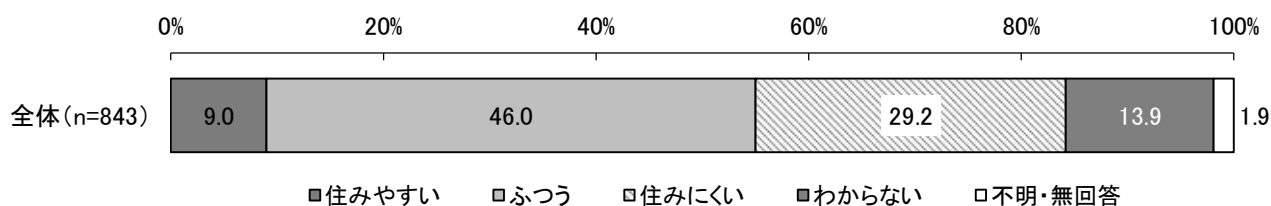
単位: %		n (人)	自分自身の身近な問題 として関心がある	自分自身の身近な問題 としてよりも、社会的な問 題として関心がある	関心がない	不明・無回答
全 体	今回	843	47.2	33.6	15.1	4.2
	前回	806	45.5	39.1	10.9	4.5
性 別	男性	372	41.9	39.0	16.4	2.7
	女性	459	51.6	29.6	13.7	5.0
年 代 別	20歳代以下	54	18.5	51.9	29.6	0.0
	30歳～39歳	45	31.1	33.3	33.3	2.2
	40歳～49歳	81	25.9	45.7	27.2	1.2
	50歳～59歳	130	42.3	39.2	16.9	1.5
	60歳～69歳	153	49.7	35.3	12.4	2.6
	70歳～79歳	221	54.3	31.2	8.1	6.3
	80歳以上	153	64.7	19.0	9.2	7.2

問 24 鴨川市は、高齢者・障害者・子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

鴨川市は高齢者や障害者、子どもにとって住みやすいまちと思うかについては、「ふつう」が最も多く、次いで「住みにくい」「わからない」となっています。

性別にみると、男女ともに「ふつう」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下と60歳代以上で「ふつう」、30歳代と50歳代で「ふつう」と「住みにくい」、40歳代で「住みにくい」が最も多くなっています。また、80歳以上で「住みやすい」が2割と、他の年代に比べて多くなっています。



単位: %		n (人)	住みやすい	ふつう	住みにくい	わからない	不明・無回答
全体	今回	843	9.0	46.0	29.2	13.9	1.9
	前回	806	11.7	44.0	24.1	17.9	2.4
性別	男性	372	9.9	47.3	27.4	13.2	2.2
	女性	459	8.5	45.1	30.7	14.2	1.5
年代別	20歳代以下	54	7.4	51.9	33.3	7.4	0.0
	30歳～39歳	45	8.9	42.2	42.2	6.7	0.0
	40歳～49歳	81	6.2	32.1	42.0	18.5	1.2
	50歳～59歳	130	4.6	40.0	40.0	13.8	1.5
	60歳～69歳	153	8.5	47.7	27.5	14.4	2.0
	70歳～79歳	221	6.8	53.8	22.6	14.5	2.3
	80歳以上	153	19.0	45.1	20.3	13.1	2.6

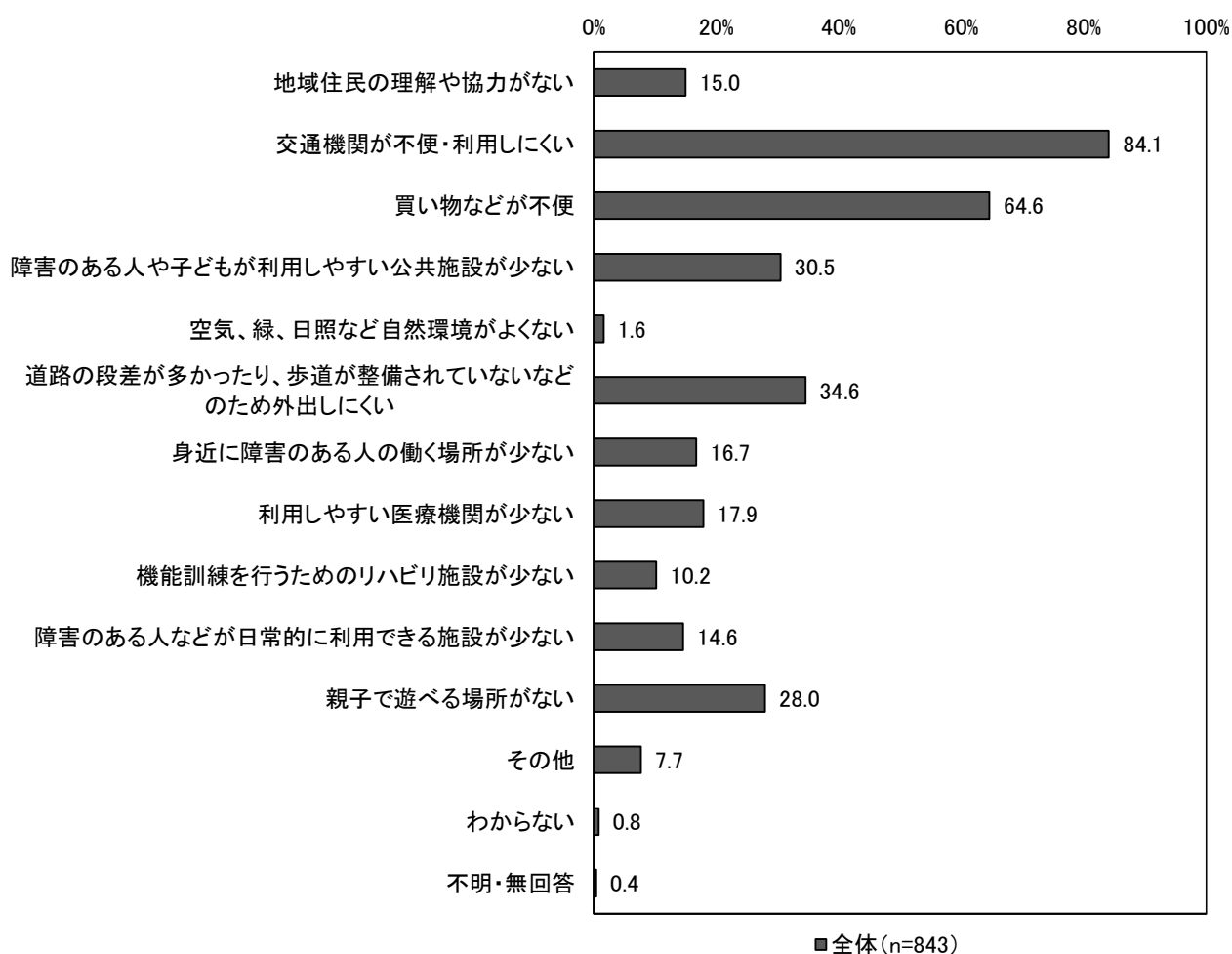
《問 24 で「3 住みにくい」とお答えの方に》

問 24-1 どのような点が住みにくいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

住みにくいと思う点については、「交通機関が不便・利用しにくい」が最も多く、次いで「買い物などが不便」「道路の段差が多かったり、歩道が整備されていないなどのため外出しにくい」となっています。

性別にみると、男女ともに「交通機関が不便・利用しにくい」が最も多くなっています。また、男性で「地域住民の理解や協力がいない」が2割と、女性に比べて多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「交通機関が不便・利用しにくい」が最も多くなっています。また、40歳代で「障害のある人や子供が利用しやすい公共施設が少ない」が6割、30～40歳代で「親子で遊べる場所がない」が5～6割と、それぞれ他の年代に比べて多くなっています。

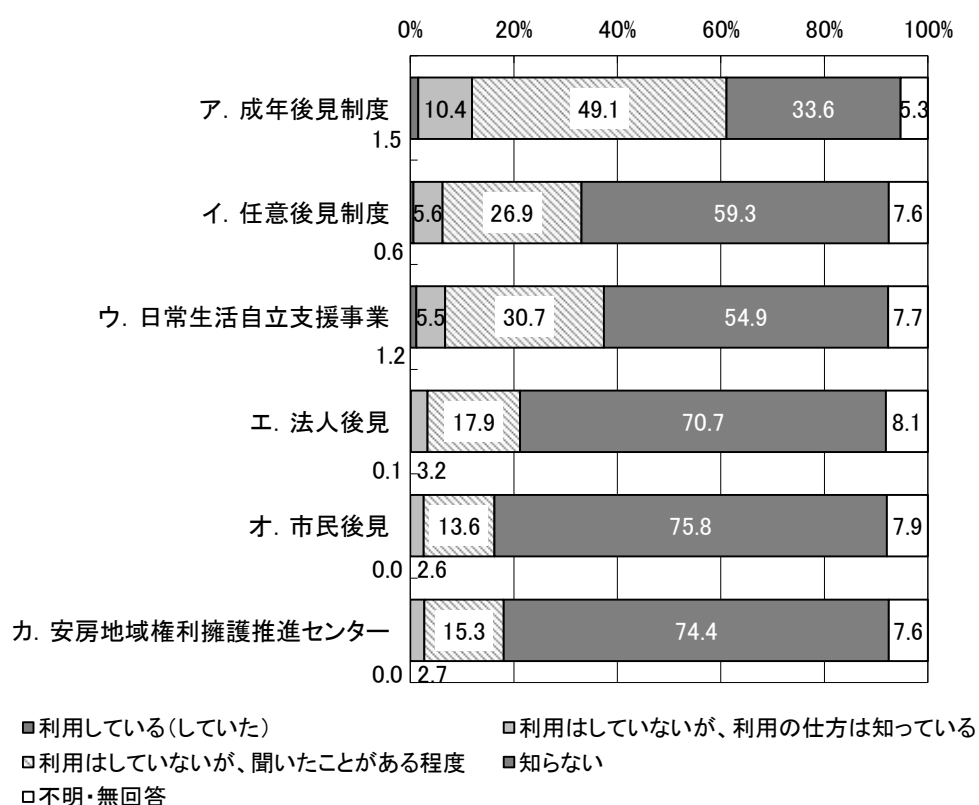


単位：%		n (人)	地域住民の 理解や協力が ない	交通機関が不便・ 利用しにくい	買い物などが不便	障害のある人や子どもが 利用しやすい公共施設が 少ない	空気、緑、日照など 自然環境がよくない	歩道が整備されていく などのため外出しにくい	道路の段差が多かったり、 歩道が整備されていない	身近に障害のある人の働く 場所が少ない	利用しやすい医療機関が少 ない	機能訓練を行うための リハビリ施設が少ない	障害のある人などが日常的 に利用できる施設が少ない	親子で遊べる場所がない	その他	わからない	不明・無回答
全体	今回	246	15.0	84.1	64.6	30.5	1.6	34.6	16.7	17.9	10.2	14.6	28.0	7.7	0.8	0.4	
	前回	194	12.9	85.1	71.6	28.4	1.0	37.6	17.0	12.4	9.8	19.1	30.9	9.3	1.5	－	
性別	男性	102	20.6	82.4	64.7	28.4	2.0	36.3	18.6	14.7	10.8	15.7	24.5	8.8	1.0	1.0	
	女性	141	9.9	85.8	64.5	31.9	1.4	33.3	14.9	20.6	9.9	13.5	31.2	6.4	0.7	0.0	
年代別	20歳代以下	18	5.6	94.4	66.7	11.1	0.0	22.2	0.0	16.7	0.0	5.6	27.8	5.6	0.0	0.0	
	30歳～39歳	19	15.8	78.9	68.4	21.1	0.0	15.8	10.5	21.1	5.3	15.8	52.6	5.3	0.0	0.0	
	40歳～49歳	34	26.5	82.4	61.8	61.8	5.9	44.1	38.2	32.4	17.6	23.5	58.8	8.8	0.0	0.0	
	50歳～59歳	52	11.5	90.4	65.4	30.8	0.0	48.1	21.2	15.4	7.7	13.5	30.8	5.8	0.0	0.0	
	60歳～69歳	42	21.4	71.4	52.4	33.3	0.0	28.6	16.7	16.7	7.1	16.7	23.8	14.3	0.0	0.0	
	70歳～79歳	50	10.0	92.0	76.0	22.0	4.0	34.0	6.0	16.0	14.0	10.0	16.0	4.0	0.0	0.0	
	80歳以上	31	12.9	77.4	61.3	22.6	0.0	29.0	16.1	9.7	12.9	16.1	0.0	9.7	6.5	3.2	

問 25 次の権利擁護の制度や事業について、どの程度知っていますか。(○は各項目1つ)

権利擁護の制度や事業の認知度について、「利用している(していた)」と「利用はしていないが、利用の仕方は知っている」を合わせた『知っている』は、「成年後見制度」が最も多く、次いで「日常生活自立支援事業」「任意後見制度」となっています。一方、「知らない」は、「市民後見」「安房地域権利擁護推進センター」「法人後見」が7割を超えています。

年代別にみると、概ね「知らない」が最も多くなっていますが、「成年後見制度」における40歳代以上で「利用はしていないが、聞いたことがある程度」が最も多くなっています。



※権利擁護

自ら意思を決定することに困難を抱える高齢者や障害のある方の財産の管理や日常生活上の法律行為をサポートし、安心してその人らしい生活が続けられるよう支援すること。

ア 成年後見制度

単位：％		n (人)	利用している (していた)	利用はしていないが、 利用の仕方は知っている	利用はしていないが、 聞いたことがある程度	知らない	不明・無回答
全 体	今回	843	1.5	10.4	49.1	33.6	5.3
	前回	806	1.0	10.7	49.6	32.3	6.5
性 別	男性	372	1.6	10.5	47.6	36.0	4.3
	女性	459	1.3	10.5	50.8	31.6	5.9
年 代 別	20歳代以下	54	0.0	14.8	37.0	48.1	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	6.7	44.4	46.7	0.0
	40歳～49歳	81	0.0	8.6	45.7	43.2	2.5
	50歳～59歳	130	3.1	12.3	43.1	40.8	0.8
	60歳～69歳	153	3.3	9.8	55.6	30.7	0.7
	70歳～79歳	221	0.0	11.3	59.7	22.6	6.3
	80歳以上	153	2.0	9.2	40.5	31.4	17.0

イ 任意後見制度

単位：％		n (人)	利用している (していた)	利用はしていないが、 利用の仕方は知っている	利用はしていないが、 聞いたことがある程度	知らない	不明・無回答
今回		843	0.6	5.6	26.9	59.3	7.6
性 別	男性	372	1.3	4.8	26.6	60.5	6.7
	女性	459	0.0	6.1	27.7	58.2	8.1
年 代 別	20歳代以下	54	0.0	11.1	25.9	63.0	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	0.0	28.9	68.9	0.0
	40歳～49歳	81	0.0	4.9	25.9	66.7	2.5
	50歳～59歳	130	0.0	9.2	25.4	63.1	2.3
	60歳～69歳	153	2.0	5.9	32.0	58.8	1.3
	70歳～79歳	221	0.5	4.1	28.1	58.4	9.0
	80歳以上	153	0.0	4.6	22.2	49.7	23.5

ウ 日常生活自立支援事業

単位：％		n (人)	利用している (していた)	利用はしていないが、 利用の仕方は知っている	利用はしていないが、 聞いたことがある程度	知らない	不明・無回答
全 体	今回	843	1.2	5.5	30.7	54.9	7.7
	前回	806	1.2	8.4	39.1	42.1	9.2
性 別	男性	372	1.6	3.8	27.2	60.2	7.3
	女性	459	0.9	6.8	34.0	50.5	7.8
年 代 別	20歳代以下	54	0.0	11.1	25.9	61.1	1.9
	30歳～39歳	45	2.2	0.0	28.9	66.7	2.2
	40歳～49歳	81	1.2	6.2	32.1	58.0	2.5
	50歳～59歳	130	0.0	6.2	32.3	59.2	2.3
	60歳～69歳	153	2.0	8.5	35.9	51.0	2.6
	70歳～79歳	221	1.8	3.6	35.3	51.1	8.1
	80歳以上	153	0.7	3.9	19.6	52.9	22.9

エ 法人後見

単位：％		n (人)	利用している (していた)	利用はしていないが、 利用の仕方は知っている	利用はしていないが、 聞いたことがある程度	知らない	不明・無回答
今回		843	0.1	3.2	17.9	70.7	8.1
性別	男性	372	0.3	2.7	16.4	73.7	7.0
	女性	459	0.0	3.5	19.2	68.6	8.7
年代別	20歳代以下	54	0.0	13.0	16.7	68.5	1.9
	30歳～39歳	45	0.0	2.2	24.4	73.3	0.0
	40歳～49歳	81	0.0	3.7	21.0	72.8	2.5
	50歳～59歳	130	0.0	2.3	22.3	73.1	2.3
	60歳～69歳	153	0.7	3.9	18.3	75.2	2.0
	70歳～79歳	221	0.0	2.3	16.3	71.9	9.5
	80歳以上	153	0.0	1.3	13.7	60.8	24.2

オ 市民後見

単位：％		n (人)	利用している (していた)	利用はしていないが、 利用の仕方は知っている	利用はしていないが、 聞いたことがある程度	知らない	不明・無回答
今回		843	0.0	2.6	13.6	75.8	7.9
性別	男性	372	0.0	1.6	14.0	77.7	6.7
	女性	459	0.0	3.3	13.5	74.5	8.7
年代別	20歳代以下	54	0.0	9.3	9.3	81.5	0.0
	30歳～39歳	45	0.0	2.2	17.8	77.8	2.2
	40歳～49歳	81	0.0	3.7	12.3	81.5	2.5
	50歳～59歳	130	0.0	2.3	18.5	76.9	2.3
	60歳～69歳	153	0.0	3.3	12.4	82.4	2.0
	70歳～79歳	221	0.0	1.8	13.1	75.6	9.5
	80歳以上	153	0.0	0.7	13.1	62.7	23.5

カ 安房地域権利擁護推進センター

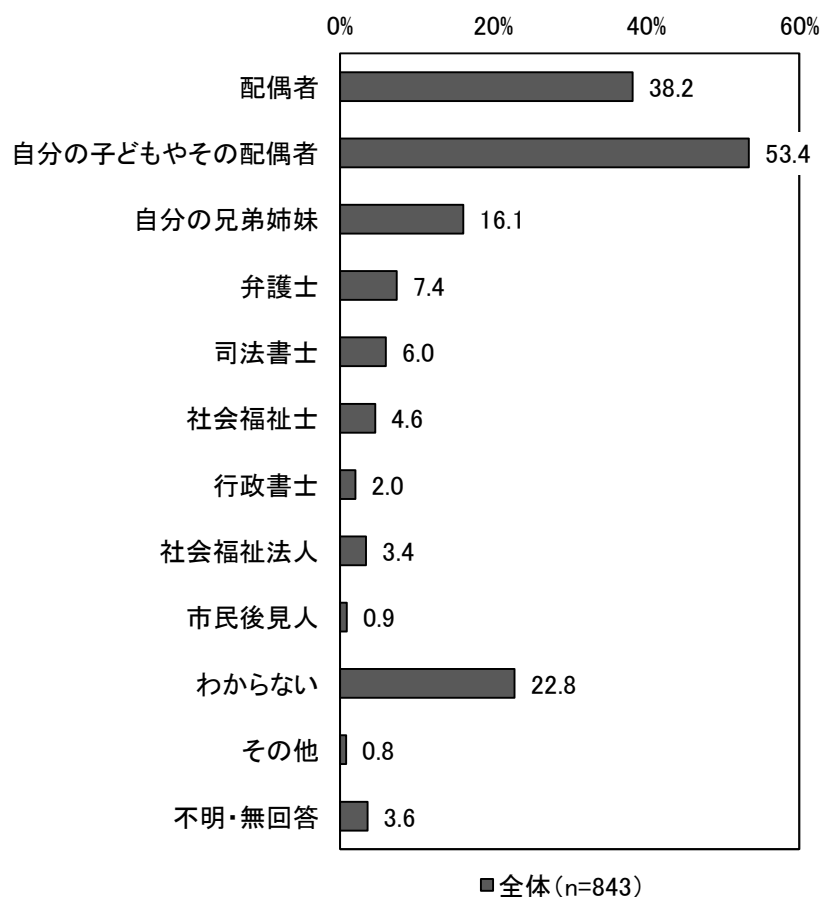
単位：％		n (人)	利用している (していた)	利用はしていないが、 利用の仕方は知っている	利用はしていないが、 聞いたことがある程度	知らない	不明・無回答
今回		843	0.0	2.7	15.3	74.4	7.6
性別	男性	372	0.0	1.9	14.2	77.2	6.7
	女性	459	0.0	3.3	16.3	72.3	8.1
年代別	20歳代以下	54	0.0	5.6	24.1	70.4	0.0
	30歳～39歳	45	0.0	2.2	15.6	82.2	0.0
	40歳～49歳	81	0.0	3.7	11.1	82.7	2.5
	50歳～59歳	130	0.0	2.3	16.2	78.5	3.1
	60歳～69歳	153	0.0	3.9	12.4	82.4	1.3
	70歳～79歳	221	0.0	2.3	18.6	69.7	9.5
	80歳以上	153	0.0	1.3	12.4	64.1	22.2

問 26 あなたが、もしも成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

成年後見制度を利用する場合に後見人になって支援してほしい人については、「自分の子どもやその配偶者」が最も多く、次いで「配偶者」「わからない」となっています。

性別にみると、男女ともに「自分の子どもやその配偶者」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下と40歳代で「わからない」、30歳代で「配偶者」、50歳代以上で「自分の子どもやその配偶者」が最も多くなっています。



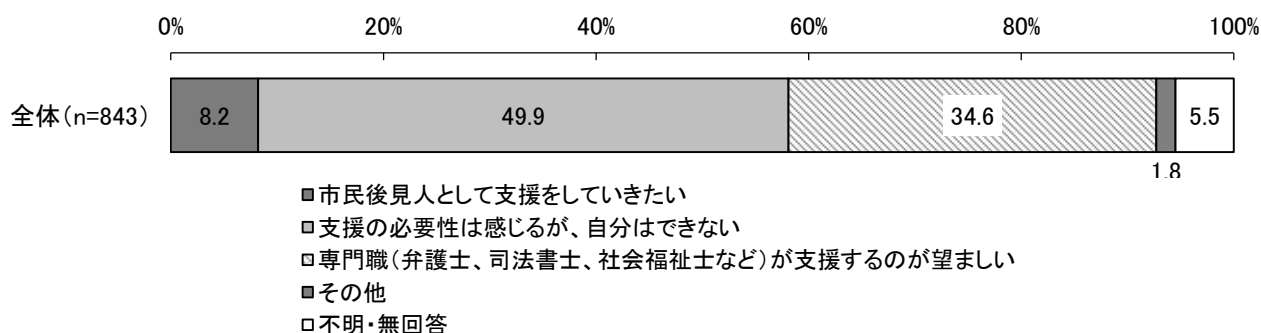
単位：%		n (人)	配偶者	自分の子どもや その配偶者	自分の兄弟姉妹	弁護士	司法書士	社会福祉士	行政書士	社会福祉法人	市民後見人	わからない	その他	不明・無回答
全体	今回	843	38.2	53.4	16.1	7.4	6.0	4.6	2.0	3.4	0.9	22.8	0.8	3.6
	前回	806	35.9	56.0	14.3	5.3	3.0	5.0	2.1	3.8	0.7	20.8	0.5	3.7
性別	男性	372	45.2	47.8	16.9	8.1	6.7	4.0	1.6	4.3	1.1	25.8	0.5	2.4
	女性	459	32.5	58.6	15.3	7.0	5.4	5.0	2.2	2.4	0.7	20.3	1.1	4.1
年代別	20歳代以下	54	27.8	25.9	18.5	13.0	5.6	3.7	3.7	0.0	0.0	53.7	0.0	1.9
	30歳～39歳	45	44.4	33.3	11.1	11.1	6.7	4.4	2.2	2.2	0.0	40.0	0.0	2.2
	40歳～49歳	81	38.3	38.3	17.3	4.9	7.4	2.5	0.0	2.5	0.0	39.5	1.2	2.5
	50歳～59歳	130	34.6	43.8	23.1	7.7	6.9	2.3	2.3	2.3	2.3	28.5	0.8	1.5
	60歳～69歳	153	41.2	53.6	18.3	9.8	7.2	9.2	5.2	5.2	0.7	18.3	1.3	0.7
	70歳～79歳	221	40.7	69.2	14.9	6.3	4.1	5.0	0.9	4.5	0.9	13.1	0.9	3.2
	80歳以上	153	36.6	62.7	10.5	4.6	6.5	3.3	0.7	3.3	1.3	11.1	0.7	9.8

問 27 市では鴨川市社会福祉協議会を始め関係機関と協働し、権利擁護が必要な方を身近な市民の方々が支える体制作りを進めています。あなたは、認知症や障害のある方を地域の方々が一定のサポートを受けながら市民後見人として支えることについてどのように思いますか。(○は1つ)

認知症や障害のある方を地域の方々が一定のサポートを受けながら市民後見人として支えることについては、「支援の必要性は感じるが、自分ではできない」が最も多く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）が支援するのが望ましい」「市民後見人として支援をしていきたい」となっています。

性別にみると、男女ともに「支援の必要性は感じるが、自分ではできない」が最も多くなっています。

年代別にみると、40歳代で「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）が支援するのが望ましい」、その他の年代で「支援の必要性は感じるが、自分ではできない」が最も多くなっています。



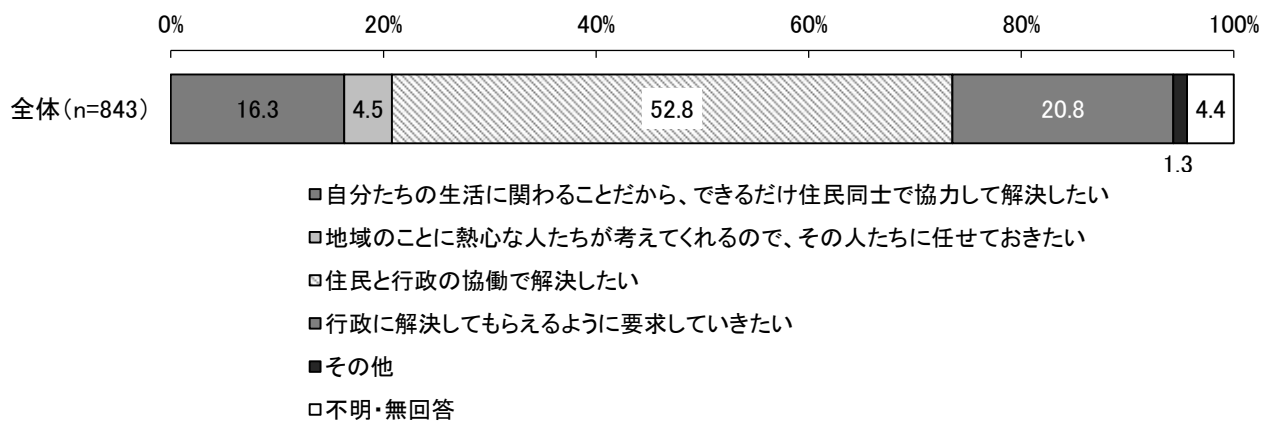
単位：%		n (人)	市民後見人として 支援をしていきたい	支援の必要性は 感じるが、自分は できない	専門職（弁護士、司 法書士、社会福祉 士など）が支援する のが望ましい	その他	不明・無回答
全体		843	8.2	49.9	34.6	1.8	5.5
性別	男性	372	7.8	48.7	37.9	1.1	4.6
	女性	459	8.5	51.6	32.0	2.4	5.4
年代別	20歳代以下	54	14.8	44.4	40.7	0.0	0.0
	30歳～39歳	45	11.1	51.1	33.3	0.0	4.4
	40歳～49歳	81	11.1	40.7	43.2	2.5	2.5
	50歳～59歳	130	8.5	52.3	36.2	0.0	3.1
	60歳～69歳	153	7.8	50.3	37.3	2.6	2.0
	70歳～79歳	221	7.2	54.3	32.1	1.8	4.5
	80歳以上	153	5.2	48.4	28.8	3.3	14.4

問 28 地域で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(○は1つ)

地域で起こる問題の解決方法については、「住民と行政の協働で解決したい」が最も多く、次いで「行政に解決してもらえるように要求していきたい」「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」となっています。

性別にみると、男女ともに「住民と行政の協働で解決したい」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「住民と行政の協働で解決したい」が最も多くなっています。



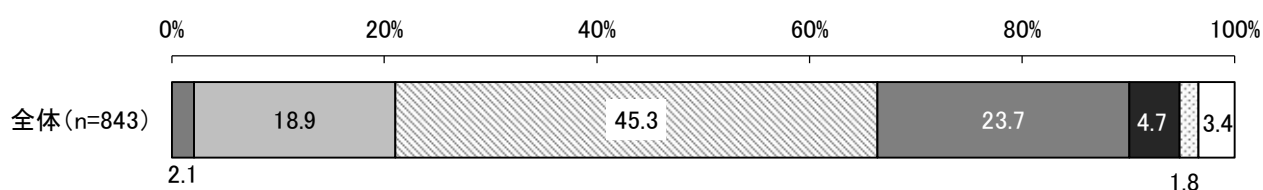
単位: %		n (人)	自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	地域のことに関心がある人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい	住民と行政の協働で解決したい	行政に解決してもらえるように要求していきたい	その他	不明・無回答
全体	今回	843	16.3	4.5	52.8	20.8	1.3	4.4
	前回	806	23.2	5.6	49.5	15.8	1.0	5.0
性別	男性	372	17.2	4.0	51.3	23.1	1.3	3.0
	女性	459	15.7	4.8	54.9	18.3	1.3	5.0
年代別	20歳代以下	54	18.5	9.3	48.1	22.2	1.9	0.0
	30歳～39歳	45	17.8	6.7	46.7	24.4	0.0	4.4
	40歳～49歳	81	16.0	7.4	44.4	28.4	1.2	2.5
	50歳～59歳	130	14.6	3.1	56.9	20.8	0.8	3.8
	60歳～69歳	153	16.3	4.6	58.8	18.3	0.7	1.3
	70歳～79歳	221	14.5	1.8	60.2	17.6	1.8	4.1
	80歳以上	153	19.6	5.9	41.2	21.6	2.0	9.8

問 29 経済的な理由により生活に困っている人を地域で支えることについて、あなたはどのように
 思いますか。(〇は1つ)

経済的な理由により生活に困っている人を地域で支えることについては、「関わりたい気持ちはあるが自分の生活で手いっぱいに関われない」が最も多く、次いで「支援は必要だと思うが、行政が支援すればよい」「間接的な支援に関わりたい（食品、生活必需品の寄付など）」となっています。

性別にみると、男女ともに「関わりたい気持ちはあるが、自分の生活で手いっぱいに関われない」が最も多くなっています。また、男性で「支援は必要だと思うが、行政が支援すればよい」、女性で「間接的な支援に関わりたい（食品、生活必需品の寄付など）」が異性に比べて多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「関わりたい気持ちはあるが自分の生活で手いっぱいに関われない」が最も多くなっています。



- 直接的な支援に関わりたい(家事手伝い、学習支援など)
- 間接的な支援に関わりたい(食品、生活必需品の寄付など)
- 関わりたい気持ちはあるが自分の生活で手いっぱいに関われない
- 支援は必要だと思うが、行政が支援すればよい
- 本人の問題なので、本人に任せておけばよい
- その他
- 不明・無回答

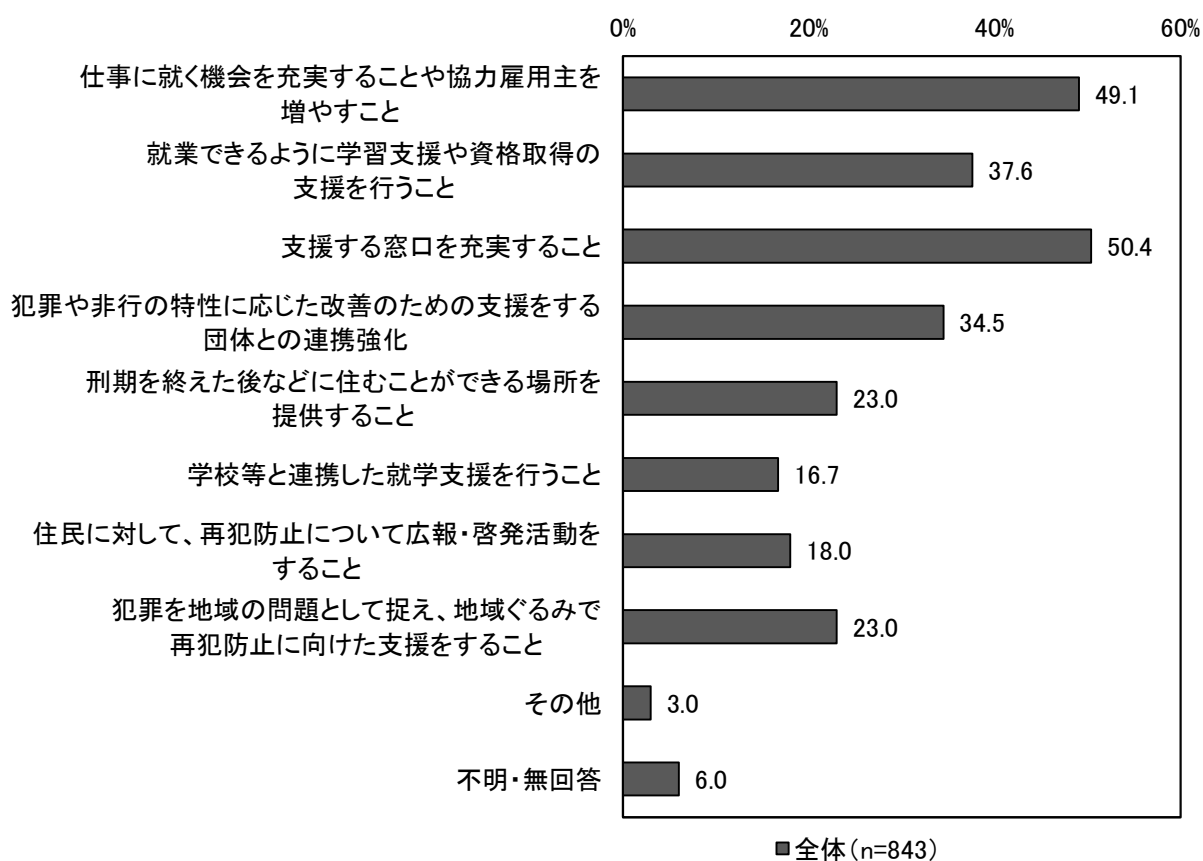
単位: %		n (人)	学習支援など） （家事手伝い、 直接的な支援に 関わりたい	（食生活必需品 の寄付など） （食生活必需品 の寄付など）	間接的な支援に 関わりたい	あ る が 自 分 の 気 持 ち は な い っ ぱ い に 関 わ れ な い	が、行政が支援す べ い が、行政が支援す べ い	本人の問題なので、 よ い に 任 せ て お け ば	その他	不明・無回答
全 体	今回	843	2.1	18.9	45.3	23.7	4.7	1.8	3.4	
	前回	806	3.1	20.0	43.1	22.3	5.0	1.7	4.8	
性 別	男性	372	1.9	14.8	44.6	27.7	6.5	1.9	2.7	
	女性	459	2.4	22.4	46.0	20.7	3.5	1.5	3.5	
年 代 別	20歳代以下	54	1.9	13.0	53.7	22.2	7.4	1.9	0.0	
	30歳～39歳	45	0.0	22.2	48.9	13.3	11.1	0.0	4.4	
	40歳～49歳	81	3.7	18.5	34.6	29.6	9.9	3.7	0.0	
	50歳～59歳	130	2.3	17.7	46.9	23.1	4.6	1.5	3.8	
	60歳～69歳	153	2.6	20.9	41.8	28.1	2.0	3.9	0.7	
	70歳～79歳	221	2.7	23.1	42.5	24.4	3.6	0.5	3.2	
	80歳以上	153	0.7	13.1	53.6	20.3	3.9	1.3	7.2	

問 30 非行や罪を犯した人の立ち直りや再犯防止に何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

非行や罪を犯した人の立ち直りや再犯防止に必要なことは、「支援する窓口を充実すること」が最も多く、次いで「仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと」「就業できるように学習支援や資格取得の支援を行うこと」となっています。

性別にみると、男性で「仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと」、女性で「支援する窓口を充実すること」が最も多くなっています。

年代別にみると、20 歳代以下と 40 歳代、60 歳代で「支援する窓口を充実すること」、30 歳代と 50 歳代、70 歳代「仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと」、80 歳以上で「仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと」と「支援する窓口を充実すること」が多くなっています。



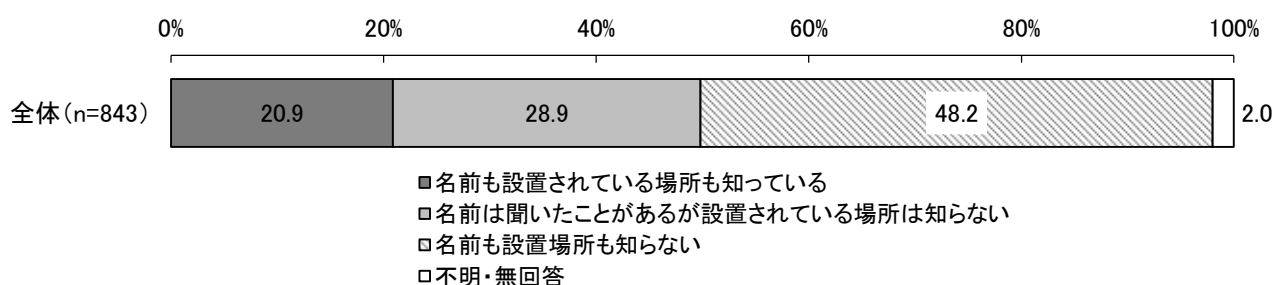
単位：％		n (人)	仕事に就く機会を増やすこと と	就業資格取得の支援を行うこと と	支援する窓口を充実すること と	犯罪や非行の特性に応じた 改善のための支援をする 団体との連携強化	刑期を終えた後などに住む ことができる場所を提供す ること	学校等と連携した就学支援 を行うこと	住民に対して、再犯防止に ついでに広報・啓発活動をする こと	え、地域ぐるみで再犯防止 に向けた支援をすること	その他	不明・無回答
全体		843	49.1	37.6	50.4	34.5	23.0	16.7	18.0	23.0	3.0	6.0
性別	男性	372	51.1	36.0	49.2	36.0	22.0	15.3	20.7	24.5	2.4	4.6
	女性	459	48.6	39.2	51.4	33.6	24.2	17.9	15.7	22.0	3.1	7.0
年代別	20歳代以下	54	27.8	22.2	46.3	29.6	7.4	13.0	16.7	29.6	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	40.0	31.1	37.8	20.0	31.1	13.3	13.3	20.0	2.2	4.4
	40歳～49歳	81	42.0	46.9	48.1	45.7	28.4	27.2	21.0	23.5	9.9	1.2
	50歳～59歳	130	53.1	43.1	50.0	43.1	23.1	16.2	23.1	23.8	3.8	3.8
	60歳～69歳	153	47.1	39.9	57.5	33.3	24.8	16.3	18.3	21.6	1.3	2.6
	70歳～79歳	221	59.3	43.4	52.0	39.8	24.4	18.6	17.6	22.6	1.8	7.7
	80歳以上	153	48.4	26.1	48.4	21.6	20.3	12.4	14.4	23.5	1.3	13.1

問 31 地域共生社会推進の観点から、鴨川市においては平成24年度より福祉の総合相談窓口として福祉総合相談センターを設置しています。福祉総合相談センターをご存じですか。
(○は1つ)

福祉総合相談センターの認知度については、「名前も設置場所も知らない」が最も多く、次いで「名前は聞いたことがあるが設置されている場所は知らない」「名前も設置されている場所も知っている」となっています。

性別にみると、男女ともに「名前も設置場所も知らない」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「名前も設置場所も知らない」が最も多くなっています。また、70歳代で「名前も設置されている場所も知っている」が2割半ばと、他の年代に比べて多くなっています。



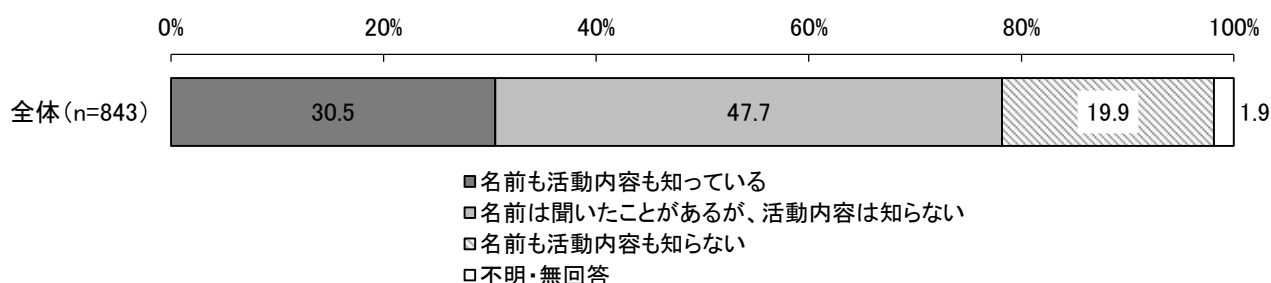
単位: %		n (人)	名前も設置されている 場所も知っている	名前は聞いたことがあ るが設置されている 場所は知らない	名前も設置場所も 知らない	不明・無回答
全体		843	20.9	28.9	48.2	2.0
性別	男性	372	21.5	26.1	50.3	2.2
	女性	459	20.5	31.6	46.4	1.5
年代別	20歳代以下	54	13.0	33.3	53.7	0.0
	30歳～39歳	45	13.3	31.1	53.3	2.2
	40歳～49歳	81	22.2	23.5	54.3	0.0
	50歳～59歳	130	20.0	24.6	53.8	1.5
	60歳～69歳	153	19.0	30.1	51.0	0.0
	70歳～79歳	221	26.2	29.4	42.5	1.8
	80歳以上	153	20.9	32.0	41.8	5.2

問 32 鴨川市社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのため、地域の皆さんを中心に、ボランティア、健康・福祉関係者、行政と協働し、地域福祉活動とともに考え実行していく社会福祉法人です。あなたは社会福祉協議会をご存知でしたか。(○は1つ)

社会福祉協議会の認知度については、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が最も多く、次いで「名前も活動内容も知っている」「名前も活動内容も知らない」となっています。

性別にみると、男女ともに「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が最も多くなっています。また、30歳代以下で「名前も活動内容も知らない」、70歳代で「名前も設置場所も知っている」が4割と、他の年代に比べて多くなっています。

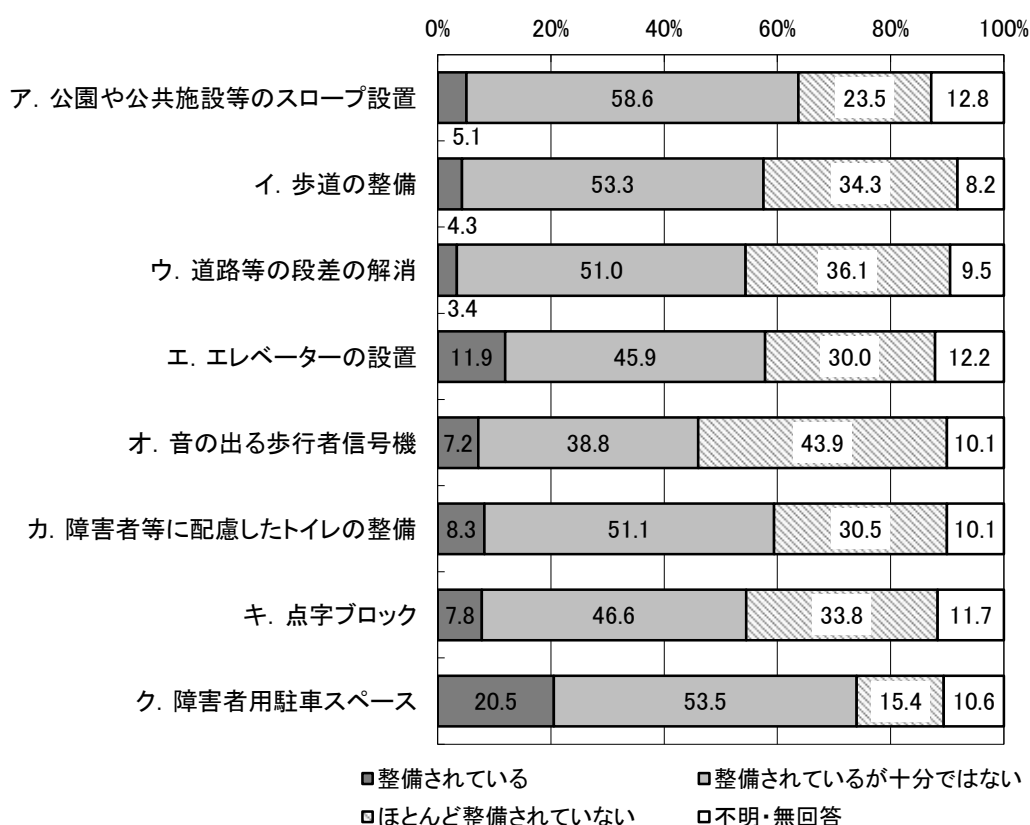


単位: %		n (人)	名前も活動内容も 知っている	名前は聞いたことが あるが、活動内容は 知らない	名前も活動内容も 知らない	不明・無回答
全 体	今回	843	30.5	47.7	19.9	1.9
	前回	806	35.0	53.1	9.1	2.9
性 別	男性	372	29.3	46.0	22.6	2.2
	女性	459	31.6	49.2	17.9	1.3
年 代 別	20歳代以下	54	11.1	51.9	37.0	0.0
	30歳～39歳	45	6.7	53.3	37.8	2.2
	40歳～49歳	81	27.2	44.4	27.2	1.2
	50歳～59歳	130	26.2	46.9	25.4	1.5
	60歳～69歳	153	30.7	50.3	19.0	0.0
	70歳～79歳	221	40.7	46.6	11.3	1.4
	80歳以上	153	34.6	47.1	13.7	4.6

問 33 高齢者や障害のある人、妊産婦等が支障なく外出できるような福祉のまちづくりの整備が課題となっていますが、次の施設の状況についてどのように思いますか。(○は各項目1つ)

福祉のまちづくりに向けた各種施設等の整備状況について、「音の出る歩行者信号機」で「ほとんど整備されていない」が約4割と最も多く、その他の項目では「整備されているが十分ではない」が最も多くなっています。

また、「整備されている」は、「障害者用駐車スペース」が2割と、他の項目に比べて多くなっています。



ア 公園や公共施設等のスロープ設置

単位：％		n (人)	整備されている	整備されているが 十分ではない	ほとんど 整備されていない	不明・無回答
全 体	今回	843	5.1	58.6	23.5	12.8
	前回	806	8.2	49.5	25.6	16.7
性 別	男性	372	5.1	58.9	23.9	12.1
	女性	459	4.6	58.8	23.5	13.1
年 代 別	20歳代以下	54	9.3	72.2	18.5	0.0
	30歳～39歳	45	11.1	68.9	20.0	0.0
	40歳～49歳	81	4.9	53.1	39.5	2.5
	50歳～59歳	130	3.8	55.4	30.8	10.0
	60歳～69歳	153	3.3	66.7	24.8	5.2
	70歳～79歳	221	2.7	60.6	21.3	15.4
	80歳以上	153	7.8	46.4	14.4	31.4

イ 歩道の整備

単位：％		n (人)	整備されている	整備されているが 十分ではない	ほとんど 整備されていない	不明・無回答
全 体	今回	843	4.3	53.3	34.3	8.2
	前回	806	5.2	49.1	33.0	12.7
性 別	男性	372	4.6	52.4	35.8	7.3
	女性	459	3.9	54.5	32.9	8.7
年 代 別	20歳代以下	54	9.3	61.1	27.8	1.9
	30歳～39歳	45	11.1	53.3	35.6	0.0
	40歳～49歳	81	3.7	51.9	40.7	3.7
	50歳～59歳	130	3.1	50.0	41.5	5.4
	60歳～69歳	153	2.6	62.7	33.3	1.3
	70歳～79歳	221	3.6	48.9	38.9	8.6
	80歳以上	153	4.6	51.6	20.9	22.9

ウ 道路等の段差の解消

単位：％		n (人)	整備されている	整備されているが 十分ではない	ほとんど 整備されていない	不明・無回答
全 体	今回	843	3.4	51.0	36.1	9.5
	前回	806	3.6	45.7	37.3	13.4
性 別	男性	372	3.5	52.7	35.8	8.1
	女性	459	3.1	50.3	36.2	10.5
年 代 別	20歳代以下	54	11.1	63.0	25.9	0.0
	30歳～39歳	45	11.1	57.8	31.1	0.0
	40歳～49歳	81	3.7	40.7	51.9	3.7
	50歳～59歳	130	3.1	50.8	41.5	4.6
	60歳～69歳	153	2.0	57.5	37.9	2.6
	70歳～79歳	221	0.9	46.6	40.3	12.2
	80歳以上	153	3.9	51.0	20.3	24.8

エ エレベーターの設置

単位：％		n (人)	整備されている	整備されているが 十分ではない	ほとんど 整備されていない	不明・無回答
全 体	今回	843	11.9	45.9	30.0	12.2
	前回	806	13.4	38.2	29.8	18.6
性 別	男性	372	9.9	48.7	30.4	11.0
	女性	459	13.1	44.0	30.1	12.9
年 代 別	20歳代以下	54	22.2	61.1	14.8	1.9
	30歳～39歳	45	31.1	48.9	20.0	0.0
	40歳～49歳	81	12.3	40.7	43.2	3.7
	50歳～59歳	130	10.0	55.4	29.2	5.4
	60歳～69歳	153	10.5	52.3	32.7	4.6
	70歳～79歳	221	8.1	43.0	32.1	16.7
	80歳以上	153	10.5	33.3	26.8	29.4

オ 音の出る歩行者信号機

単位：％		n (人)	整備されている	整備されているが 十分ではない	ほとんど 整備されていない	不明・無回答
全 体	今回	843	7.2	38.8	43.9	10.1
	前回	806	7.9	32.9	42.3	16.9
性 別	男性	372	6.5	40.9	43.5	9.1
	女性	459	7.8	37.3	44.7	10.2
年 代 別	20歳代以下	54	20.4	33.3	46.3	0.0
	30歳～39歳	45	13.3	53.3	33.3	0.0
	40歳～49歳	81	3.7	35.8	58.0	2.5
	50歳～59歳	130	3.1	46.9	45.4	4.6
	60歳～69歳	153	11.8	51.6	33.3	3.3
	70歳～79歳	221	4.1	34.4	50.7	10.9
	80歳以上	153	5.9	25.5	39.9	28.8

カ 障害者等に配慮したトイレの整備

単位：％		n (人)	整備されている	整備されているが 十分ではない	ほとんど 整備されていない	不明・無回答
全 体	今回	843	8.3	51.1	30.5	10.1
	前回	806	9.6	44.3	29.3	16.9
性 別	男性	372	7.3	50.0	33.9	8.9
	女性	459	9.4	51.9	28.1	10.7
年 代 別	20歳代以下	54	18.5	61.1	20.4	0.0
	30歳～39歳	45	20.0	53.3	26.7	0.0
	40歳～49歳	81	3.7	59.3	34.6	2.5
	50歳～59歳	130	5.4	57.7	32.3	4.6
	60歳～69歳	153	9.8	59.5	27.5	3.3
	70歳～79歳	221	6.3	44.8	37.6	11.3
	80歳以上	153	7.8	37.9	25.5	28.8

キ 点字ブロック

単位：％		n (人)	整備されている	整備されているが 十分ではない	ほとんど 整備されていない	不明・無回答
全 体	今回	843	7.8	46.6	33.8	11.7
	前回	806	7.3	37.3	36.6	18.7
性 別	男性	372	7.5	47.0	35.8	9.7
	女性	459	8.1	46.6	32.5	12.9
年 代 別	20歳代以下	54	29.6	48.1	22.2	0.0
	30歳～39歳	45	22.2	46.7	31.1	0.0
	40歳～49歳	81	6.2	51.9	38.3	3.7
	50歳～59歳	130	3.1	58.5	32.3	6.2
	60歳～69歳	153	8.5	51.6	35.3	4.6
	70歳～79歳	221	4.5	41.6	42.1	11.8
	80歳以上	153	4.6	37.3	24.8	33.3

ク 障害者用駐車スペース

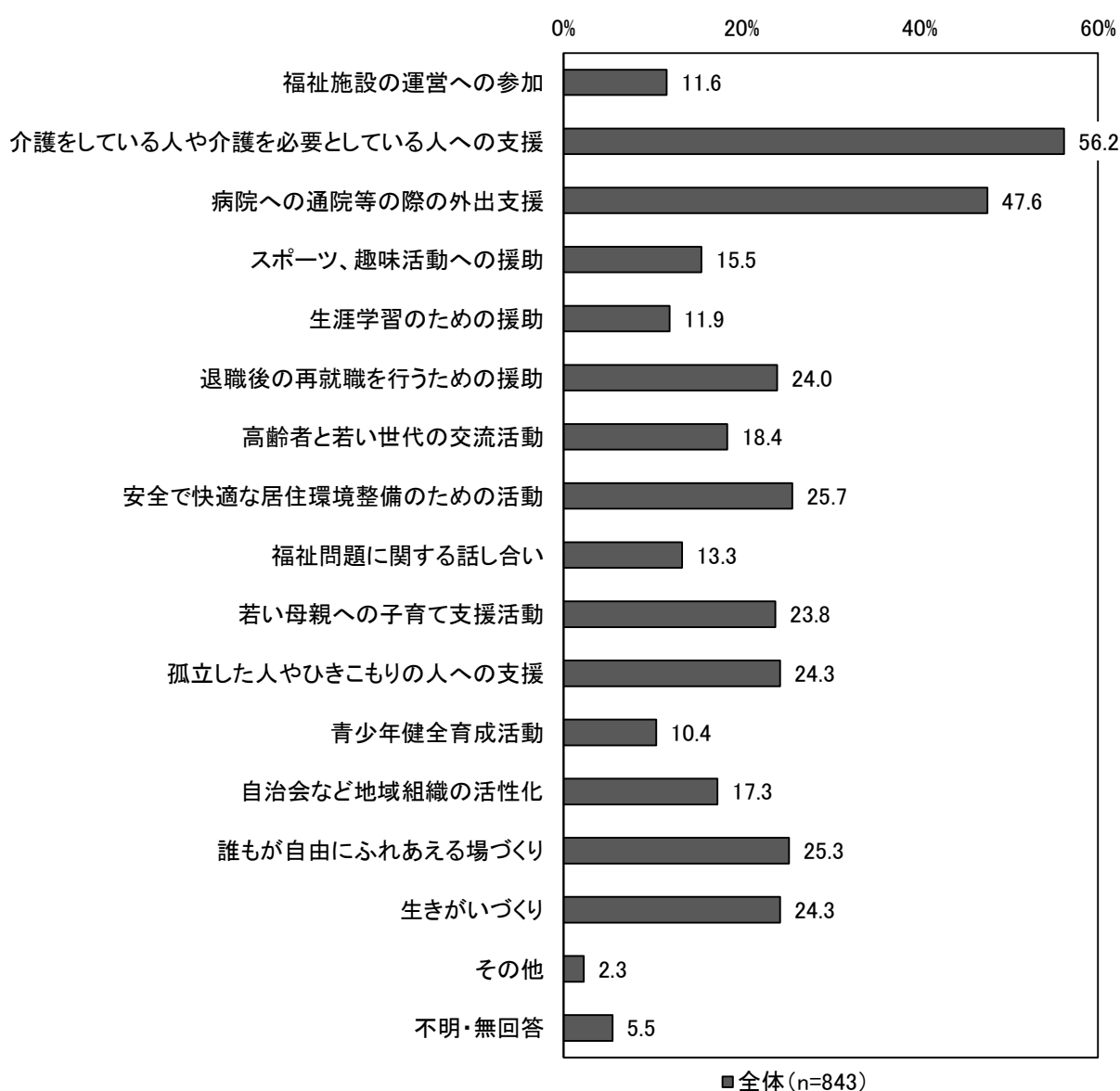
単位：％		n (人)	整備されている	整備されているが 十分ではない	ほとんど 整備されていない	不明・無回答
全 体	今回	843	20.5	53.5	15.4	10.6
	前回	806	19.2	50.0	15.4	15.4
性 別	男性	372	16.9	54.8	18.8	9.4
	女性	459	23.5	52.5	12.9	11.1
年 代 別	20歳代以下	54	37.0	53.7	9.3	0.0
	30歳～39歳	45	33.3	55.6	11.1	0.0
	40歳～49歳	81	22.2	55.6	19.8	2.5
	50歳～59歳	130	20.8	59.2	15.4	4.6
	60歳～69歳	153	23.5	55.6	16.3	4.6
	70歳～79歳	221	17.6	53.8	16.7	11.8
	80歳以上	153	11.1	45.1	14.4	29.4

問 34 今後、地域福祉活動を推進していく上で、地域住民として、どのような取り組みが必要であるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

今後地域福祉活動を推進していくために地域住民として必要と考える取り組みについては、「介護をしている人や介護を必要としている人への支援」が最も多く、次いで「病院への通院等の際の外出支援」「安全で快適な居住環境整備のための活動」となっています。

性別にみると、男女ともに「介護をしている人や介護を必要としている人への支援」が最も多くなっています。

年代別にみると、70 歳代以下で「介護をしている人や介護を必要としている人への支援」、80 歳以上で「病院への通院等の際の外出支援」が最も多くなっています。



単位：%		n (人)	福祉施設の運営への参加	介護をしている人や介護を必要としている人への支援	外出支援	病院への通院等の際の	スポーツ、趣味活動への援助	生涯学習のための援助	退職後の再就職を行うための援助	高齢者と若い世代の交流活動	安全で快適な居住環境整備のための活動	福祉問題に関する話し合い	子育て支援活動	若い母親への	孤立した人やひきこもりの人への支援	青少年健全育成活動	活性化	自治会など地域組織の場づくり	誰もが自由にふれあえる	生きがいづくり	その他	不明・無回答
全体	今回	843	11.6	56.2	47.6	15.5	11.9	24.0	18.4	25.7	13.3	23.8	24.3	10.4	17.3	25.3	24.3	2.3	5.5			
	前回	806	10.0	52.9	43.5	13.5	10.9	22.0	18.2	25.6	10.7	18.9	22.3	8.1	17.0	-	-	2.1	8.7			
性別	男性	372	11.8	51.3	41.7	16.9	13.2	26.9	21.2	24.2	13.7	21.5	24.2	12.6	19.6	26.3	23.4	3.0	5.4			
	女性	459	11.5	60.8	52.9	14.6	10.9	21.6	16.1	27.0	12.9	26.1	24.2	8.7	15.3	24.6	25.3	1.7	5.0			
年代別	20歳代以下	54	7.4	46.3	27.8	24.1	9.3	16.7	1.9	18.5	11.1	27.8	3.7	5.6	3.7	18.5	29.6	0.0	0.0			
	30歳～39歳	45	11.1	42.2	26.7	13.3	8.9	20.0	11.1	24.4	11.1	37.8	28.9	11.1	13.3	26.7	22.2	2.2	2.2			
	40歳～49歳	81	12.3	50.6	40.7	25.9	17.3	33.3	18.5	42.0	9.9	28.4	25.9	16.0	16.0	32.1	30.9	4.9	2.5			
	50歳～59歳	130	13.8	65.4	46.9	13.1	10.8	33.8	16.9	31.5	11.5	19.2	28.5	10.0	16.9	23.8	16.9	1.5	2.3			
	60歳～69歳	153	8.5	52.9	50.3	16.3	12.4	30.7	22.2	25.5	11.1	24.2	26.8	7.8	16.3	24.2	28.8	3.9	3.3			
	70歳～79歳	221	13.6	64.3	52.9	14.0	14.9	17.6	17.2	25.8	17.6	23.5	24.9	10.9	21.7	28.1	26.7	0.9	5.4			
	80歳以上	153	11.8	52.3	55.6	11.8	7.2	17.0	26.1	16.3	13.7	20.9	23.5	11.8	18.3	22.9	19.0	2.6	13.1			

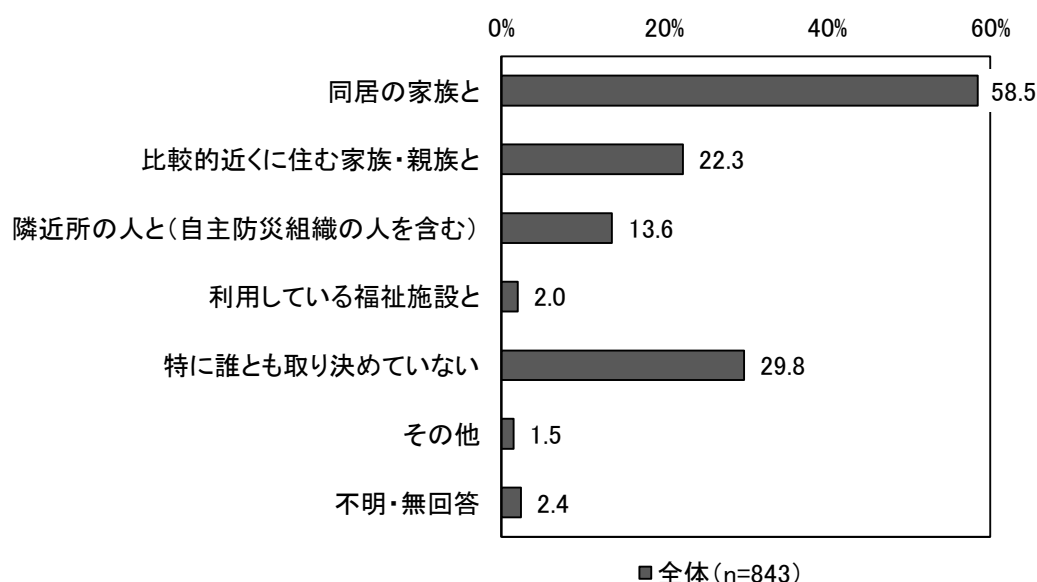
4. 災害時に対する備えについて

問 35 あなたは、災害が起きた時の対応(連絡のとり方や避難の方法など)について、自分以外の誰かと取り決めていますか。(あてはまるものすべてに○)

災害が起きた時の対応に関する取り決めをしている相手については、「同居の家族と」が最も多く、次いで「特に誰とも取り決めていない」「比較的近くに住む家族・親族と」となっています。

性別にみると、男女ともに「同居の家族と」が最も多くなっています。また、男性で「特に誰とも取り決めていない」が3割台と、女性に比べて多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「同居の家族と」が最も多くなっています。また、80歳以上で「隣近所の人(自主防災組織の人を含む)」が2割台と、他の年代に比べて多くなっています。



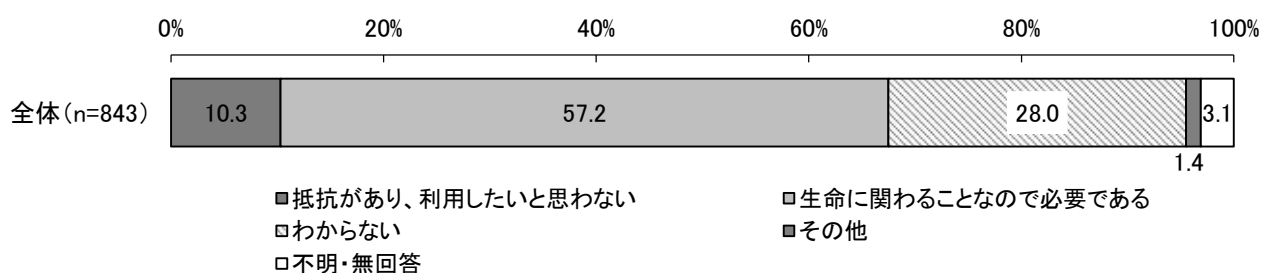
単位: %		n (人)	同居 の 家族 と	家 族 ・ 比 較 的 近 く に 住 む	人 を 含 む (隣 近 所 の 人 と 自 主 防 災 組 織 の 人 を 含 む)	施 設 と 利 用 し て い る 福 祉	め 特 に 誰 と も 取 り 決 め て い な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全 体	今回	843	58.5	22.3	13.6	2.0	29.8	1.5	2.4
	前回	806	62.3	23.3	14.0	2.5	25.6	1.2	2.6
性 別	男性	372	56.2	21.8	14.2	2.4	32.5	1.3	2.7
	女性	459	60.8	22.9	13.5	1.7	26.8	1.7	2.0
年 代 別	20歳代以下	54	55.6	18.5	5.6	0.0	37.0	0.0	0.0
	30歳～39歳	45	66.7	13.3	4.4	2.2	24.4	0.0	2.2
	40歳～49歳	81	65.4	14.8	9.9	0.0	30.9	1.2	1.2
	50歳～59歳	130	56.9	22.3	7.7	1.5	32.3	0.8	0.0
	60歳～69歳	153	56.9	19.0	11.8	2.0	26.8	4.6	1.3
	70歳～79歳	221	62.0	27.6	16.7	1.8	29.9	0.5	2.3
	80歳以上	153	51.6	25.5	24.2	4.6	28.1	2.0	6.5

問 36 災害時に、高齢者や障害のある人など避難に配慮を必要とする人が一人でも多く助かるよう、そうした要配慮者の住所や連絡先などの個人情報を経営者で共有することに対してどのように思いますか。(○は1つ)

災害時のために要配慮者の個人情報を共有することについては、「生命に関わることなので必要である」が最も多く、次いで「わからない」「抵抗があり、利用したいと思わない」となっています。

性別にみると、男女ともに「生命に関わることなので必要である」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「生命に関わることなので必要である」が最も多くなっています。また、20歳代以下で「抵抗があり、利用したいと思わない」が2割台と、他の年代に比べて多くなっています。



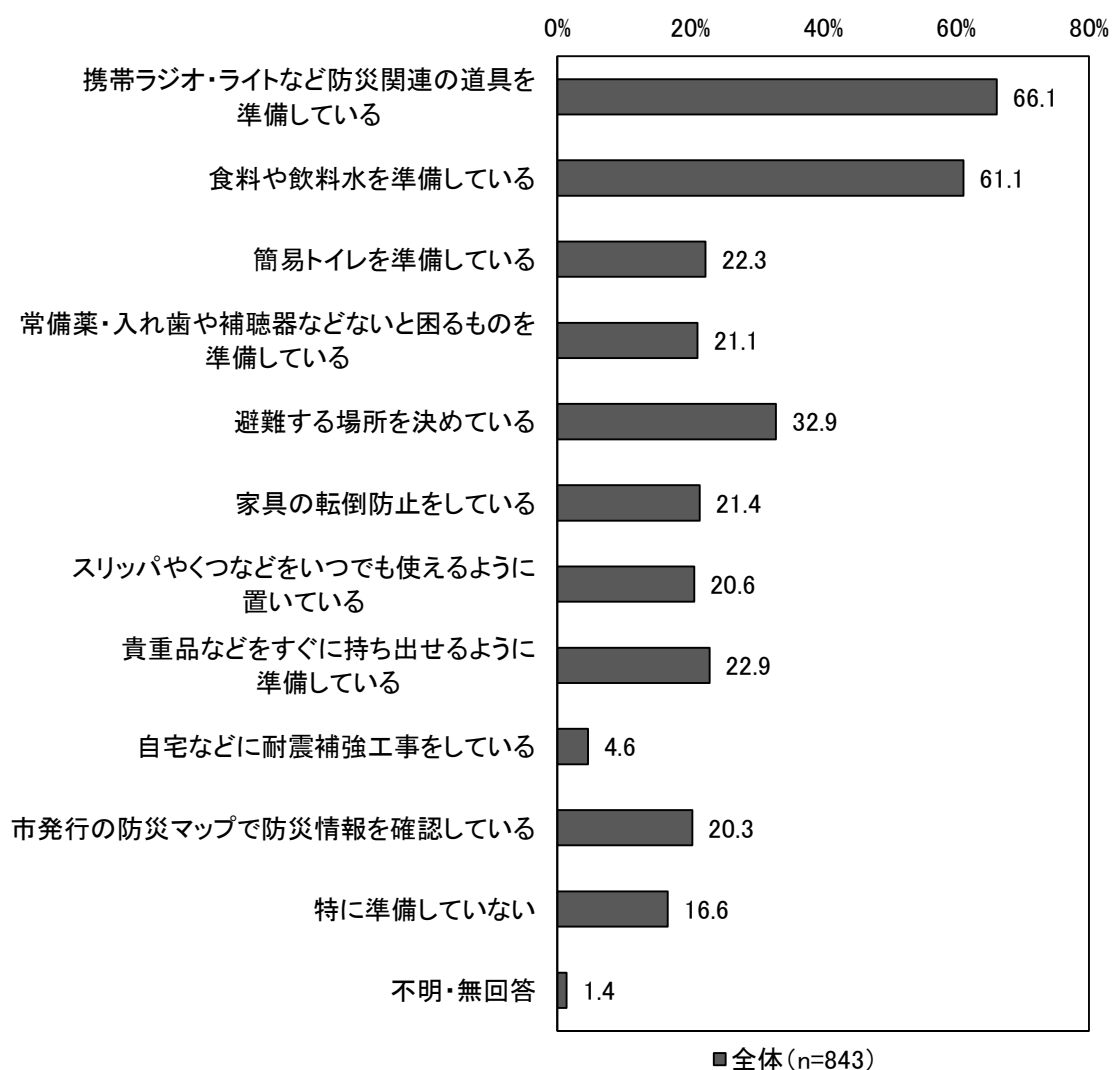
単位：%		n (人)	抵抗があり、利用 したいと思わない	生命に関わること なので必要である	わからない	その他	不明・無回答
全 体	今回	843	10.3	57.2	28.0	1.4	3.1
	前回	806	5.7	60.8	28.9	1.4	3.2
性 別	男性	372	11.0	58.1	26.6	1.1	3.2
	女性	459	9.2	57.5	29.0	1.5	2.8
年 代 別	20歳代以下	54	24.1	44.4	27.8	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	15.6	48.9	33.3	0.0	2.2
	40歳～49歳	81	16.0	48.1	30.9	3.7	1.2
	50歳～59歳	130	11.5	56.9	30.8	0.0	0.8
	60歳～69歳	153	5.2	67.3	25.5	1.3	0.7
	70歳～79歳	221	9.0	56.6	28.5	0.9	5.0
	80歳以上	153	6.5	61.4	23.5	2.0	6.5

問 37 あなたは、災害が起こった場合に備えてどのような準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

災害時の備えについては、「携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している」が最も多く、次いで「食料や飲料水を準備している」「避難する場所を決めている」となっています。

性別にみると、男女ともに「携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している」が最も多くなっています。

年代別にみると、40歳代以下で「食料や飲料水を準備している」、50歳代以上で「携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している」が最も多くなっています。



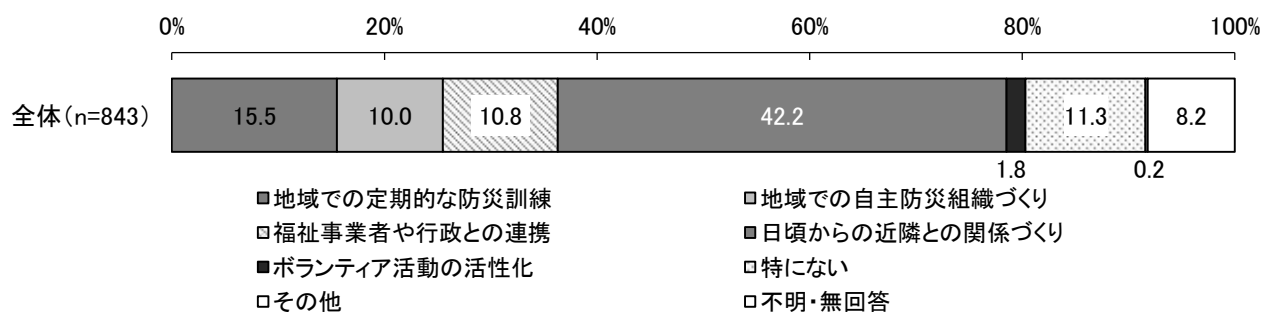
単位：％		n (人)	防災関連の道具を準備している	携帯ラジオ・ライトなど	食料や飲料水を準備している	簡易トイレを準備している	常備薬・入れ歯や補聴器など ないと困るものを準備している	避難する場所を決めている	家具の転倒防止をしている	スリッパやくつなどをいつでも 使えるように置いている	貴重品などをすぐに持ち出せる ように準備している	自宅などに耐震補強工事をして いる	市発行の防災マップで防災情報 を確認している	特に準備していない	不明・無回答
全体	今回	843	66.1	61.1	22.3	21.1	32.9	21.4	20.6	22.9	4.6	20.3	16.6	1.4	
	前回	806	75.8	57.1	－	20.8	35.2	19.6	17.7	24.2	6.0	19.7	11.7	1.5	
性別	男性	372	65.3	58.1	17.5	21.5	32.0	21.8	17.5	24.2	5.1	23.1	20.7	1.6	
	女性	459	67.1	63.8	26.1	20.5	33.6	21.4	23.3	21.8	4.1	18.1	13.1	0.9	
年代別	20歳代以下	54	38.9	46.3	18.5	16.7	25.9	5.6	9.3	27.8	1.9	14.8	22.2	0.0	
	30歳～39歳	45	55.6	75.6	46.7	24.4	40.0	17.8	20.0	11.1	4.4	22.2	8.9	0.0	
	40歳～49歳	81	60.5	61.7	23.5	14.8	40.7	22.2	11.1	14.8	8.6	16.0	21.0	0.0	
	50歳～59歳	130	60.8	60.0	26.9	10.0	28.5	18.5	19.2	16.9	3.1	19.2	23.1	0.8	
	60歳～69歳	153	72.5	64.1	21.6	17.6	26.8	24.2	20.9	15.7	4.6	22.9	15.7	0.7	
	70歳～79歳	221	75.1	64.7	18.1	24.4	35.3	22.6	22.6	27.6	5.0	21.7	10.9	1.8	
	80歳以上	153	68.6	55.6	19.6	32.7	35.9	26.1	28.1	34.6	4.6	20.9	17.6	2.6	

問 38 災害発生時に住民同士が協力しあえるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は1つ)

災害発生時に住民同士が協力しあえるようにするために必要なことについては、「日頃からの近隣との関係づくり」が最も多く、次いで「地域での定期的な防災訓練」「特にない」となっています。

性別にみると、男女ともに「日頃からの近隣との関係づくり」が最も多くなっています。

年代別にみると、20 歳代以下で「地域での定期的な防災訓練」、30 歳代以上で「日頃からの近隣との関係づくり」が最も多くなっています。



単位: %		n (人)	地域での定期的な防災訓練	地域での自主防災組織づくり	福祉事業者や行政との連携	日頃からの近隣との関係づくり	ボランティア活動の活性化	特にない	その他	不明・無回答
今回		843	15.5	10.0	10.8	42.2	1.8	11.3	0.2	8.2
性別	男性	372	13.4	10.8	10.8	39.8	2.7	15.6	0.3	6.7
	女性	459	17.4	9.4	10.7	44.2	1.1	7.8	0.2	9.2
年代別	20歳代以下	54	25.9	11.1	18.5	24.1	3.7	14.8	0.0	1.9
	30歳～39歳	45	8.9	13.3	17.8	40.0	2.2	13.3	0.0	4.4
	40歳～49歳	81	6.2	9.9	14.8	48.1	2.5	11.1	0.0	7.4
	50歳～59歳	130	19.2	9.2	10.8	43.1	1.5	10.0	0.0	6.2
	60歳～69歳	153	15.0	13.1	10.5	39.9	2.6	9.8	0.7	8.5
	70歳～79歳	221	17.2	8.6	8.6	48.4	0.9	9.0	0.0	7.2
	80歳以上	153	14.4	8.5	7.8	39.2	1.3	14.4	0.7	13.7

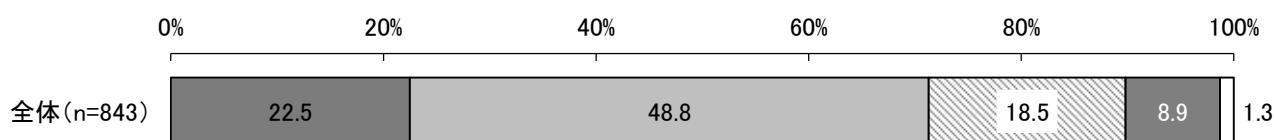
5. 健康状態と健康への備えについて

問 39 あなたは、現在の健康状態をどのように思われますか(○は1つ)

現在の健康状態については、「どちらかといえば健康である」が最も多く、次いで「健康である」「どちらかといえば健康でない」となっています。

性別にみると、男女ともに「どちらかといえば健康である」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下と40歳代で「健康である」、30歳代と50歳代以上で「どちらかといえば健康である」が最も多くなっています。また、80歳以上で「どちらかといえば健康でない」と「健康でない」が他の年代に比べて多くなっています。



■健康である □どちらかといえば健康である □どちらかといえば健康でない ■健康でない □不明・無回答

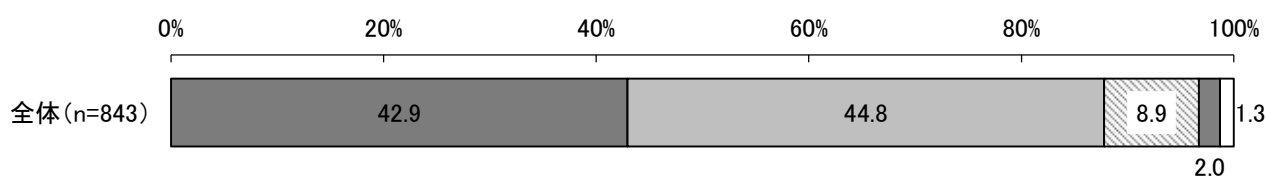
単位: %		n (人)	健康である	どちらかといえば健康である	どちらかといえば健康でない	健康でない	不明・無回答
全体	今回	843	22.5	48.8	18.5	8.9	1.3
	前回	806	23.8	50.0	17.4	7.7	1.1
性別	男性	372	19.6	48.9	20.7	9.4	1.3
	女性	459	25.5	48.8	16.6	8.1	1.1
年代別	20歳代以下	54	53.7	37.0	5.6	1.9	1.9
	30歳～39歳	45	37.8	48.9	13.3	0.0	0.0
	40歳～49歳	81	44.4	33.3	14.8	4.9	2.5
	50歳～59歳	130	26.2	50.8	15.4	7.7	0.0
	60歳～69歳	153	15.0	58.8	17.0	7.2	2.0
	70歳～79歳	221	16.3	55.2	17.6	10.4	0.5
	80歳以上	153	9.8	40.5	30.7	17.0	2.0

問 40 あなたは、普段から健康に気をつけていますか。(〇は1つ)

普段から健康に気をつけているかについては、「少しは気をつけている」が最も多く、次いで「気をつけている」「あまり気をつけていない」となっています。

性別にみると、男性で「気をつけている」と「少しは気をつけている」、女性で「少しは気をつけている」が最も多くなっています。

年代別にみると、60歳代以下で「少しは気をつけている」、70歳代以上で「気をつけている」が最も多くなっています。



■気をつけている □少しは気をつけている □あまり気をつけていない ■気をつけていない □不明・無回答

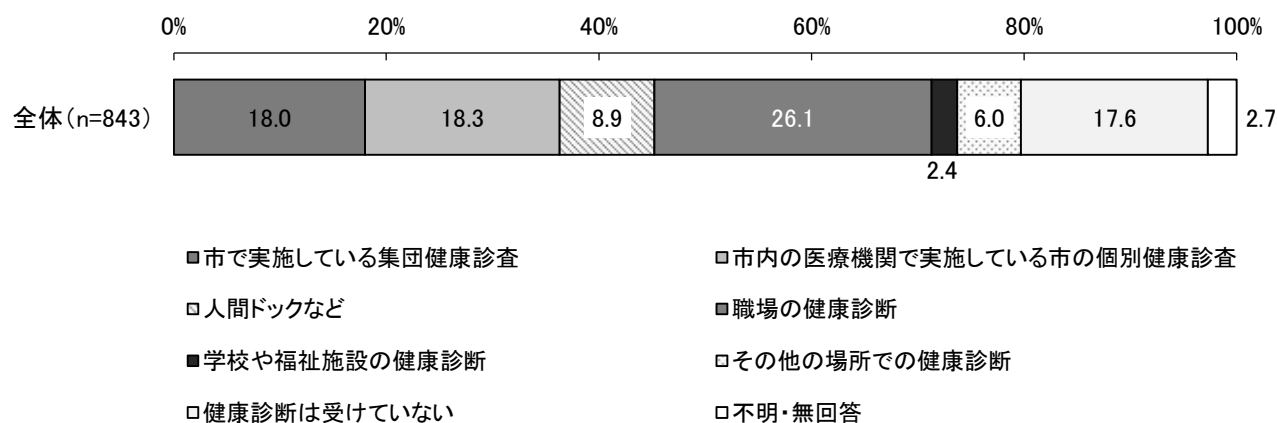
単位: %		n (人)	気をつけている	少しは 気をつけている	あまり 気をつけていない	気をつけていない	不明・無回答
全 体	今回	843	42.9	44.8	8.9	2.0	1.3
	前回	806	42.6	49.9	5.7	0.9	1.0
性 別	男性	372	43.0	43.0	10.8	2.4	0.8
	女性	459	43.1	46.2	7.4	1.7	1.5
年 代 別	20歳代以下	54	31.5	50.0	14.8	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	17.8	57.8	17.8	6.7	0.0
	40歳～49歳	81	30.9	48.1	18.5	1.2	1.2
	50歳～59歳	130	29.2	49.2	17.7	3.8	0.0
	60歳～69歳	153	39.2	52.3	5.9	1.3	1.3
	70歳～79歳	221	52.9	42.5	1.8	1.4	1.4
	80歳以上	153	62.1	30.7	3.9	0.7	2.6

問 41 あなたは、過去1年間に健康診断(健康診査)を受けましたか。(○は1つ)

過去1年間に健康診断を受けたかについては、「職場の健康診断」が最も多く、次いで「市内の医療機関で実施している市の個別健康診査」「市で実施している集団健康診査」となっています。

性別にみると、男女ともに「職場の健康診断」が最も多くなっています。

年代別にみると、60歳代以下で「職場の健康診断」、70歳代で「市で実施している集団健康診査」、80歳以上で「市内の医療機関で実施している市の個別健康診査」が最も多くなっています。



単位: %		n (人)	市で実施している 集団健康診査	市内の医療機関で 個別健康診査	人間ドックなど	職場の健康診断	学校や福祉施設の 健康診断	その他の場所での 健康診断	健康診断は受けてい ない	不明・無 回答
全体	今回	843	18.0	18.3	8.9	26.1	2.4	6.0	17.6	2.7
	前回	806	19.2	23.3	8.3	26.7	1.2	5.6	15.8	1.9
性別	男性	372	20.4	16.1	10.8	26.1	1.9	4.8	16.7	3.2
	女性	459	16.1	20.0	7.4	26.1	2.8	7.0	18.3	2.2
年代別	20歳代以下	54	0.0	3.7	0.0	44.4	25.9	1.9	24.1	0.0
	30歳～39歳	45	4.4	8.9	4.4	51.1	2.2	2.2	26.7	0.0
	40歳～49歳	81	7.4	4.9	19.8	53.1	0.0	2.5	9.9	2.5
	50歳～59歳	130	11.5	2.3	11.5	54.6	1.5	1.5	15.4	1.5
	60歳～69歳	153	19.6	11.1	18.3	23.5	1.3	7.2	15.7	3.3
	70歳～79歳	221	28.5	24.0	4.5	9.5	0.0	9.5	20.8	3.2
	80歳以上	153	22.9	45.8	2.6	0.7	0.7	8.5	15.0	3.9

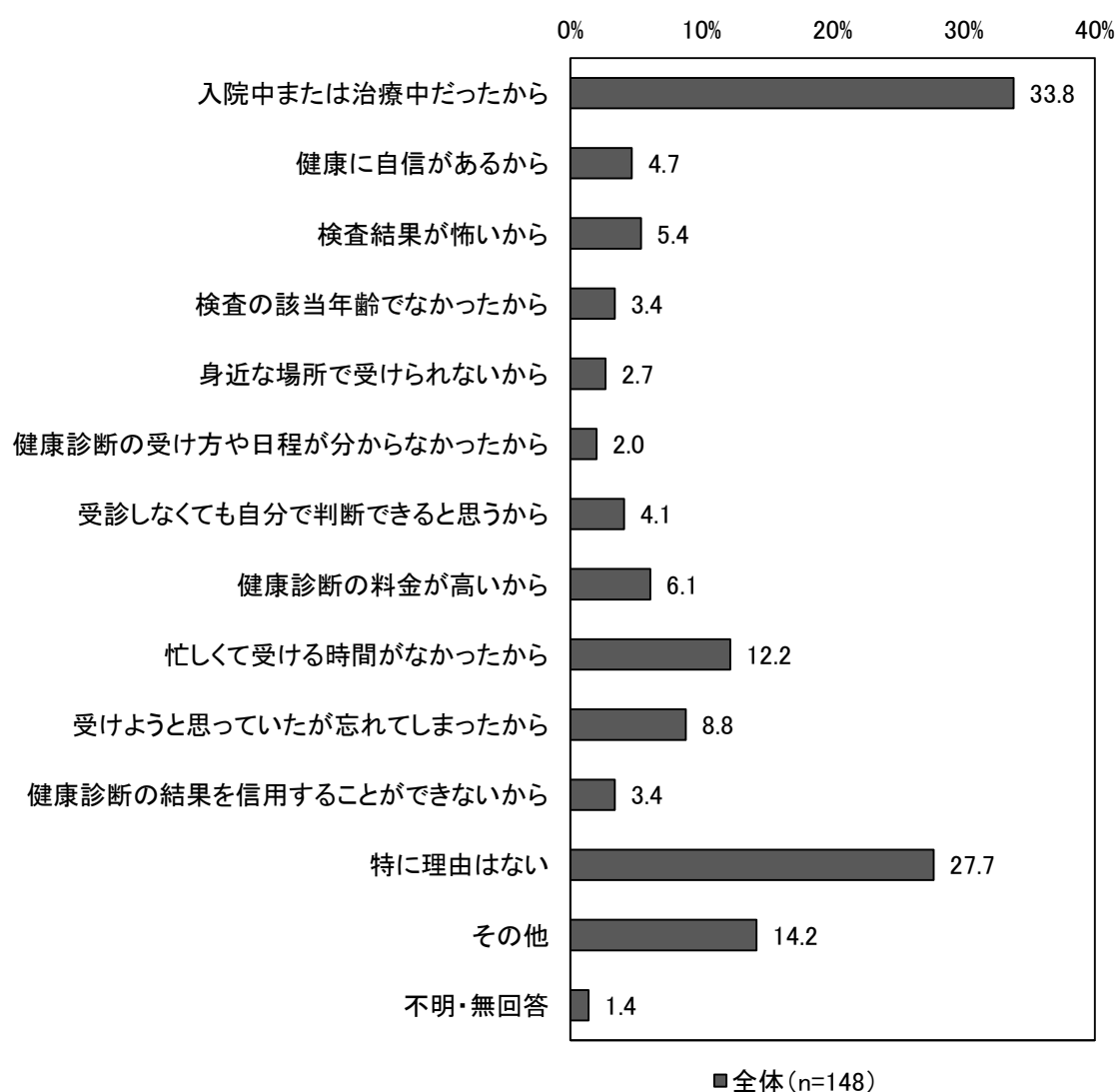
《問 41 で「7 健康診断は受けていない」とお答えの方に》

問 41-1 健康診査を受けていないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

健康診査を受けていない理由については、「入院中または治療中だったから」が最も多く、次いで「特に理由はない」「その他」となっています。

性別にみると、男女ともに「入院中または治療中だったから」が最も多くなっています。

年代別にみると、20 歳代以下で「特に理由はない」、30 歳代で「忙しくて受ける時間がなかったから」と「特に理由はない」、40 歳代で「入院中または治療中だったから」と「忙しくて受ける時間がなかったから」、50 歳代と 70 歳代以上で「入院中または治療中だったから」、60 歳代で「入院中または治療中だったから」と「特に理由はない」が最も多くなっています。



単位：％		n (人)	入院中または治療中だった	健康に自信があるから	検査結果が怖いから	検査の該当年齢でなかった	身近な場所で受けられない	健康診断の受け方や日程が分からなかったから	健康診断の料金が高いから	受診しなくても自分で判断できと思うから	健康診断の結果を信用することできないから	特に理由はない	その他	不明・無回答		
全体	今回	148	33.8	4.7	5.4	3.4	2.7	2.0	4.1	6.1	12.2	8.8	3.4	27.7	14.2	1.4
	前回	127	26.8	3.9	6.3	5.5	3.9	2.4	7.1	7.9	15.0	6.3	0.0	27.6	13.4	－
性別	男性	62	32.3	4.8	6.5	0.0	0.0	1.6	3.2	4.8	14.5	6.5	4.8	25.8	16.1	1.6
	女性	84	35.7	4.8	4.8	4.8	4.8	2.4	4.8	6.0	10.7	10.7	2.4	29.8	11.9	1.2
年代別	20歳代以下	13	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	30.8	7.7	7.7	46.2	7.7	0.0
	30歳～39歳	12	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	40歳～49歳	8	37.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳～59歳	20	30.0	0.0	10.0	0.0	5.0	10.0	5.0	10.0	15.0	25.0	5.0	10.0	10.0	0.0
	60歳～69歳	24	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5	8.3	4.2	33.3	8.3	4.2
	70歳～79歳	46	43.5	10.9	4.3	2.2	2.2	0.0	6.5	2.2	2.2	2.2	2.2	30.4	19.6	2.2
	80歳以上	23	43.5	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	8.7	4.3	26.1	26.1	0.0

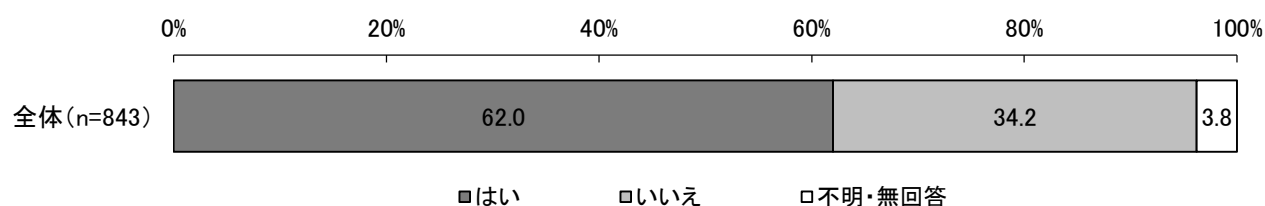
問 42 適正体重を維持していますか。(○は1つ)

【 BMI＝体重(kg)÷身長(m)² 】 ※18.5～25:適正体重(標準体重)

適正体重を維持しているかについては、「はい」が6割、「いいえ」が3割と、「はい」の割合が多くなっています。

性別にみると、男女ともに「はい」が多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「はい」が多くなっています。また、40歳代と60歳代で「いいえ」が4割台と、他の年代に比べて多くなっています。



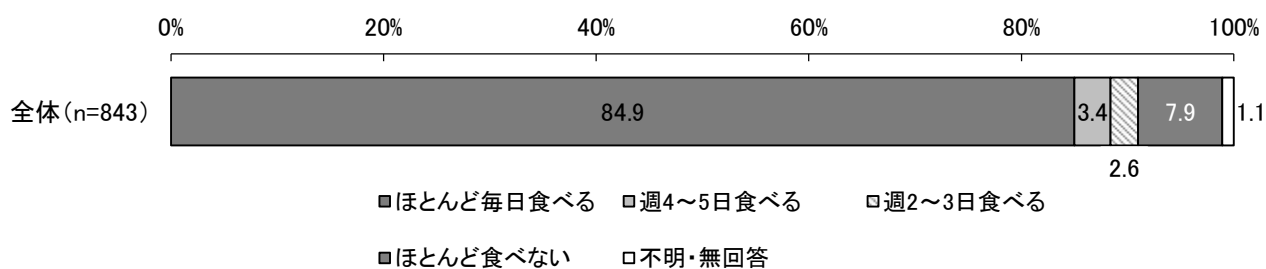
単位: %		n (人)	はい	いいえ	不明・無回答
全 体	今回	843	62.0	34.2	3.8
	前回	806	59.2	37.3	3.5
性 別	男性	372	60.5	36.0	3.5
	女性	459	64.3	32.0	3.7
年 代 別	20歳代以下	54	75.9	24.1	0.0
	30歳～39歳	45	66.7	33.3	0.0
	40歳～49歳	81	54.3	44.4	1.2
	50歳～59歳	130	61.5	36.2	2.3
	60歳～69歳	153	55.6	41.8	2.6
	70歳～79歳	221	67.0	29.4	3.6
	80歳以上	153	60.8	30.1	9.2

問 43 あなたは、普段朝食を食べますか。(○は1つ)

朝食の摂食状況については、「ほとんど毎日食べる」が最も多く、次いで「ほとんど食べない」「週4～5日食べる」となっています。

性別にみると、男女ともに「ほとんど毎日食べる」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「ほとんど毎日食べる」が最も多くなっています。また、20歳代以下で「ほとんど食べない」が3割と、他の年代に比べて多くなっています。



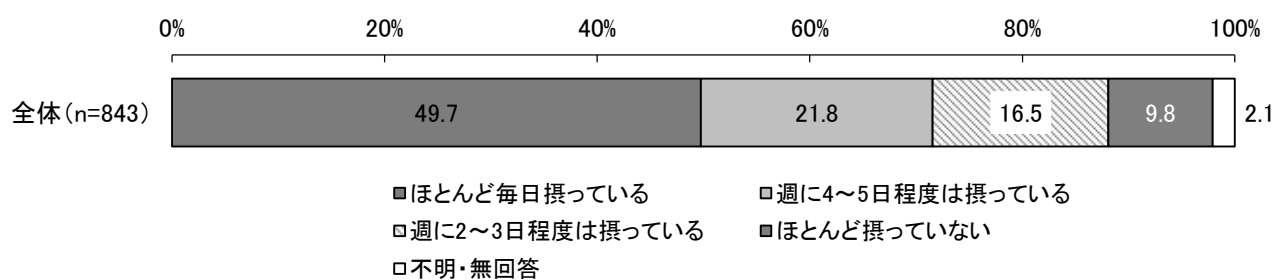
単位: %		n (人)	ほとんど 毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	不明・無回答
全 体	今回	843	84.9	3.4	2.6	7.9	1.1
	前回	806	85.6	3.3	3.1	6.8	1.1
性 別	男性	372	81.5	4.3	2.4	10.2	1.6
	女性	459	88.0	2.6	2.8	6.1	0.4
年 代 別	20歳代以下	54	63.0	3.7	3.7	29.6	0.0
	30歳～39歳	45	73.3	4.4	6.7	15.6	0.0
	40歳～49歳	81	76.5	6.2	3.7	12.3	1.2
	50歳～59歳	130	78.5	5.4	4.6	11.5	0.0
	60歳～69歳	153	82.4	5.2	3.3	7.2	2.0
	70歳～79歳	221	93.2	1.8	1.4	3.2	0.5
	80歳以上	153	96.7	0.7	0.0	0.7	2.0

問 44 主食・主菜・副菜を組合わせるなどバランスの摂れた食事を摂っていますか。(○は1つ)

バランスの摂れた食事の状況については、「ほとんど毎日摂っている」が最も多く、次いで「週に4～5日程度は摂っている」「週に2～3日程度は摂っている」となっています。

性別にみると、男女ともに「ほとんど毎日摂っている」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下で「週に2～3日程度は摂っている」、30歳代以上で「ほとんど毎日摂っている」が最も多くなっています。また、30歳代で「ほとんど摂っていない」が2割台と、他の年代に比べて多くなっています。



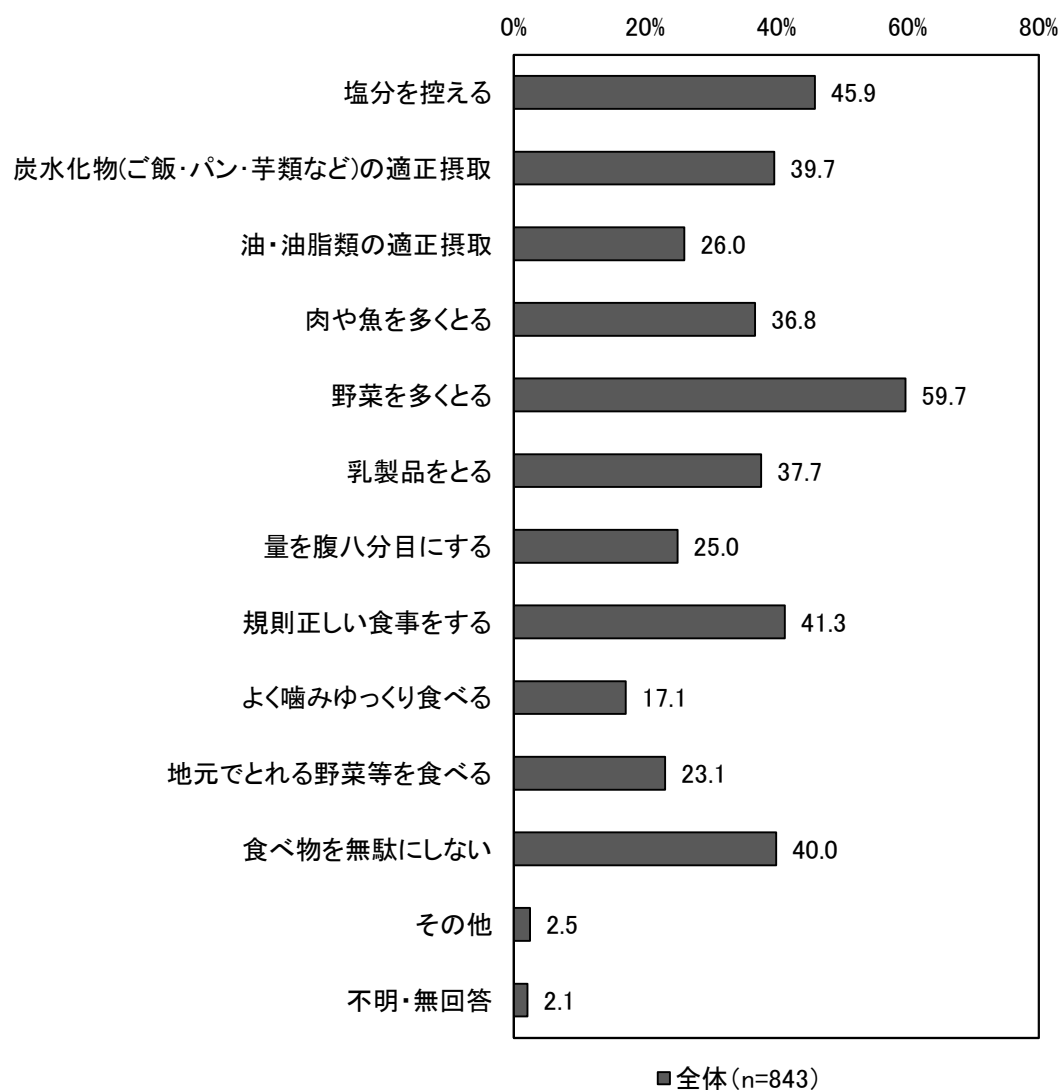
単位: %		n (人)	ほとんど毎日 摂っている	週に4～5日程度 は摂っている	週に2～3日程度 は摂っている	ほとんど 摂っていない	不明・無回答
全 体	今回	843	49.7	21.8	16.5	9.8	2.1
	前回	806	55.3	17.5	17.5	6.2	3.5
性 別	男性	372	50.3	20.7	16.1	11.6	1.3
	女性	459	49.7	23.1	16.6	8.1	2.6
年 代 別	20歳代以下	54	33.3	13.0	37.0	16.7	0.0
	30歳～39歳	45	33.3	26.7	17.8	22.2	0.0
	40歳～49歳	81	42.0	24.7	16.0	17.3	0.0
	50歳～59歳	130	39.2	23.8	19.2	16.9	0.8
	60歳～69歳	153	47.7	24.8	19.6	6.5	1.3
	70歳～79歳	221	60.6	23.1	8.1	5.0	3.2
	80歳以上	153	59.5	16.3	15.7	3.9	4.6

問 45 普段の食生活で心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

普段の食生活で心がけていることについては、「野菜を多くとる」が最も多く、次いで「塩分を控える」「規則正しい食事をする」となっています。

性別にみると、男女ともに「野菜を多くとる」が最も多くなっています。また、女性で「地元でとれる野菜等を食べる」が男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、40 歳代以下で「食べ物を無駄にしない」、50 歳代以上で「野菜を多くとる」が最も多くなっています。



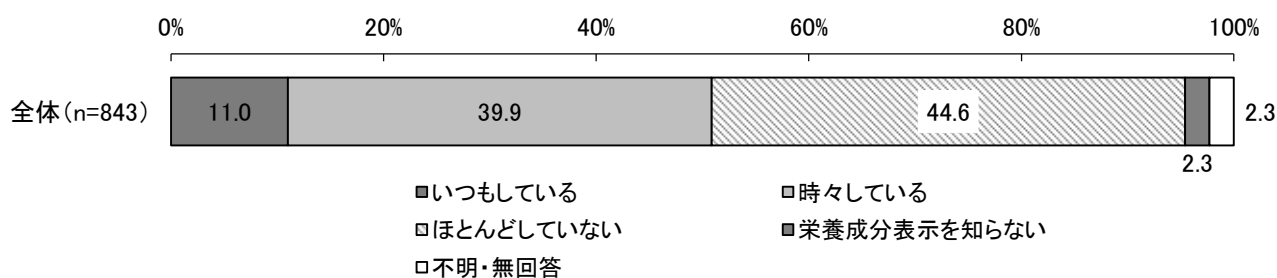
単位：％		n (人)	塩分を控える	炭水化物（ご飯・パン・芋類など）の適正摂取	油・油脂類の適正摂取	肉や魚を多くとる	野菜を多くとる	乳製品をとる	量を腹八分目にする	規則正しい食事をする	よく噛みゆつくり食べる	地元でとれる野菜等を食べる	食べ物を無駄にしない	その他	不明・無回答
全体	今回	843	45.9	39.7	26.0	36.8	59.7	37.7	25.0	41.3	17.1	23.1	40.0	2.5	2.1
	前回	806	51.6	39.3	24.8	39.8	65.0	36.5	28.7	41.6	21.6	25.2	36.6	1.6	2.7
性別	男性	372	41.7	38.2	25.3	38.4	55.4	35.2	28.2	39.0	16.4	18.8	41.1	2.7	2.7
	女性	459	49.0	40.7	26.4	35.5	63.6	40.3	22.4	43.4	17.6	26.8	38.8	2.2	1.5
年代別	20歳代以下	54	13.0	22.2	7.4	25.9	37.0	11.1	11.1	20.4	11.1	3.7	57.4	5.6	0.0
	30歳～39歳	45	26.7	24.4	22.2	26.7	40.0	26.7	20.0	33.3	22.2	13.3	57.8	2.2	2.2
	40歳～49歳	81	32.1	35.8	22.2	33.3	46.9	30.9	19.8	27.2	13.6	19.8	50.6	3.7	0.0
	50歳～59歳	130	38.5	34.6	24.6	21.5	60.0	29.2	18.5	28.5	13.1	15.4	40.8	3.8	2.3
	60歳～69歳	153	45.8	37.9	28.8	24.8	64.1	35.9	21.6	44.4	15.0	19.6	30.1	2.0	2.0
	70歳～79歳	221	54.8	48.9	32.1	52.5	68.3	50.7	31.2	51.6	13.6	29.9	40.3	0.9	3.2
	80歳以上	153	63.4	45.1	25.5	48.4	64.1	45.1	34.0	51.6	30.1	35.3	33.3	2.6	2.0

問 46 外食や食品を購入する時に、栄養成分表示(カロリー等)を参考にしていますか。(○は1つ)

外食や食品を購入する際に栄養成分表示を参考にしているかについては、「ほとんどしていない」が最も多く、次いで「時々している」「いつもしている」となっています。

性別にみると、男性で「ほとんどしていない」、女性で「時々している」が最も多くなっています。

年代別にみると、30歳代以下で「ほとんどしていない」と「時々している」、40歳代と60歳以上で「ほとんどしていない」、50歳代で「時々している」が最も多くなっています。



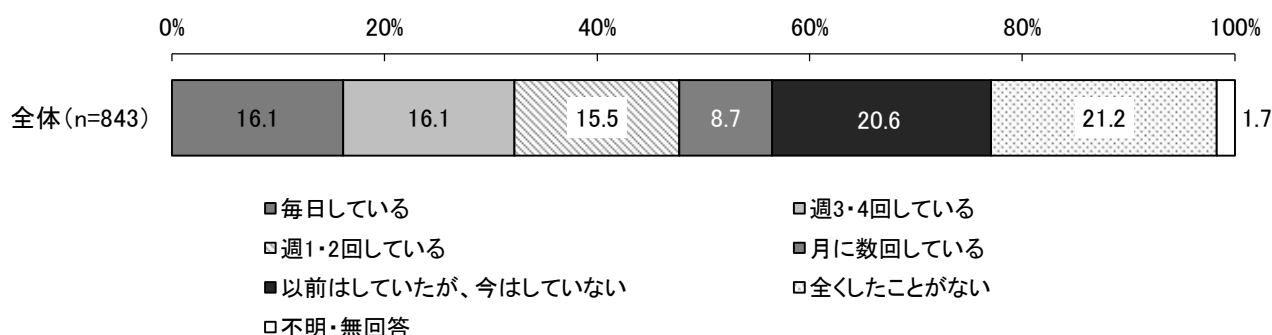
単位: %		n (人)	いつもしている	時々している	ほとんど していない	栄養成分表示を 知らない	不明・無回答
全体		843	11.0	39.9	44.6	2.3	2.3
性別	男性	372	9.7	31.2	54.3	3.2	1.6
	女性	459	12.0	47.5	36.6	1.3	2.6
年代別	20歳代以下	54	11.1	44.4	44.4	0.0	0.0
	30歳～39歳	45	17.8	40.0	40.0	2.2	0.0
	40歳～49歳	81	11.1	39.5	44.4	3.7	1.2
	50歳～59歳	130	9.2	48.5	40.0	1.5	0.8
	60歳～69歳	153	11.8	39.2	45.8	2.0	1.3
	70歳～79歳	221	10.4	36.2	49.3	1.8	2.3
	80歳以上	153	9.8	38.6	42.5	3.3	5.9

問 47 あなたは、日頃から、健康の維持増進のために、意識的に運動(ウォーキングの場合 30 分程度)をしていますか。(○は1つ)

健康維持増進のため、意識的に運動をしているかについては、「全くしたことがない」が最も多く、次いで「以前はしていたが、今はしていない」、「毎日している」と「週3・4回している」が同率となっています。

性別にみると、男性で「全くしたことがない」、女性で「以前はしていたが、今はしていない」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下と40歳代、80歳以上で「以前はしていたが、今はしていない」、30歳代と50歳代で「全くしたことがない」、60歳代で「週3・4回している」と「全くしたことがない」、70歳代で「毎日している」が最も多くなっています。



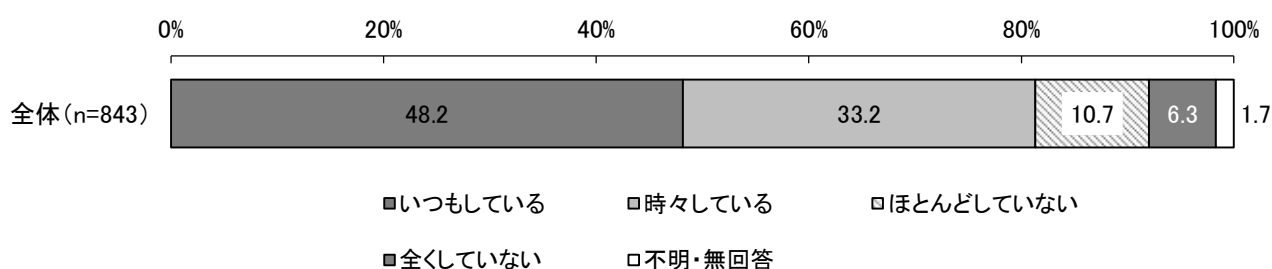
単位: %		n (人)	毎日している	週3・4回 している	週1・2回 している	月に数回 している	以前はしてい たが、今はし ていない	全くしたことが ない	不明・無回答
全 体	今回	843	16.1	16.1	15.5	8.7	20.6	21.2	1.7
	前回	806	12.8	15.1	12.4	11.5	26.4	19.1	2.6
性 別	男性	372	16.9	16.7	17.5	7.3	18.3	21.8	1.6
	女性	459	15.5	15.7	14.2	9.8	22.4	20.9	1.5
年 代 別	20歳代以下	54	7.4	14.8	14.8	14.8	25.9	22.2	0.0
	30歳～39歳	45	13.3	8.9	13.3	11.1	24.4	28.9	0.0
	40歳～49歳	81	8.6	13.6	7.4	14.8	28.4	27.2	0.0
	50歳～59歳	130	9.2	9.2	16.2	13.8	20.8	30.8	0.0
	60歳～69歳	153	17.6	22.2	14.4	6.5	15.7	22.2	1.3
	70歳～79歳	221	22.2	17.6	19.0	5.0	16.7	17.2	2.3
	80歳以上	153	20.3	17.6	16.3	5.2	23.5	13.1	3.9

問 48 日常生活における家事、通勤・通学、労働などに伴う活動として、いつもより10分程度身体を動かす(買い物、洗濯、掃除、徒歩・自転車通勤、階段を使う)ことが健康に良いとされています。あなたは、日ごろから身体を動かすように心がけていますか。(○は1つ)

日ごろから身体を動かすように心がけているかについては、「いつもしている」が最も多く、次いで「時々している」「ほとんどしていない」となっています。

性別にみると、男女ともに「いつもしている」が最も多くなっています。

年代別にみると、20歳代以下で「時々している」、30歳代以上で「いつもしている」が最も多くなっています。



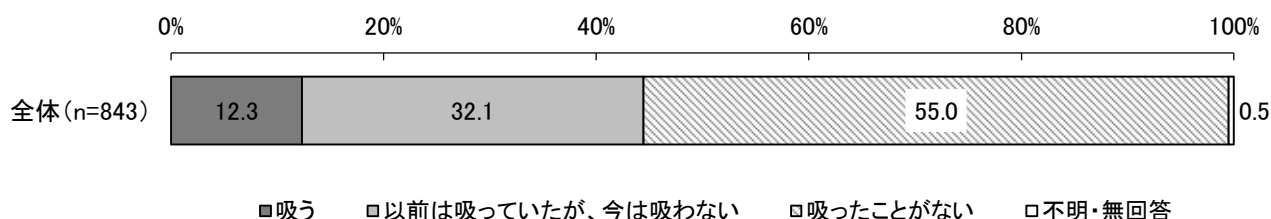
単位: %		n (人)	いつもしている	時々している	ほとんど していない	全くしていない	不明・無回答
全体		843	48.2	33.2	10.7	6.3	1.7
性別	男性	372	40.3	37.1	14.0	6.5	2.2
	女性	459	54.7	30.5	7.8	5.9	1.1
年代別	20歳代以下	54	35.2	40.7	14.8	7.4	1.9
	30歳～39歳	45	42.2	33.3	13.3	11.1	0.0
	40歳～49歳	81	45.7	25.9	19.8	8.6	0.0
	50歳～59歳	130	39.2	33.8	13.1	13.1	0.8
	60歳～69歳	153	49.7	35.3	8.5	5.2	1.3
	70歳～79歳	221	55.7	33.9	7.2	1.8	1.4
	80歳以上	153	51.6	30.7	9.2	4.6	3.9

問 49 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

たばこを吸うかについては、「吸ったことがない」が最も多く、次いで「以前は吸っていたが、今は吸わない」「吸う」となっています。

性別にみると、男性で「以前は吸っていたが、今は吸わない」、女性で「吸ったことがない」が最も多くなっています。また、男性で「吸う」が2割と、女性に比べて多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「吸ったことがない」が最も多くなっています。また、30歳代と50歳代で「吸う」が2割台と、他の年代に比べて多くなっています。



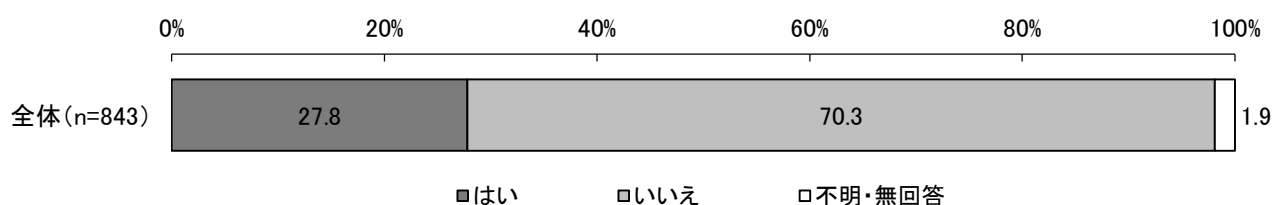
単位：%		n (人)	吸う	以前は吸っていたが、今は吸わない	吸ったことがない	不明・無回答
全体	今回	843	12.3	32.1	55.0	0.5
	前回	806	12.4	31.0	54.1	2.5
性別	男性	372	19.4	53.2	26.6	0.8
	女性	459	7.0	15.0	78.0	0.0
年代別	20歳代以下	54	9.3	7.4	83.3	0.0
	30歳～39歳	45	24.4	13.3	62.2	0.0
	40歳～49歳	81	16.0	30.9	53.1	0.0
	50歳～59歳	130	21.5	36.9	41.5	0.0
	60歳～69歳	153	11.8	37.9	49.7	0.7
	70歳～79歳	221	10.0	32.1	57.5	0.5
	80歳以上	153	4.6	36.6	58.2	0.7

問 50 他人が吸っているたばこから立ち上がる煙や、吐き出された煙を吸い込むことを、受動喫煙といいます。あなたは、この1か月間に、望まずに他人が吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか。（○は1つ）

受動喫煙の機会については、「はい」が3割、「いいえ」が7割と、「いいえ」の割合が多くなっています。

性別にみると、男女ともに「いいえ」が多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「いいえ」が多くなっています。また、50歳代以下では「はい」が4割台と、他の年代に比べて多くなっています。



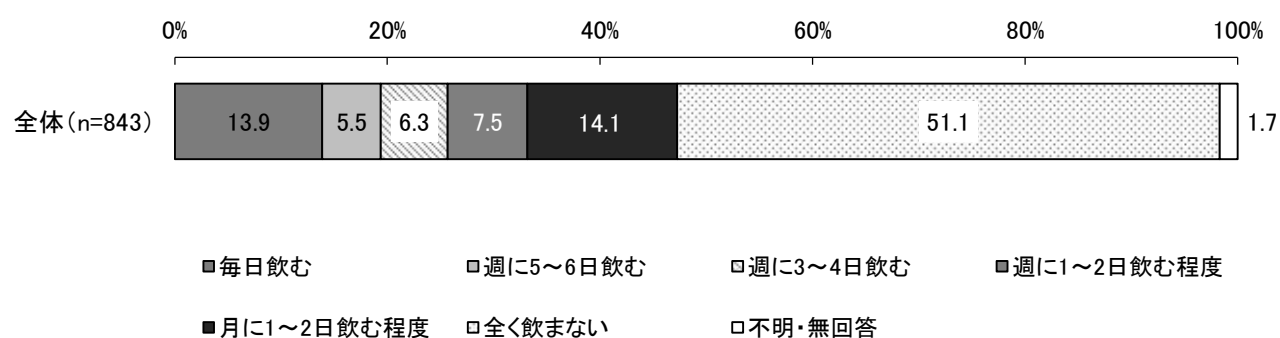
単位: %		n (人)	はい	いいえ	不明・無回答
全体		843	27.8	70.3	1.9
性別	男性	372	31.7	66.4	1.9
	女性	459	24.2	74.1	1.7
年代別	20歳代以下	54	46.3	51.9	1.9
	30歳～39歳	45	46.7	53.3	0.0
	40歳～49歳	81	44.4	55.6	0.0
	50歳～59歳	130	40.8	56.9	2.3
	60歳～69歳	153	24.2	75.2	0.7
	70歳～79歳	221	19.0	79.2	1.8
	80歳以上	153	12.4	83.7	3.9

問 51 あなたはお酒(ビール、日本酒、洋酒など)をどの程度飲みますか。(○は1つ)

お酒をどの程度飲むかについては、「全く飲まない」が最も多く、次いで「月に1～2日飲む程度」「毎日飲む」となっています。

性別にみると、男女ともに「全く飲まない」が最も多くなっています。また、男性で「毎日飲む」が2割台と女性に比べて多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「全く飲まない」が最も多くなっています。また、50歳代以上で「毎日飲む」が1～2割と、他の年代に比べて多くなっています。



単位: %		n (人)	毎日飲む	週に5～6日 飲む	週に3～4日 飲む	週に1～2日 飲む程度	月に1～2日 飲む程度	全く飲まない	不明・無回答
全 体	今回	843	13.9	5.5	6.3	7.5	14.1	51.1	1.7
	前回	806	15.3	5.0	4.7	7.8	14.4	49.8	3.1
性 別	男性	372	23.7	9.7	9.9	10.5	12.6	32.5	1.1
	女性	459	6.1	2.2	3.5	5.0	15.5	66.0	1.7
年 代 別	20歳代以下	54	0.0	1.9	1.9	18.5	24.1	53.7	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	2.2	8.9	6.7	17.8	62.2	0.0
	40歳～49歳	81	8.6	6.2	8.6	14.8	19.8	42.0	0.0
	50歳～59歳	130	20.8	6.2	9.2	5.4	16.2	42.3	0.0
	60歳～69歳	153	16.3	8.5	7.2	6.5	15.0	45.8	0.7
	70歳～79歳	221	17.2	6.3	5.4	8.6	11.3	48.9	2.3
	80歳以上	153	12.4	2.6	3.9	1.3	7.8	68.0	3.9

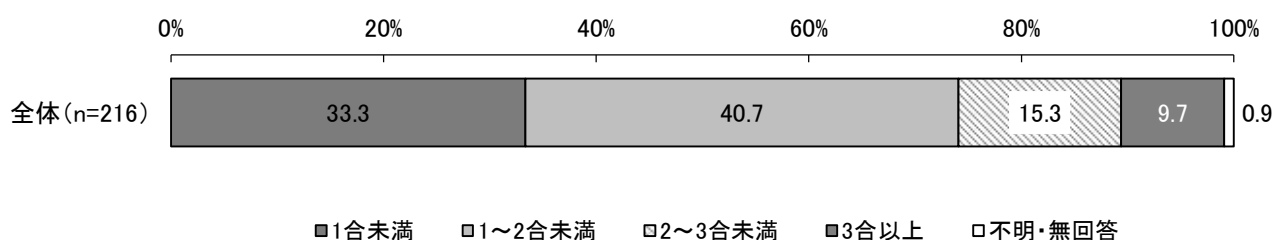
《問 51 で「1」～「3」(週に3～4日以上)とお答えの方に》

問 51-1 あなたの、1日当たりの飲酒量はどのくらいですか。(○は1つ)

1日の飲酒量については、「1～2合未満」が最も多く、次いで「1合未満」「2～3合未満」となっています。

性別にみると、男性で「1～2合未満」、女性で「1合未満」が最も多くなっています。

年代別（回答者数10人以上）にみると、40歳代で「2～3合未満」、50～60歳代で「1～2合未満」、70歳代以上で「1合未満」が最も多くなっています。



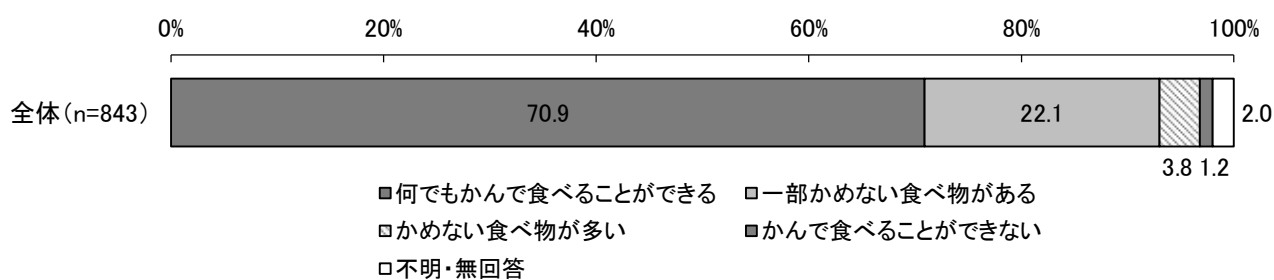
単位: %		n (人)	1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3合以上	不明・無回答
全 体	今回	216	33.3	40.7	15.3	9.7	0.9
	前回	202	31.3	28.9	29.4	7.5	3.0
性 別	男性	161	31.7	42.2	16.1	9.9	0.0
	女性	54	38.9	37.0	13.0	7.4	3.7
年 代 別	20歳代以下	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	30歳～39歳	6	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	40歳～49歳	19	21.1	26.3	31.6	15.8	5.3
	50歳～59歳	47	17.0	48.9	14.9	17.0	2.1
	60歳～69歳	49	30.6	38.8	20.4	10.2	0.0
	70歳～79歳	64	43.8	40.6	10.9	4.7	0.0
	80歳以上	29	48.3	44.8	6.9	0.0	0.0

問 52 何でもよく噛んで食べられますか。(○は1つ)

何でもよく噛んで食べられるかについては、「何でもかんで食べることができる」が最も多く、次いで「一部かめない食べ物がある」「かめない食べ物が多い」となっています。

性別にみると、男女ともに「何でもかんで食べることができる」が多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「何でもかんで食べることができる」が最も多くなっています。また、年代が上がるにつれて「一部かめない食べ物がある」や「かめない食べ物が多い」が多くなっています。



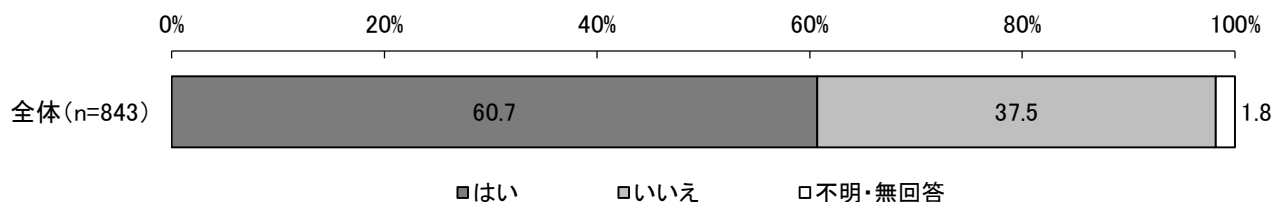
単位: %		n (人)	何でもかんで食べ ることができる	一部かめない 食べ物がある	かめない 食べ物が多い	かんで食べること ができない	不明・無回答
全体		843	70.9	22.1	3.8	1.2	2.0
性別	男性	372	66.4	25.3	5.6	1.6	1.1
	女性	459	74.9	19.4	2.4	0.9	2.4
年代別	20歳代以下	54	90.7	5.6	1.9	1.9	0.0
	30歳～39歳	45	91.1	4.4	2.2	2.2	0.0
	40歳～49歳	81	88.9	7.4	1.2	2.5	0.0
	50歳～59歳	130	79.2	17.7	2.3	0.8	0.0
	60歳～69歳	153	70.6	23.5	3.9	0.7	1.3
	70歳～79歳	221	63.8	28.5	4.5	0.5	2.7
	80歳以上	153	54.2	32.7	6.5	2.0	4.6

問 53 この1年以内に歯科健診を受けましたか。(○は1つ)

この1年以内に歯科健診を受けたかについては、「はい」が6割、「いいえ」が4割と、「はい」の割合が多くなっています。

性別にみると、男女ともに「はい」が多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「はい」が多くなっています。



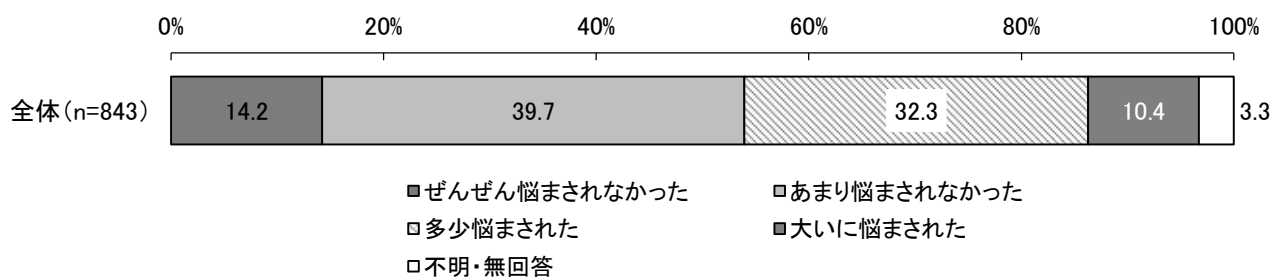
単位: %		n (人)	はい	いいえ	不明・無回答
全 体	今回	843	60.7	37.5	1.8
	前回	806	55.6	40.8	3.6
性 別	男性	372	59.7	39.2	1.1
	女性	459	61.4	36.6	2.0
年 代 別	20歳代以下	54	66.7	31.5	1.9
	30歳～39歳	45	53.3	46.7	0.0
	40歳～49歳	81	56.8	43.2	0.0
	50歳～59歳	130	59.2	40.8	0.0
	60歳～69歳	153	63.4	35.9	0.7
	70歳～79歳	221	63.3	35.3	1.4
	80歳以上	153	58.8	35.9	5.2

問 54 過去1か月間に、心理的な問題(不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり)にどれくらい悩まされましたか。(○は1つ)

過去1か月間に、心理的な問題に悩まされたかについては、「あまり悩まされなかった」が最も多く、次いで「多少悩まされた」「ぜんぜん悩まされなかった」となっています。

性別にみると、男女ともに「あまり悩まされなかった」が最も多くなっています。

年代別にみると、40歳代以下で「多少悩まされた」、50歳代以上で「あまり悩まされなかった」が最も多くなっています。



単位: %		n (人)	ぜんぜん 悩まされなかった	あまり 悩まされなかった	多少悩まされた	大いに悩まされた	不明・無回答
全体		843	14.2	39.7	32.3	10.4	3.3
性別	男性	372	16.1	44.1	28.2	9.9	1.6
	女性	459	13.1	36.4	35.3	10.7	4.6
年代別	20歳代以下	54	20.4	24.1	40.7	13.0	1.9
	30歳～39歳	45	11.1	31.1	37.8	20.0	0.0
	40歳～49歳	81	8.6	32.1	40.7	18.5	0.0
	50歳～59歳	130	12.3	35.4	31.5	20.8	0.0
	60歳～69歳	153	12.4	43.1	36.6	5.9	2.0
	70歳～79歳	221	15.8	45.7	27.1	6.8	4.5
	80歳以上	153	17.6	43.1	26.8	3.9	8.5

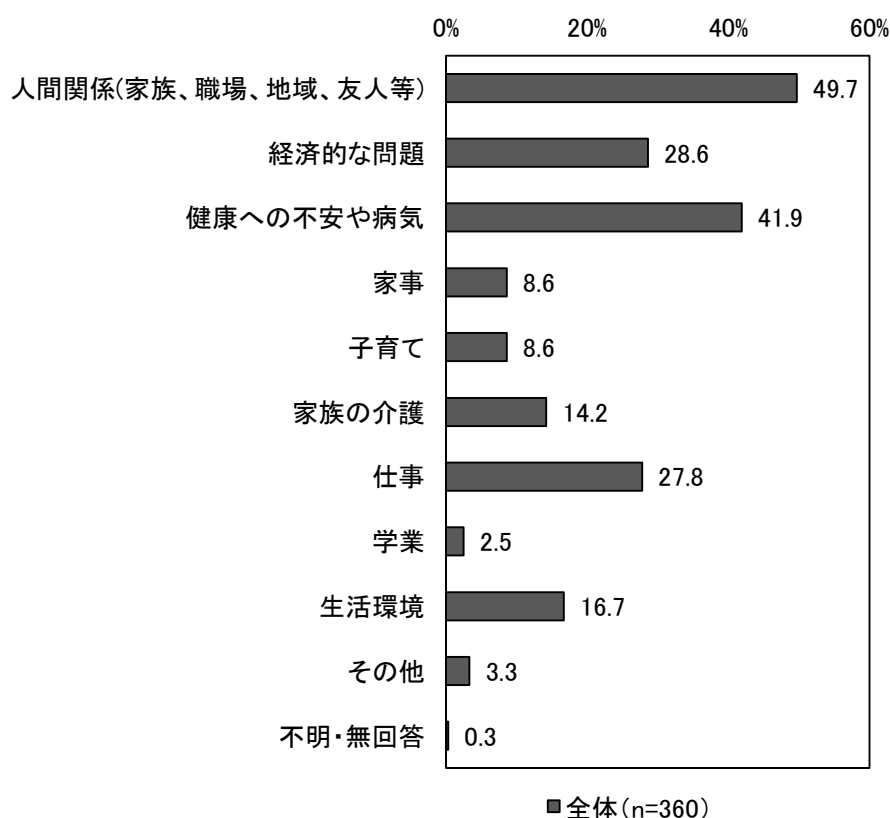
《問 54 で「3 多少悩まされた」または「4 大いに悩まされた」とお答えの方に》

問 54-1 どのようなことで悩みを感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

イライラしたり、ストレスや不安や悩みを感じたことについては、「人間関係（家族、職場、地域、友人等）」が最も多く、次いで「健康への不安や病気」「経済的な問題」となっています。

性別にみると、男女ともに「人間関係（家族、職場、地域、友人等）」が最も多くなっています。また、男性で「仕事」が3割台と、女性に比べて多くなっています。

年代別にみると、20 歳代以下と 40～60 歳代で「人間関係（家族、職場、地域、友人等）」、30 歳代で「人間関係（家族、職場、地域、友人等）」と「仕事」、70 歳代以上で「健康への不安や病気」が最も多くなっています。また、20 歳代で「学業」、30 歳代で「子育て」が3割台と、他の年代に比べて多くなっています。



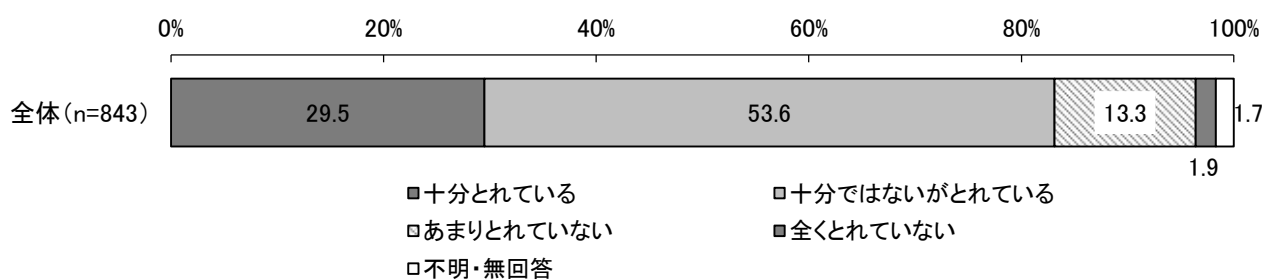
単位：％		n (人)	地域、 （家族、人間関係、 友人、職場、 等）	経済的 な問題	健康 への不安 や 病気	家事	子育て	家族の 介護	仕事	学業	生活 環境	その他	不明・ 無回答
全体		360	49.7	28.6	41.9	8.6	8.6	14.2	27.8	2.5	16.7	3.3	0.3
性別	男性	142	44.4	29.6	42.3	5.6	5.6	13.4	36.6	0.7	15.5	5.6	0.0
	女性	211	53.6	27.0	41.2	10.4	10.9	14.7	21.8	3.8	17.1	1.4	0.5
年代別	20歳代以下	29	65.5	34.5	13.8	3.4	0.0	6.9	41.4	31.0	13.8	6.9	0.0
	30歳～39歳	26	53.8	34.6	26.9	19.2	34.6	19.2	53.8	0.0	23.1	0.0	0.0
	40歳～49歳	48	64.6	29.2	35.4	8.3	20.8	12.5	56.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	50歳～59歳	68	58.8	33.8	38.2	7.4	10.3	16.2	35.3	0.0	17.6	1.5	0.0
	60歳～69歳	65	61.5	29.2	26.2	4.6	4.6	13.8	18.5	0.0	18.5	4.6	0.0
	70歳～79歳	75	32.0	30.7	62.7	10.7	2.7	16.0	8.0	0.0	14.7	5.3	1.3
	80歳以上	47	21.3	6.4	68.1	8.5	0.0	12.8	10.6	0.0	12.8	4.3	0.0

問 55 あなたは、睡眠による休養がとれていると思いますか。(○は1つ)

睡眠による休養がとれているかについては、「十分ではないがとれている」が最も多く、次いで「十分とれている」「あまりとれていない」となっています。

性別にみると、男女ともに「十分ではないがとれている」が最も多くなっています。

年代別にみると、いずれの年代においても「十分ではないがとれている」が最も多くなっています。また、「あまりとれていない」と「全くとれていない」を合わせた『とれていない』は、30歳代と50歳代で2割と、他の年代に比べてやや多くなっています。



単位: %		n (人)	十分とれている	十分ではないが とれている	あまり とれていない	全くとれていない	不明・無回答
全 体	今回	843	29.5	53.6	13.3	1.9	1.7
	前回	806	32.1	49.6	14.6	1.1	2.5
性 別	男性	372	29.6	53.0	14.5	1.9	1.1
	女性	459	29.8	54.7	12.0	1.5	2.0
年 代 別	20歳代以下	54	27.8	61.1	7.4	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	22.2	57.8	15.6	4.4	0.0
	40歳～49歳	81	30.9	53.1	13.6	2.5	0.0
	50歳～59歳	130	26.2	51.5	19.2	3.1	0.0
	60歳～69歳	153	26.8	54.9	16.3	1.3	0.7
	70歳～79歳	221	33.5	53.4	10.9	0.5	1.8
	80歳以上	153	32.0	51.6	9.8	1.3	5.2

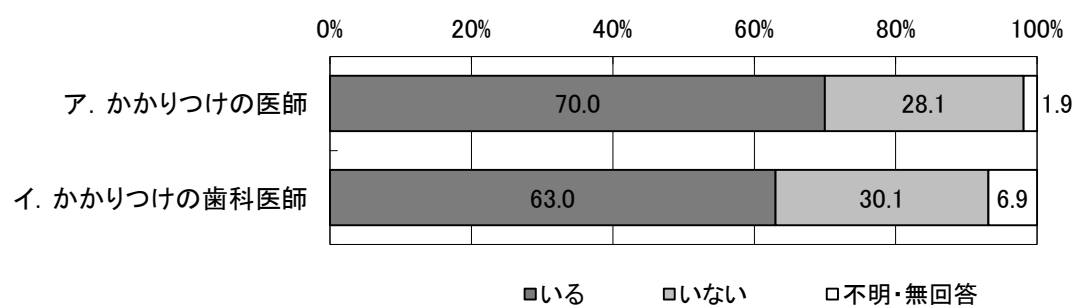
6. かかりつけ医について

問 56 あなたには、かかりつけのお医者さんはいますか。(○は1つ)

かかりつけ医の有無について、かかりつけの医師が「いる」は7割、かかりつけの歯科医師が「いる」は6割となっています。

性別にみると、男女ともに「いる」が多くなっています。

年代別にみると、かかりつけの医師では40歳代以下で「いない」、かかりつけの歯科医師では20歳代以下で「いない」が多くなっています。



ア かかりつけの医師

単位：％		n (人)	いる	いない	不明・無回答
全 体	今回	843	70.0	28.1	1.9
	前回	806	70.2	25.3	4.5
性 別	男性	372	72.0	27.2	0.8
	女性	459	68.8	28.8	2.4
年 代 別	20歳代以下	54	48.1	51.9	0.0
	30歳～39歳	45	48.9	51.1	0.0
	40歳～49歳	81	48.1	51.9	0.0
	50歳～59歳	130	59.2	40.8	0.0
	60歳～69歳	153	73.9	24.8	1.3
	70歳～79歳	221	79.6	17.2	3.2
	80歳以上	153	87.6	9.2	3.3

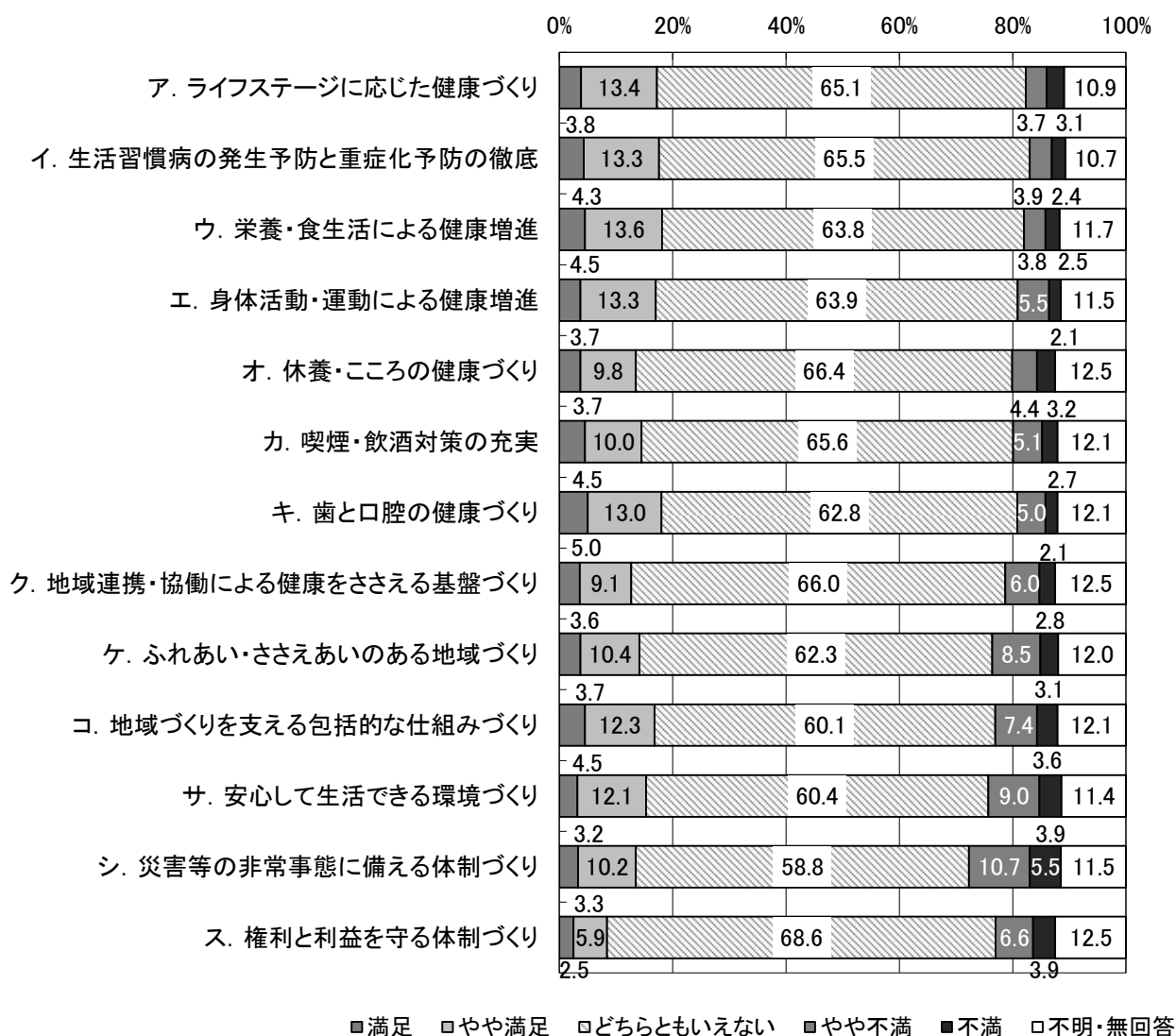
イ かかりつけの歯科医師

単位：％		n (人)	いる	いない	不明・無回答
全 体	今回	843	63.0	30.1	6.9
	前回	806	68.2	24.2	7.6
性 別	男性	372	61.3	32.8	5.9
	女性	459	64.7	27.9	7.4
年 代 別	20歳代以下	54	46.3	53.7	0.0
	30歳～39歳	45	51.1	48.9	0.0
	40歳～49歳	81	53.1	45.7	1.2
	50歳～59歳	130	61.5	36.9	1.5
	60歳～69歳	153	69.3	28.1	2.6
	70歳～79歳	221	69.2	19.5	11.3
	80歳以上	153	65.4	19.0	15.7

7. 鴨川市の健康・福祉について

問 57 あなたは、鴨川市の健康・福祉の各種施策の現状について、どの程度、満足していますか。
最もお考えに近いものにそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

鴨川市の健康・福祉の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「栄養・食生活による健康増進」が最も多く、次いで「歯と口腔の健康づくり」「生活習慣病の発生予防と重症化予防の徹底」となっています。



ア ライフステージに応じた健康づくり

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	3.8	13.4	65.1	3.7	3.1	10.9
性別	男性	372	3.8	13.4	64.8	4.3	3.5	10.2
	女性	459	3.9	13.5	65.6	3.3	2.6	11.1
年代別	20歳代以下	54	9.3	14.8	68.5	3.7	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	11.1	80.0	0.0	4.4	2.2
	40歳～49歳	81	3.7	4.9	75.3	8.6	4.9	2.5
	50歳～59歳	130	3.1	10.0	76.9	2.3	3.8	3.8
	60歳～69歳	153	2.0	12.4	75.2	5.9	2.0	2.6
	70歳～79歳	221	3.2	15.4	60.6	3.6	3.2	14.0
	80歳以上	153	5.9	19.6	41.2	1.3	2.0	30.1

イ 生活習慣病の発生予防と重症化予防の徹底

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	4.3	13.3	65.5	3.9	2.4	10.7
性別	男性	372	3.0	13.2	66.1	4.6	3.5	9.7
	女性	459	5.4	13.7	64.7	3.5	1.5	11.1
年代別	20歳代以下	54	7.4	20.4	70.4	0.0	1.9	0.0
	30歳～39歳	45	0.0	11.1	82.2	0.0	4.4	2.2
	40歳～49歳	81	3.7	2.5	81.5	4.9	4.9	2.5
	50歳～59歳	130	2.3	13.1	73.1	4.6	3.1	3.8
	60歳～69歳	153	3.9	11.1	74.5	5.9	1.3	3.3
	70歳～79歳	221	3.2	16.3	58.4	5.0	2.3	14.9
	80歳以上	153	8.5	15.7	45.8	2.0	1.3	26.8

ウ 栄養・食生活による健康増進

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	4.5	13.6	63.8	3.8	2.5	11.7
性別	男性	372	3.2	11.8	65.3	4.8	3.8	11.0
	女性	459	5.7	15.5	62.3	3.1	1.5	12.0
年代別	20歳代以下	54	9.3	22.2	66.7	0.0	1.9	0.0
	30歳～39歳	45	0.0	15.6	77.8	0.0	4.4	2.2
	40歳～49歳	81	3.7	7.4	75.3	7.4	4.9	1.2
	50歳～59歳	130	3.1	13.1	72.3	3.1	3.1	5.4
	60歳～69歳	153	3.9	13.7	69.9	7.2	1.3	3.9
	70歳～79歳	221	4.5	11.3	61.5	3.6	2.3	16.7
	80歳以上	153	6.5	17.6	43.1	2.0	2.0	28.8

エ 身体活動・運動による健康増進

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	3.7	13.3	63.9	5.5	2.1	11.5
性別	男性	372	3.8	11.8	64.5	6.5	3.0	10.5
	女性	459	3.7	14.8	63.2	4.8	1.5	12.0
年代別	20歳代以下	54	5.6	18.5	70.4	1.9	1.9	1.9
	30歳～39歳	45	0.0	24.4	71.1	0.0	2.2	2.2
	40歳～49歳	81	3.7	7.4	76.5	4.9	6.2	1.2
	50歳～59歳	130	1.5	11.5	73.1	3.8	3.8	6.2
	60歳～69歳	153	2.6	11.1	73.2	9.2	1.3	2.6
	70歳～79歳	221	4.5	14.5	57.5	6.8	0.9	15.8
	80歳以上	153	5.9	13.7	45.8	4.6	1.3	28.8

オ 休養・こころの健康づくり

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	3.7	9.8	66.4	4.4	3.2	12.5
性別	男性	372	4.0	9.9	64.8	5.1	4.3	11.8
	女性	459	3.5	10.0	67.5	3.9	2.4	12.6
年代別	20歳代以下	54	9.3	16.7	66.7	3.7	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	15.6	66.7	6.7	2.2	6.7
	40歳～49歳	81	2.5	3.7	77.8	7.4	6.2	2.5
	50歳～59歳	130	1.5	7.7	77.7	4.6	3.8	4.6
	60歳～69歳	153	2.6	7.8	75.8	7.2	3.3	3.3
	70歳～79歳	221	3.6	10.4	64.3	1.8	2.7	17.2
	80歳以上	153	5.9	12.4	45.1	3.3	2.0	31.4

カ 喫煙・飲酒対策の充実

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	4.5	10.0	65.6	5.1	2.7	12.1
性別	男性	372	4.0	11.3	64.0	5.6	3.2	11.8
	女性	459	5.0	8.9	67.1	4.6	2.4	12.0
年代別	20歳代以下	54	7.4	14.8	64.8	7.4	5.6	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	13.3	75.6	4.4	2.2	2.2
	40歳～49歳	81	2.5	6.2	79.0	3.7	7.4	1.2
	50歳～59歳	130	3.1	6.9	73.1	9.2	3.1	4.6
	60歳～69歳	153	4.6	11.1	74.5	5.9	1.3	2.6
	70歳～79歳	221	4.5	10.4	62.4	2.7	2.3	17.6
	80歳以上	153	6.5	10.5	45.8	4.6	1.3	31.4

キ 歯と口腔の健康づくり

単位：％		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	5.0	13.0	62.8	5.0	2.1	12.1
性別	男性	372	4.3	12.6	62.9	5.4	3.0	11.8
	女性	459	5.7	13.5	62.7	4.6	1.5	12.0
年代別	20歳代以下	54	5.6	16.7	70.4	3.7	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	15.6	71.1	4.4	2.2	4.4
	40歳～49歳	81	2.5	7.4	79.0	4.9	4.9	1.2
	50歳～59歳	130	2.3	9.2	73.8	6.2	3.1	5.4
	60歳～69歳	153	4.6	12.4	69.9	7.2	2.0	3.9
	70歳～79歳	221	5.4	15.4	57.5	3.2	1.4	17.2
	80歳以上	153	9.2	14.4	41.2	5.2	0.7	29.4

ク 地域連携・協働による健康をささえる基盤づくり

単位：％		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	3.6	9.1	66.0	6.0	2.8	12.5
性別	男性	372	3.2	8.9	66.7	5.6	4.3	11.3
	女性	459	3.9	9.4	65.6	6.5	1.5	13.1
年代別	20歳代以下	54	7.4	11.1	66.7	7.4	3.7	3.7
	30歳～39歳	45	0.0	15.6	80.0	0.0	2.2	2.2
	40歳～49歳	81	2.5	3.7	77.8	8.6	6.2	1.2
	50歳～59歳	130	2.3	6.2	77.7	4.6	3.8	5.4
	60歳～69歳	153	3.9	8.5	73.9	8.5	2.0	3.3
	70歳～79歳	221	3.2	10.9	61.5	5.9	0.9	17.6
	80歳以上	153	5.2	10.5	44.4	5.2	3.9	30.7

ケ ふれあい・ささえあいのある地域づくり

単位：％		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	3.7	10.4	62.3	8.5	3.1	12.0
性別	男性	372	4.0	10.2	61.3	9.1	4.0	11.3
	女性	459	3.5	10.9	63.4	7.8	2.2	12.2
年代別	20歳代以下	54	9.3	14.8	64.8	5.6	3.7	1.9
	30歳～39歳	45	2.2	8.9	82.2	2.2	2.2	2.2
	40歳～49歳	81	2.5	4.9	75.3	11.1	6.2	0.0
	50歳～59歳	130	3.1	9.2	70.0	6.9	5.4	5.4
	60歳～69歳	153	3.3	11.1	68.6	11.1	2.6	3.3
	70歳～79歳	221	2.3	10.9	59.3	8.6	2.3	16.7
	80歳以上	153	5.9	12.4	41.2	8.5	1.3	30.7

コ 地域づくりを支える包括的な仕組みづくり

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	4.5	12.3	60.1	7.4	3.6	12.1
性別	男性	372	4.6	12.6	58.3	7.8	5.1	11.6
	女性	459	4.6	12.4	61.7	7.0	2.2	12.2
年代別	20歳代以下	54	7.4	18.5	68.5	1.9	1.9	1.9
	30歳～39歳	45	2.2	15.6	71.1	4.4	4.4	2.2
	40歳～49歳	81	2.5	7.4	76.5	7.4	6.2	0.0
	50歳～59歳	130	3.8	13.1	66.9	5.4	6.2	4.6
	60歳～69歳	153	4.6	9.2	66.7	12.4	3.9	3.3
	70歳～79歳	221	3.6	14.0	56.1	6.8	2.3	17.2
	80歳以上	153	7.2	12.4	39.2	7.8	2.0	31.4

サ 安心して生活できる環境づくり

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	3.2	12.1	60.4	9.0	3.9	11.4
性別	男性	372	3.2	13.7	57.5	10.5	4.6	10.5
	女性	459	3.3	11.1	62.7	7.8	3.3	11.8
年代別	20歳代以下	54	7.4	18.5	64.8	5.6	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	0.0	13.3	75.6	4.4	4.4	2.2
	40歳～49歳	81	2.5	4.9	75.3	9.9	7.4	0.0
	50歳～59歳	130	3.8	10.8	66.2	9.2	6.2	3.8
	60歳～69歳	153	2.0	11.8	66.7	12.4	3.9	3.3
	70歳～79歳	221	2.3	12.7	58.8	8.6	1.8	15.8
	80歳以上	153	5.2	14.4	38.6	7.8	3.3	30.7

シ 災害等の非常事態に備える体制づくり

単位: %		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	3.3	10.2	58.8	10.7	5.5	11.5
性別	男性	372	3.8	11.3	55.4	12.9	6.2	10.5
	女性	459	3.1	9.4	61.9	9.2	4.6	12.0
年代別	20歳代以下	54	5.6	16.7	66.7	5.6	5.6	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	15.6	66.7	8.9	4.4	2.2
	40歳～49歳	81	2.5	3.7	75.3	9.9	8.6	0.0
	50歳～59歳	130	3.8	7.7	66.2	9.2	8.5	4.6
	60歳～69歳	153	1.3	9.2	61.4	18.3	5.9	3.9
	70歳～79歳	221	2.7	9.0	57.9	10.4	4.1	15.8
	80歳以上	153	5.9	14.4	38.6	7.8	3.3	30.1

ス 権利と利益を守る体制づくり

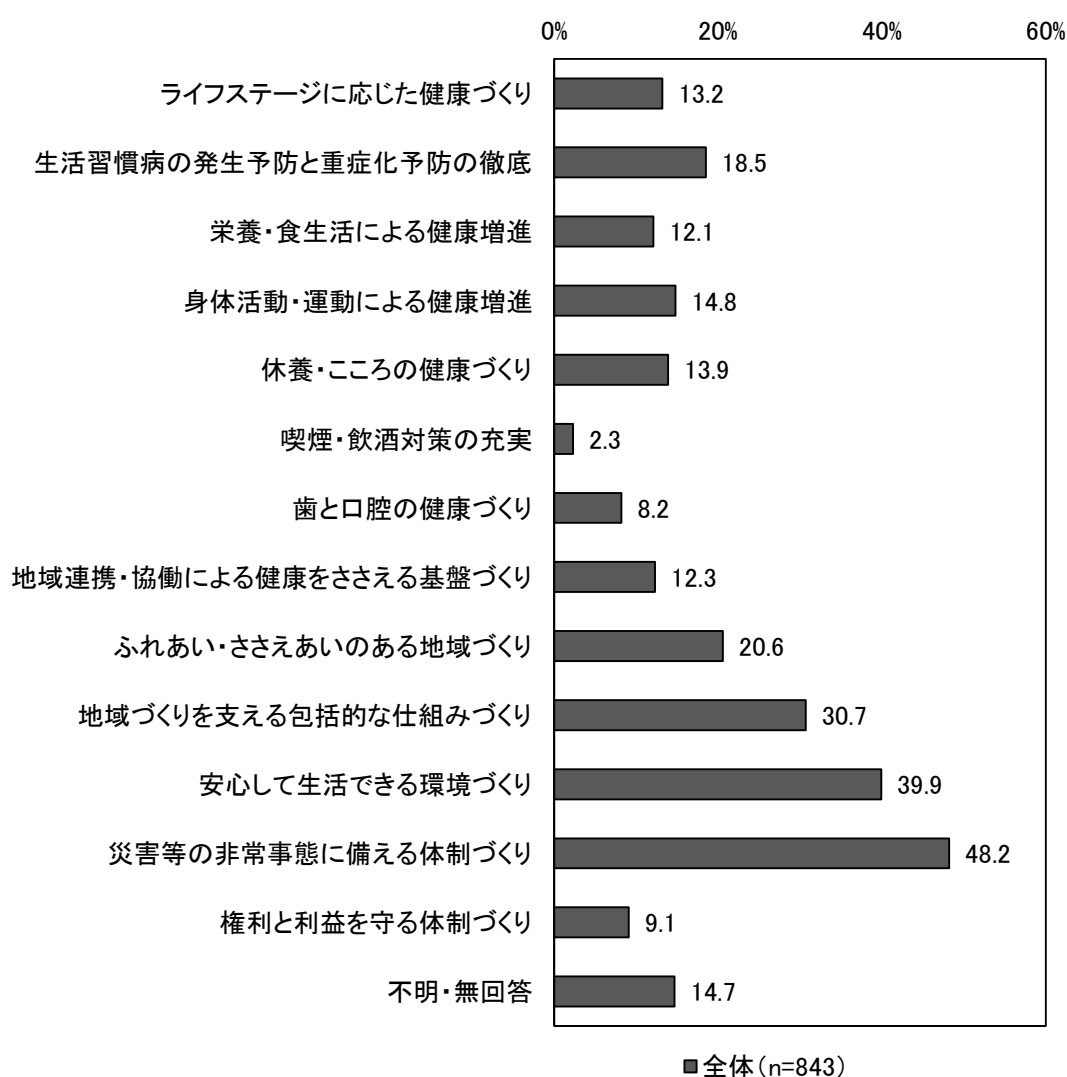
単位：％		n (人)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答
全体		843	2.5	5.9	68.6	6.6	3.9	12.5
性別	男性	372	1.9	7.0	64.8	9.7	4.3	12.4
	女性	459	3.1	5.2	71.9	4.4	3.3	12.2
年代別	20歳代以下	54	5.6	13.0	75.9	1.9	3.7	0.0
	30歳～39歳	45	2.2	13.3	68.9	6.7	6.7	2.2
	40歳～49歳	81	2.5	2.5	79.0	7.4	8.6	0.0
	50歳～59歳	130	2.3	0.8	81.5	4.6	6.2	4.6
	60歳～69歳	153	2.0	3.3	76.5	11.1	2.6	4.6
	70歳～79歳	221	1.8	7.7	66.1	5.9	2.3	16.3
	80歳以上	153	3.3	7.8	45.8	6.5	2.6	34.0

問 58 問 57 のア～スの中から、今後特に重要であると思う項目を3つまで選び、下の枠内に項目の番号を記入してください。(3つまで記入)

鴨川市の健康・福祉について、重要であると思う項目は、「災害等の非常事態に備える体制づくり」が最も多く、次いで「安心して生活できる環境づくり」「地域づくりを支える包括的な仕組みづくり」となっています。

性別にみると、男女ともに「災害等の非常事態に備える体制づくり」が最も多くなっています。

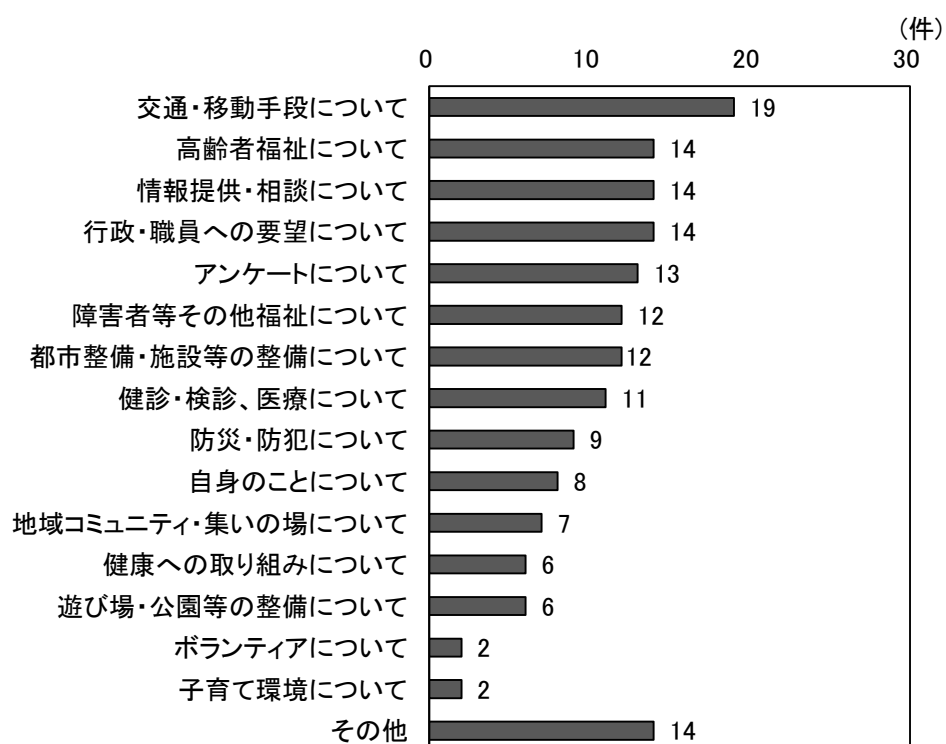
年代別にみると、いずれの年代においても「災害等の非常事態に備える体制づくり」が最も多くなっています（不明・無回答を除く）。



単位：％		n (人)	健康づくり	ライフステージに応じた	重症化予防の徹底	生活習慣病の発生予防と	健康増進	栄養・食生活による	健康増進	身体活動・運動による	健康づくり	休養・こころの	喫煙・飲酒対策の充実	歯と口腔の健康づくり	地域連携・協働による健康をささえる基盤づくり	ふれあい・ささえあいの	あふれあいの	包括的な仕組みづくり	地域づくりを支える	環境づくり	安心して生活できる	備える体制づくり	災害等の非常事態に	権利と利益を守る	不明・無回答
全体		843	13.2	18.5	12.1	14.8	13.9	2.3	8.2	12.3	20.6	30.7	39.9	48.2	9.1	14.7									
性別	男性	372	12.9	19.4	15.1	16.7	10.5	2.4	8.6	13.7	20.2	30.1	37.9	47.0	11.6	13.7									
	女性	459	12.9	18.1	9.4	13.5	17.0	2.2	7.8	11.1	21.4	31.4	41.8	49.9	7.2	15.0									
年代別	20歳代以下	54	18.5	18.5	20.4	27.8	25.9	7.4	9.3	5.6	16.7	37.0	22.2	50.0	14.8	1.9									
	30歳～39歳	45	17.8	13.3	15.6	22.2	17.8	4.4	8.9	8.9	22.2	28.9	37.8	44.4	17.8	2.2									
	40歳～49歳	81	17.3	17.3	12.3	21.0	22.2	1.2	7.4	21.0	18.5	35.8	34.6	56.8	11.1	2.5									
	50歳～59歳	130	16.2	20.0	10.0	14.6	15.4	4.6	6.9	13.1	15.4	31.5	41.5	55.4	6.9	9.2									
	60歳～69歳	153	11.1	16.3	4.6	11.8	13.1	2.6	7.8	17.6	23.5	39.2	52.3	52.9	13.1	8.5									
	70歳～79歳	221	14.0	23.1	15.4	12.7	12.2	0.0	8.1	10.9	25.8	27.1	42.1	48.0	7.2	15.4									
	80歳以上	153	5.9	15.7	12.4	11.1	6.5	1.3	9.2	7.8	17.6	22.9	33.3	35.3	4.6	37.3									

問 59 市では、健康・福祉・医療等に関わるサービスについて、市民の皆さまとともに、よりよい仕組みを作り上げたいと考えております。市に対する要望や市民の皆さまが取り組んでいただけることなどがございましたら、ご自由にお書き下さい。

市に対する要望や自身に取り組めることなどについての意見は、「交通・移動手段について」が最も多く、次いで「高齢者福祉について」「情報提供・相談について」「行政・職員への要望について」となっています。



■ 交通・移動手段について 19 件

高齢者が車を運転しなくても、出掛けることが出来るサービスを充実して欲しい。
①兎に角、社協のヘルパーや有償送迎の運転手が2人と圧倒的に足りなくて、通院時の朝はタクシー運転手も不足しているので早くから予約が必要で社協自体土日休みなので使え無い。また、鴨川市の有償送迎は病院への送迎等1箇所のみで、買い物への同乗も出来ない。以前住んでいた鴨川市よりはるかに小さな町の社協の有償送迎では、仕事をリタイアした方や移住者、子育てを卒業した主婦の方々がボランティアとして運転手の資格を取り登録されていたので、一日中通院に付き添ってもらえたり、都合の悪い時は行きと帰りを変わって送迎してもらい、更に病院以外に買い物とか銀行とか計2箇所寄ってもらえたので大変助かりました。なので、職員不足の鴨川市でもボランティアの運転手活動を考えて見ては如何でしょうか？ ②市内の鴨シー渋滞を何とかしてください。鴨シーに行く車を慢性渋滞の駅前交差点に流さず、北部道路へ誘導する看板を建てて、土日祝日夏休みなどの繁忙期に買い物に出るにも困る渋滞を何とかして住み易い鴨川市にしてください。 また、昨年出来た県道 34 号線貝渚橋交差点から 24 号線 JA スタンドまでの道路はまだ地図にも表示が無くて行き先看板も無いと言う体たらく。折角道が有るのに知られていないので、慢性渋滞の西口駅前交差点を通らずに駅東口や館山方面に行けのに、折角の大金はたいた道路が勿体ないです。なぜ、看板建てないのでしょうか？ ③昨年春から変わった市内循環バスですが一方向の循環線なので、行きは 20 分でも帰りは 60 分と大変不便です。更に亀田病院のロータリーには入らないので使い勝手が悪く、高齢者の車の無い方々の利用が殆ど無いのにはハッキリ言ってビックリしました。それならば、循環線はやめて料金一律でどこでも乗り降り出来るオンデマンドバスに変えてもらった方が利用者には有り難いです。
・ちょっとこタクシーとか、長狭に限らず東条でも応答されたら対応したら如何ですか、困るから話をするのでしょから。昭和 22 年前後生まれ、後期高齢者も多くなる事にせよ。宜しく！お願い致します。以上。
車の運転が出来なくなった後の買物・病院へいく手段
・道路が狭く、車と歩行者の接触の危険がある。・横断歩道を渡る為に待っていても車が止まってくれない。・警察のパトロールが強化されるとありがたい。・公共の交通機関が少なすぎる。バス・電車1日の本数を増やせないのか？・市民だけでなく、他の市、県から来る人も不便。・通院したいが手段が無い為来られない、という患者が多い。これは患者本人ではなく、鴨川市の問題ではないか？
(バス利用時間について)病院、買物、その他の利用時間などで、行き、帰りの時間調整が大変です。利用者が少なくなったかもしれませんが私を始め、そう話をよく耳にします。そう言う事をよろしくお願いします。
高速道路を鴨川まで繋げて欲しいです。
ライドシェアの早期実現。
東条病院の様に亀田病院も送迎バスを小湊駅⇄亀田病院望みます。
他県より移り住み期間が短いのですが、前県に比べ移動方法等に不便を感じております。
車の運転を止めると病院への通院が困ります。せめて午前中だけ1本か2本でもバスがあると助かります。帰りはタクシーでもいいので。今後 5～6 年すると運転を止める高齢者が増えると思います。シルバー人材センターでもう少し色々な作業をしてもらえると助かります。
毎月病院に行くので、市で運営するワンコイン送迎サービスを始めてほしい。このアンケートで市の取り組みを知れて助かります。

鴨川市は海や山に囲まれ、また医療も充実し恵まれた環境の中にあるにもかかわらず、人口の減少は進むばかりである。観光資源も活かされず交通は衰退するばかりである。予算がないとの理由で何でも減少、廃止される。年を追うごとに陸の孤島のようにならぬかと心配だ。ニュースなどによるともっと生活環境の良くない市町村でも希望を持った若者が戻ってきている。明るい未来がない所には若者は戻らない。どうか恵まれた資源を活用して、活力ある鴨川市にしてほしい！まず自由に動ける市民の足、観光客の足を整備してほしい。私は鴨川市が大好きです。
今は動くことができなくなりましたが、歩くのが不自由、助けられながらですが、どうかバスが自由に乗る事ができましてうれしいです。(私は今現在は、手足が不自由ですが、できる限り自分の力で歩く事ができましたらうれしいです)皆様に迷惑をかけますが、歩く事が出来る喜びを味わいたく思います。
引越してきて三カ月くらいしか経っていないので、あまりよくわからないのが実状です。しかしお年寄りが多く、皆さまお車の運転をされていて、狭い道も多くとても怖く感じました。慣れている道だからこそ気を付けてもらいたいです。免許返納されると暮らしにくいのが現状だとは思いますが、返納されても買い物難民がでない町づくりができると良いと思います。
交通の便が悪いので、車を小型化(安く)、または共同で。
鴨川市内(天津方面～館山方面)に日東バスが通っていますが、ステップ、バス内の移動等があります。コミュニティーバス、チョイソコの利用が欲しいです。市役所等の用事は鴨川駅での乗り換えが必要で時間調整も難しいです(特に年配者)。
通院、買い物の移動の交通をもう少し増加してほしい。チョイソコを使うつもりでしたが、日が合いません。いつでも病院に行けたらとてもよいと思いますが、無理でしょうか？
市内を車で走っていると、原付・キックボード・自転車に乗っている子供や老人の運転にハッとさせられる事が多い。標識無視や一時停止などの表示無視などでずいぶん怖い思いをしました。やってる本人たちはまったく意識していないので、おかまいなしにやる。このままでは事故が減るとは思えない。市内は危険な場所がかなり多く見受けられる。罰則を厳しくするよりも講習、教育の機会を設けるべき。免許とまではいなくても自転車等に乗る前には講習を義務付けることと、講習済みの証明がなければ乗ることができないくらいの強制力が必要。罰金をとるでは反発が生まれるが、勉強させることに異論があるだろうか。車も講習は更新時だけで完全ではないが、講習を受けることは当たり前になっていて受けない人はいない。キックボードや自転車も講習を当たり前のよう受けさせることこそ事故の減少につながる。他県、他市に先駆けて鴨川市が最初に取り組んでほしい。

■ 高齢者福祉について 14 件

少子高齢化の為、独居で住まわれている方の病気になっても自分で助けを呼ぶ事も出来ずにおられる事を間近に聞き何か良い方法はなかったかと考えた事があります。近所の方との付き合いなど痛感します。私も夫婦で生活しており子供などに時々電話などの方法で会話をするなど大切だと思います。
近所の方々皆さんは、高い年齢の方が多く買物や病院に行く事が中々自分達で行かれない方が多く、人を頼らなければなりません。とにかく歩く事が出来ないのです。買物に行くのにも鴨川市内まで行かないとないのです。
鴨川市は病院は充実していると思いますが、通院等の交通手段があまり良く無い様に思います。家族が主体となりますが、独居の方で自力歩行出来ない方には、もっと手段を考えた方が良いと思います。少子高齢化の市ですから、取り組まなくては行けない課題が沢山あると思います。介護保険料も高いです。子供達の支援も自分達が子育てしている時よりは良くなったと思います。高齢者にはマイナンバー保険証などは分りません。

両親とは離れて暮らしていますが、交通の便が悪くバスなどの交通手段も時間が合わず、チョイソコも利用が出来ない場所なので病院や買物など仕事が休みの時に乗せて行かなければならず困っています。駅のそばにスーパーなどが集中しているのですが、両親の家からは遠く高齢となり車を利用しなくなり負担になっています。福祉としては市民センターがなくなり、ホールがないので、人がつながれる場所がないと思います。公民館も老朽化しているので、ホールの早い建設を願っています。若い人や老人などが生きがいの持てる場所にもなると思っているのですがホールが無い事を残念に思っています。観光地でもあります、鴨川に住む人がもっと安心して暮らせる鴨川市になる事を強く願っています。
各地域で、独居老人が増えているので、独居老人家庭の把握を確実に、見守りのサービスを協力する事が必要と思います。
私共有料ホームには入れません。特養ホームを増やして下さい。
小湊駅前の無料駐車場を利用して、月に何回か、週に何回とか、野菜とかお店を出してほしい。高齢者なので買物に不自由しています。
市の集団健康診断の送迎バスをだしていただく事が参加する人を多くできますので、大変感謝しています。毎回助かっています。夫婦で基礎疾患患者として通院しています。車(免許)も80歳で自主返納致しました。数日間泣きましたが、心発作で事故を起こす前に返納致しました。夫も放射線治療で長く通院致しました。バス等にお世話になっています。福祉の方で通院買物の軽自動車等の支援を頂けると勝手に願っております。今月号の広報に小湊のよつば介護福祉タクシーさんにもお電話させていただこうかと思っております。路線バスやちよいそこさんにも助けて頂いておりますが、ほとんど2時間ごと、乗り合いタクシー(チョイソコ)さんは夕方四時家着ですので午後の通院で困る事がたくさんあります。バスは夕方6時が最終バスです。公共交通に市の多額の税金投入のことも知らされて、又運転手不足等のあり大好きな鴨川も老々介護で悲しい日々を送っています。ボランティアも5つほど頑張っていて楽しく明るい昔ありましたが、その日々の思い出が今の生活の支えになっています。この様なアンケートを出していただき感謝を致します(乱筆お許しくださいませ)
地域にサロンができ、活用させていただいています。年配の方が楽しくゲームをしたり、他の場所では見せないような大きな声で笑ったり、とても健康に良いと思います。
人口の減少にどう対処していくのか。高齢化が進みどう対処していくのか。
介護施設の低料金化
若い人がいない、残っている人も高齢者で年々人数が減っている。部落の存続はどうなんだろう？市が市民をまとめて「事」をする事を考えてほしい。
市全体が高齢化していることが健康や福祉、医療の問題を深刻にしていると思う。若い人が積極的に移住するなどして年齢のバランスが保てるようになると、活気も出て高齢者の自助意識も高まるのではないではないか。
高齢者が近くで集い学習、楽しめる場所としての公民館等の施設の充実を要望します。

■ 情報提供・相談について 14 件

どのような資源があるのか、どのような人が活用出来るのかなど情報が分かるようにしていただけると助かります。
広報などで、今こういうサービスをしています、とアナウンスしているハズですが、僕のような新しい住民で、賃貸住宅に入っている(自治会員になっていない)者は、回覧板が回って来ないので、情報不足になっています。多分、大家さんが自治会費が高いので、気を利かしていると思われます。こういう住民がかなり数のいるのではないのでしょうか？
このような幽霊住民へ必要な情報を届ける方策を工夫してください。例えば、SMS を利用するとか…。

色々な支援や体制が施行されているようですが情報弱者で全く自分に関わる事としてとらえる事ができない。わからない事がわからないです。自分にとって何が必要で不必要なのかがわからないです。
市としては健康、福祉、医療等取り組んでいる様ですが、市民一人ひとりに伝えられ理解出来る様、広報だけでは紙面上だけで伝わりません。ステージ、年代に合わせ、色々な角度で発信して欲しいと思います。しています！やっています！だけでは伝わりません。もっと深くとられ、イベント性も高め、創意工夫をして欲しいと思います。期待しております。よろしくお願いします。
ホームページなどで連絡されても見ないので(使えない)活動などもっと分かりやすくしてほしい。
今回の調査で思った事はあまり情報が行き渡ってない様に思います。紙面だと特に年を取ってくると読む事からして面倒くさいと感じる。長い説明文ならなおさら、広報の連絡の仕方の工夫を考えてほしいです。広報放送等で「こんな取組がありますよ…」とかスピーカーで流してもらったら、耳に届くのではないかな？
このアンケートの福祉という意味の趣旨と少し違うが、少し前に行われた地域復興券(プレミアム商品券)の情報など一切一般市民は知らず、市役所関係者、知人だけ購入している。ある意味役得利益みたいなものである。高齢者の多い鴨川でこのような情報は市役所に行ったりパソコンで知ることのできない市民はたくさんいる。防災無線があるのだから災害だけでなく給付金などの情報も流し広く一般市民が情報を与えやすいようにすべきである。
毎月の広報などセブンイレブンなどの買い物に行くところにおいて欲しい。(ベシア、イオン、オドヤなどにもぜひにおいて欲しい)いつも無理して市役所にいただきに行っていますが、とても不便です。
福祉、医療関係等、経済的な補助、助成、利用制度。様々なものがあると思いますが、私は生活の中で、自分で調べて都度申請しています。市からの情報提供を全体に行き渡らせるようにすれば、若い世代ももちろん助かりますが、特に高齢者、社会に出たばかりの世代(情報が渡りにくい部分)がカバーできるのではないかと思います。自分で調べて申請するのは時間がかかります。また自分で制度を見つけられず、助成該当者でも申請しなくては利用できない体制にも違和感があります。
連絡ない、あまり。
今回のアンケートで市役所、ふれあいセンター以外にも公共の施設がある事をはじめて知りました。実際どこにあって何をする所なのかまでの知識がありませんので、市内の公共施設の一覧、どこでどんな援助が受けられるのか知りたいと思いました。
鴨川市は老人も多いので、どこでどんな支援をしているか、どこに相談したらよいのか、わかりやすく情報提供してほしい。今、新聞を取っていない家庭も多く、うまく活動内容を伝えてほしい。今回知らないことが多かった気がした…自分から動かなくてはいけないと反省しつつ、よくわかるように教えてほしい。
アンケートに応える中で、市の方々が種々取り組んで下さっているであろうことが、わかっていない自分がいることを実感しました。まずは市で実施されている事を知る、理解することに関心を持つことが大事だと思います。そうなるには市として、皆に興味関心を持ってもらう取り組みや、知らせ方などの工夫を心掛けていただけたらと思います。情報の提供が機器に傾きがちの昨今ですが、それに追いついていけない、使いこなせない市民の事も考えていただけたらありがたいです。財務上多難な市の状況下ででしょうが、住みよい街の為に今後もご尽力いただけますように。的外れなことを書き記したかもしれませんが。
いろいろなことをやって下さっていると思っていますが、自宅介護人がいるため外出することがあまりなく、いつどこで何が行われているのかがあまりわかっていないかも…。わかっても参加できないことが多い。

■ 行政・職員への要望について 14 件

国は当てに出来る状況では無く、窮屈な施策になるかもですが地方自治として国に頼らずに出来る事をやって欲しい。
人口減少、少子高齢化の進展著しい鴨川市では、市単位や日常生活圏域のみならず、市を超えた広域的な取り組みも明確に位置づけるとともに、多様な主体による持続可能なシステム構築が重要と考えます。
身体的、精神的に安定した生活を送るため、まずは、経済的負担を軽くしていただきたい。
介護や民泊、ペット飼育問題について相談したが、ほとんど解決されず、たらい回しにされてばかりで、対応する気がないと思っている。 利用者が少ない一戦場公園に人を配置しているのも疑問。清掃もせず、違法な利用者に注意もせず、早帰りしているのを知っているのか。 大学周辺に作った遊歩道は、すぐに閉鎖されたり、郷土資料館入口に電子ボードが設置されたが、税金のムダ使いだと思う。
鴨川市での生活は、アマゾンなどの通販がなくては成り立ちません。昨今、流通が大変なりソース不足に陥っていると聞いています。もし流通が滞れば暮らし自体が立ち行きません。なので、自治体として流通を支援していただきたい。例えば、再配達を減らすために郵政などの業者に働きかけていただきたい。例えば、宅配ボックスなどを助成していただきたい。
杓子定規な答えはやめてもらいたい。市民に寄り添った言い方をしてほしい。
市役所や鴨川警察署の一部職員の態度が悪い。市のサービスが悪いわりに職員が多すぎる。ゴミの袋が高すぎる!!市のサービスの情報が得る機会が不足している。確定申告の時、待ち時間が長すぎて、順番が近くなったら、LINE 通知などしてほしい!!
ここ数年で、地域の高齢化と過疎化が早いスピードで進み、あらゆることが追いつかない可能性があると思われます。まさに地域の実態を的確に把握し、先を見通し強いリーダーシップをもって取組ことが求められていると思います。行政の積極的なかわりや組織を利用した見守りなどを通して、市民の自覚を高め、医療やスポーツ・文化行事等あらゆることを通して、地域の絆を深める施策が求められていると思われます。
人口減少過疎化、物価高、高齢化問題から解決していかないと未来の鴨川はない。
ハクビシンや狸などの野生動物がフンをして衛生的に心配で健康生活を脅かすので何とか市をあげて取り組んでもらいたい。
1)現状レベルにほぼ満足しています。2)八色の市民福祉部に時々訪問しますが、室内照明不足?か入館時印象はとても「暗い」感じがします。もう少し全体的に明るい雰囲気作りになればと・願っております。(鉄筋コンクリート作りの冷たい感じ・・・)
年を取ったからとか、障害を持ったからとかではなく、普段日常的に支え合う仕組みを子供の頃から感じられる環境作りが大切です。お金が集まるようなふるさと納税をして、そのお金を有効に使って、投資できるといいですね。住んでいる住民が暮らしやすい生活こそが地域の活性化につながります。
本市の危機的な財政状況を勘案すれば、福祉部門の予算は削減するべきだと思う(特に高齢者部門)。
今まで以上のサービスをしてください。

■ アンケートについて 13 件

アンケート 10 分程度ではなかった。30 分近くかった。
アンケートはいいがそれを反映していない感じがします。

※このアンケートですが、とてもよい内容ではあると感じましたが、とても 10-15 分で回答できる内容ではないと思います。非常に長く、文字も多く、アンケートとしては長すぎると思います。回答者に対しては金銭的なインセンティブを付与するなどの対応を検討していただくのはいかがでしょうか？
アンケートばかりよこしてやらせるだけでは全てダメです。お金の問題や道の事。その人その人の体調の事。色々ある。福祉の事もお金が絡んでくる。市に対し良く思っている人ばかりでない。
大変良い取り組みだと思います。
年齢を重ねているので質問に答える事が出来なかった。
施設入所されている方に送られてきました。意思疎通図れない方なので、きちんとアンケートに回答することは出来ないで申し訳ない。今後アンケートをする場合、施設入所の方を省くか、もしくは施設に送付して回答できる人を事業所で厳選しアンケート回答してもらうなどした方がよいかと思います。
施設入所されていて、意思疎通困難な方に送られてきました。きちんとアンケートに回答することは出来ないで申し訳ない。紙、切手代がもったいないかと思う。今後、アンケートをする場合、施設入所の方を省くか、もしくは施設に送付して回答できる人を事業所で厳選し、アンケート回答してもらうなどした方がよいかと思います。
母が高齢なので娘と一緒に記入させていただきました。よろしくお願いします。
87 才の友達にアンケートが届き「眼が悪く読めない」とのことなので、たまたま訪ねて行った私(81 才)が本人に聞き取りしながら代筆しました。私は耳が悪く、大声で聞き返しながら一時間かけてアンケートを回答しました。本人は「読めなくて回答できないので捨てたい」と言っていました。私が「聞きながら書いてあげる」と話して書き、ポストに入れてあげました。2000 人の人選、87 才の一人暮らしの人には無理と思います。私が一時間かけて記入したから答えられたが、本人は捨てるつもりでした。もし、我が家に居ても、夫は 88 才、どう回答するのか？ウェブ回答を希望のようですが、老人には無理です！！ウェブ回答できる若者に送ってください。
質問が多くアンケートに時間がかかる。質問自体が的はずれではないかと思うものがある。
1、パソコンで http:// ～にアクセスしたが、この回答がうまくできませんでした。(パソコンでやろうと思ったのですが)2、アンケートの量として、適切でしょうか。(多すぎる気がします)もう少し、絞って欲しいです。59 問もあるアンケートは受けたことはありません。
アンケートのために時間を作りましたので、そちらも誠意を見させていただきますようお願い申し上げます。

■ 障害者等その他福祉について 12 件

・生活保護 本当に困っている方だけにしてほしい。 ・他市で申請した方、断られ千葉県鴨川市は生活保護を絶対に断らないから、鴨川にくるつもりで無かったけどわざわざ引っ越してきた。 ・貯金はあるが、知人が旅行や賭け事で使い果たして生保にすんなりなれた。だから、俺もこれからパーっと使って生保になる予定と自慢げに話してる人がある。 ・真面目に国民年金納めて、月六万くらい受給の方は、生活保護の方より生活が厳しい納得いかないと。 (3 件は本人から聞いた人がある)
もっと介護に困っている家族を助けて貰えるような相談窓口や支援が欲しい。 精神的な病気の家族(70 代)が居て困っていますが、今ある市のサービスや施設では何も解決しません。 介護をするにあたり、初めはどこに相談するのか等とても分かりづらかった。

放課後デイなど障害児就学後のサポートを充実してほしい。 各家庭ごとに利用できる福祉サービスの情報提供をしてもらえる人、部署があってほしい(市民が調べなければならずサービスの把握ができていません)
近い人で障害を持つ方が何人かいますが、そういった方の就職に関して職員の方の対応に困っている状況を聞いています。 就職に関しては、障害があり、働ける環境、条件が限られているが支援の施設が鴨川には 1 つだけしかないので他県と比べると選択肢がかなり限定的であること。 また、基本的には福祉センターの方は丁寧な対応をしていただき感謝しているが、その中でも福祉センター、市役所などの一部の方は、対応時に職員本人が内容を理解しておらずキツイ言い方や明らかに不機嫌な態度を取る方がいらっしゃる。 これは以前仕事で障害年金の窓口で自分も経験したことなので、大前提として鴨川市に限った問題ではないと思いますが…。 窓口、電話口対応の方は障害を持った方の心理的負担を考慮できるスキルを持っていただく、また、可能であればそれができる方(適性のある方)が対応する方が良いのではと思います。 全てが全てではないですが、最悪のケースとして追い詰めてしまうこともあります。 それ以前に窓口で障害者にもそのような対応をする方は、その方自身が問題を抱えてしまい、八つ当たり、妬みとして攻撃性が出ている場合もあるので、そういった場合は職場として拗れた対応してしまったその方自身へのケアも必要なのかなと思います。 市政も多忙を極めていることと思いますが、市政を担っていただいている方々もできる限り無理をせずにご自愛いただきたいです。
ひとり親世帯などに家賃補助制度があって欲しいです。
私は脳出血の後遺症で 20 年以上になります。その間介護してくれた夫も高齢で今までのように出来なくなり、自分のことだけでもやっという状態です。ヘルパーさんを頼みたいと思い、ケアマネージャーに相談するも同居人のいる人は頼めないとのことでした。何とかありませんか。条件は充分満たしていると思いますが。
福祉サービス等は、すべての人が平等に受けられるようにして欲しい。一部の人が得をすることがないように。
介護ヘルパーさんの充実(必要不可欠) 移動支援の充実(必要不可欠) 障害者の行き場作りの充実 医療介護のある障害者の入所施設、一時預かりなどの行き場作り 介護者も安心して預ける場所(施設)を増やしてほしい。
1.重度のめまいを発症した時。2.タクシー代がなかった時。3.一日中病院に付き合ってくれた時。4.帰りも自宅まで送ってくれた時。ありがたかったです。福祉の仕事で素晴らしいと感激致しました。困っている人の手となり足となって働ける福祉従事者って素晴らしいです。感謝致しました。
高齢者の福祉や子ども等の支援も大切だと思いますが、障害者にも適切な支援に力を入れて皆が生活しやすい環境を整えてもらいたいと思います。障害者の重症度で支援される仕事、金額等が違い、自分が受けたお金を使うことがないからおこずかいのように親に渡している話を聞きました。自立している障害者の支援金等も見直すことも希望します。就労支援 B 型等、月一万円程の金額の子供を年老いた親が見ていく事も大変で、このような話を聞くとなんともいたたまれなくなります。

福祉ではお年寄りが鴨川市での福祉サービスが自分に当てはまるのかどうかさえ、福祉センターへ行く事を恥ずかしいと思っているのか、リハビリにたどり着くまで 5 年ぐらいかかりました。もう少し前から利用できれば良かったけど、伝える事は大変な事です。やはり目に見えるケガや病気は病名がはっきりしているので伝えやすいけど、脳からくる精神病とかうつ病の場合は本人の意志が安定しないので、なかなか足取りが悪く、周りの人の言う事を受け入れず同じ家に住んでいる人は大変だと思う。躁うつ病の人のサークルとか作ってみれば“私だけ”と思っている人が同じ病気の人とだったら心が打ち解けるかもしれないかなと思いました。

福祉には財政の裏付けが必要だが、市の財政状況は苦しいと聞きます。そんな時こそ市職員、社協、地域ボランティア等の人づくりが肝要です。

■ 都市整備・施設等の整備について 12 件

・歩道の整備(草、デコボコ)

↑ 自転車が転倒したところを見た。

高齢者や小さい子供が、散歩したりできる、安全な歩道が必要だと思います。

子供達の通学に自転車を使っているが道路がほとんど整備されていないため、歩行者とのすれ違いもできないくらい狭いところがあり危険。また電灯が少なく、暗くて危険。車を運転していても、歩行者や自転車が見えづらく怖い。

街が雑草だらけ。

花の町にしたい。

行政がリーダーとなり住民を巻き込んで綺麗な町にしたい。

市民として恥ずかしいです。

・ウェルシア前の道路、歩道がなくて危ないと思う。・主婦として、忙しい時に頼っていた「ほっともっと」がなくなってから、すき家しかテイクアウトできるお店がなくて困っています。薬局ばかりではなく、もう少し若い世代の為に飲食店や買い物をする場所があればすごく住みやすい所だと思います。・健康の維持等の目的として、スパ施設もあったら良いと思います。お年寄りの多い地域ですが、亀田病院やシーワールドもあるので沢山の方が集まると思います。

道が陥没ヒビ割れ等が多い。側道など木や枝の伐採してほしい。

・若い人に活気がないと思います。若い人ややる気のある人にもっと応援して市に活気が出るような町おこしになるようなアイデアを集めた方が良い気がします。せっかくシーサイドベースが出来ても駅からは遠いし、他に楽しめる施設もない。・陸上競技場の所に新しくできた施設。よくわからず入りづらい。定期的にイベントなどを行って、近寄りやすい施設にして欲しい。

トンネルが歩行部分などせまくて危ないので自転車も通れる位ひろげて欲しい。

日頃の活動に感謝しております。別に市民会館、美術館があったら良いと思います。

利用されることがなくなった学校や保育園が今もそのまま残っているのはどうなのでしょう？もっと活用法を考えてみるか、処分して新しく利用できるようにしたら良いのではないのでしょうか？東条保育園の跡を見るたびにもの足りないと感じます。また、園庭に転がっている遊具を見るとリサイクルできないものかと感じます。

昔から利用している地元の公会堂が老朽化により崩壊寸前の状況にある。地元で取り壊すお金がなく、放置されたままになっている。

空家問題、厳しく追及し条例で罰金制度を作る。災害時危ない場所に空家がたくさん放置されている。災害になってからでは遅い。駅の陸橋やエレベーター内がいつも汚れている。鴨川駅は鴨川の顔なので美しく保っていきたい。若い夫婦に好まれるような場所にしていきたい。

■ 健診・検診、医療について 11 件

・高齢者の予防接種予診票 文字が小さくて読みづらい。自分の署名を書くのがやっとの方も多く、他の市町村は用紙に当人の名前、住所、生年月日を本人記入欄と、本人控えの両方に印字したものを個々に郵送しているので、そうしてくれると助かるとの声を聞いた。
婦人科の市の車内で受ける集団健診はとても劣悪ですごく嫌でした。集団ではなく、個人的に婦人科に予約して検診を受けれるようにしてほしい。その方が受ける人増えると思う。あの、車での健診は、最悪すぎてトラウマになりました。
医療等に関わるサービスについて良くわかりません。
高額療養費支給申請の件ですが、ありがたいことに少額(千数百円)でも申請用紙等が郵送されますが一定の条件を付け、配送連絡回数を減らすことで無駄な費用削減を望む。
亀田病院の皮膚科、眼科が混雑するので眼科クリニックなどがほしい。予約が全然取れず市外に行っているのでは何とかしてほしい。
健康診断などの封書が毎年送られてきますが、もう少し徹底し再度近くの医療施設などに行くようにされてはと思います。
医科・歯科共に無料検診ができると良いです。①亀田病院クリニックは、混雑、待ち時間が長過ぎます。②そこで国保 HP に行っていますが、耳鼻科、皮膚科が週一回のみで検査はできません。国保 HP の外来が充実すると助かります。現在中途半端に思えます。③歯科が不足です。国保・亀田共に予約したくとも3ヶ月先と言われています。開業医さんも歯科が少ないです。
毎月、病院に通っているため、医療費がかなりかかっています。医療面でいろいろ考えてもらいたいです。例えば、薬の値段を下げられなかったら診察代を下げる等どちらかの値段を安くしてほしいです。
健康、医療については充実しているので安心している。
鴨川市に眼科が亀田病院しかないのが不便です。鴨川市で眼科医を擁して持って開業してほしいです(住宅無料、給料は 1.5 倍、光熱費無料、ガソリン代無料、5 年間契約条件)。
医療関連で眼科がない事に驚きました。亀田に行きましたが医師不足でうちでは診れないかもと最初に言われ、驚きました。市内の評判と市外からでは全然違いました。バスも少なく不便さを感じました。質問の答えになっておらず申し訳ありません。良い町だとは思いますが。

■ 防災・防犯について 9 件

近年 大災害が増えてきて 避難場所への避難が増えてきましたが、東日本大震災以降 各自治体でペットの同行避難について案内が出てますが、能登半島地震でも多くの飼い主が ペットを避難所に連れて行っても飼い主と離されてしまうので 自家用車中でペットと生活していたそうです。鴨川市では、同行避難所は小湊の一カ所のみ、それもあくまで連れて行くだけの別場所にいさせなければならない。ちなみに災害時どうやって小湊以外の人がそこまで行けるのか？疑問です。 仙台や他自治体の中には学校教室をペット同室希望者と以外の方にわけていたそうです。鴨川でもそのようにしていただけたらと思います。私はもし災害にあい避難所でしばらく生活しなければならないとしたら、迷わず車の中でペットと過ごします。
・広報鴨川の柱を山側の方にももっと増やしてほしい。やまびこになって聞きにくい。・喋り自体、良く聞き取れない人が時々いる。大事な火事等の時は尚の事。

夜間の道が暗すぎる。治安が悪い。
災害、防犯の備えが以前より強める必要があるかと思います。前ページに記入した青パトカーが早期に走ってほしいです。橋、水道管、電信柱などの点検も。
1、埼玉県で発生した下水道管陥没事故に伴い市内の調査はしたのか？2、緊縛強盗が市内で発生、主要箇所に防災カメラを設置すべきである。3、災害時使用できる移動式トイレを確保できないか？4、水道管の老朽化を事前に調査対策すべき。思いつくまま書きましたが、回答はあるのでしょうか？
各地域ごとでラインによる安否(家族)確認ができるよう災害時等に備えて体制づくり
ドローンによる災害時に医薬品・食料などの配送支援。
担当外かも知れませんが、高齢者をターゲットにした凶悪犯罪や詐欺行為、万一の災害発生時の対応、について継続して対策をお願いしたいと思っております。
夜にウォーキングなどする時に思うのは、外灯が少ないことです。中高生も帰るのが遅くなり、自転車の灯りだけで帰ってくると結構暗いかな。

■ 自身のことについて 8 件

昔は回覧板があり、各家庭に情報が回っていましたが、今はそういう繋がりがないので、市がどんな事をしているのか情報が届かなくなっていました。ホームページなどで見れば分かりますが、みんなが見ているわけではないし、回覧板を回す事で近所の人との繋がりができていたのもあると思います。
自分は鴨川市から就職にて地方で生活し、昨年の夏に母の介護問題等で 47 年ぶりに転入してきた所ですので、今回のアンケートに関し、まだ実感がありませんので答えに不備が多々ある事と思います。申し訳ありませんでした。今後鴨川市での生活に早く対応致したい。
市に言っても仕方ないが私自身が高齢の為、今後マイナカードの更新や暗証番号の管理等が不安です。(今後も利用が増えると思われるが・・・！！)
ご近所の方を買い物に連れて行ってあげたい気持ちはあるが事故に遭ったら等を考えるとためらう気持ちがある。家に介護まではいかないが介助を要する家族もいるので気持ちが外に向きにくいということもあるかもしれない。アンケートを通じて、市政をあまり知らないことが知れた。
アンケートに答えましたが、実際のところ私自身も私の身の回りの人にも福祉のお世話になることが今までなかったので、職員の方々が日々どんな思いで仕事をして活動していらっしゃるのか分からない中での答えです。今後私にできる事は日々健康に留意して健康寿命を延ばして天寿を全うすることだと思っています。
市の行事にできる事は協力したいと思います。
生活のリズムはきちんとするように心がけている。地球環境が変わってきている事が、先を考えると恐ろしい。寒気にしても雨、雪、どうなることやら。
色々な事に取り組んでいることについてありがたく思います。でも取り組んでいる様子が私の目・耳・頭に入っていない事が自分自身情けないと感じています。自分の事で精一杯であり、地域でやっている事が見えてこない。どうしたら～に参加できるかな？やってあげられるかな？とは思っていますが、自分出来そうなが見つけられずいます。また、鴨川市の魅力をもっともっと広げ、たくさんの方々が来て下さるような街づくりを考えていただきたいですね。その為には町が健康、皆が健康である事が第一ですね。ご苦労様です。健康、福祉、医療にかかわる事についてたくさん発信してください。

■ 地域コミュニティ・集いの場について 7 件

老若男女が気軽に集まれる環境
鴨川にこども食堂はありますか。私は広場に在住していますが、憩いの場があれば子ども達も地域の方々と触れ合いながら私のような老人も手伝えたらいいなと思っています。旧東条保育園は手入れをして地域の方々の憩いの場(卓球ができたり、ラジオ体操の時間があったり自由にお茶を飲みながら地域の美化にも手伝いができたりとか……)そんなこども食堂もどきがあっても良いのかと考えております。
ご年配の方と若い人との歩み寄りによって、地域が発展していくことを望みます。年配の知人が「小学生や中学生の活動(2分の1成人式)(運動会)(合唱コンクール)を見られるようにしたりすると活力も増す。若い人達との交流にもなるのでは?その為に1つ市民ホールみたいのものは必要だ」と言っていました。自分も年配の方の知識と若い人の考え方を融合していくとプラスになるのかと思う。
子供達が安全で安心して遊んだり、集まり交流できる場所が欲しいです。雨の日や暑い日は子供達がからだを動かせる広い体育館のような所の解放をしてほしい。
・私たちの町内一斉にやっていることは各々の年度初めの又は終わりの集会、そこで組長の話から行事、会計報告、近況のお話が多く出ます。雑談でも楽しく終了。このような集会はずっと続けて良いと思う。時間的には夕刻ですが、市の方で市民のお話を聞く良いチャンスではないかと思えます。・祭りは若者から年寄りまで集まり、良い行事の一つであります。活気づく時です。・小湊さとうみ学校では、良い取り組みをしていると思いました。学校空跡地を再利用又は、他施設の跡地利用活用したイベント他、地元、他民が集まれるチャンスがあれば活気づき色々な面に自然とプラス傾向になるのではないのでしょうか。・個人的には、市内に大きな中心的な施設が出来ると良いかな?と理想してます。カルチャーセンター、生涯学習センター健康センター行政センターが一括している施設、食品は大きな店が近場にあるが、地域には減ってきている。移動販売が助かっている。他の人も利用しているので良い。サロンも利用できて色々とりーダーが催してくれて情報、健康等お話ししたり、聞けたりと参加して良かった。男性もサロンあるのですか?
この地域に自治会(町内会といったもの)はないのでしょうか?もしあるとするならば、これに行政から支援等が支給されているのか?この自治会は市として一定の協議方法、通報、周知というものの基準の様なものが示されているのでしょうか。当地域には共有地の共同所有者が各地域で物事を全て仕切っているようです。他は違うのでしょうか。
公民館の老朽化や耐震等の問題で、順次閉鎖するとの事、中央公民館等、継続する場所もありますが、今まで通り行事の継続をお願いしたい。会場の問題については一考あり。参加することにより、孤立しない、会話のできる、健康に気をつける等……により、医療費の削減になると思う。皆が活動できる施設が少ない。

■ 健康への取り組みについて 6 件

健康増進のため、市民プールがあると嬉しいです。
鴨川市独自の開発の歩数計アプリなどで、目標が達成できたら鴨川産の食べ物がもらえるなど 市民がゲーム感覚で楽しんで取り組める仕組みがあったら参加したいと思う。
少子高齢化が進む中、健康寿命を伸ばしていくことが鴨川市においても大切で、予防医学的アプローチが重要である。その点でライフスポーツを推進していくことが大切であり、せっかく地域スポーツコミッション「ウェルネススポーツ鴨川」が鴨川市にあるのであれば、彼らが行っている市民向けの運動機会の提供、健康推進活動について、行政も連携、経済的支援などを行い、活用して欲しいと思う。

・色々な病気がありますが、癌は精神的にも経済的にも長期で苦しみます。ウィッグ代の助成金などあればとても助かると思います。
今年になり腎臓機能が低下している、塩分を減らさないと透析になる。そう言われ、自分の努力だけでは塩分 3%位はとても無理なので、ウェルネスダイニングやわたみなどの冷凍弁当を注文していますが、塩分 3%以内はいいけど、ボリュームが少なすぎて料金が痛い。昼は抜くようにしても日に 5%くらいがやっとなら、朝を食べると 5%くらいになる。弁当は 5 日～20 日分を一回に届けてもらうが、メーカーは製造原価を下げたいからか弁当の出来、等にボリュームがない。市が補助金を出して鴨川市民は一律 400～500 円位で体に優しい宅配弁当を企画してくれたらとてもありがたいです。ついこの前一ヶ月程わたみの毎日届けてくれる弁当を取ってみましたが、日によってメニューが違って、美味しいけど盛り付けが日によってバラバラで、少なくない日と多い日の差が激しいので取るのを止めました。本気で塩分を減らそうと思った場合、一回 3%未満の宅配弁当が確かだと思います。鴨川市で宅配補助をしてボリュームがあって美味しい弁当を届けてください。実現しそうな地域の営業活動(自転車で行けるなら)くらいやる気があります。自分も病気だから言えるのかもしれないけど、楽しみは食事(夕食)とネット閲覧が最も大切。
菜の花体操のような市民全体で老人ができるような体操メニューを作り、定期的に市内全土に音楽を流してその時間だけは市民が身体を動かすことになると思う。

■ 遊び場・公園等の整備について 6 件

・飲食店を禁煙にしていきたいです。 ・公園を充実していきたいです。
子ども達が安心して遊べる場所が地区ごとに必要です。 東条地区には市立の子ども園がありません。OURS の入園に人数制限があり、東条在住でも入園できない事があります。 他地区や市外からの入園より優先すべきでは？ 経済的に困難な方達への支援は必要な事ですが支援を受ける方が自立できる形での支援であるべきです。
皆が利用できるお店や観光、ごはん屋、公園など遊べる場所など増やして欲しい。アパートなどの家賃が高い。鴨川にいても楽しいと感じない。若い人がいないから、楽しくないと思う。
子供が遊べる環境づくりをして欲しい。
散歩でゆっくり休める(ベンチ)がほしいです。老いて歩いています。海岸ではゆっくり休む所がほしいです。※出張所の利用活動の場所があると良い。
汐留公園にかかる橋が通行止めなので早く直してほしいです。毎日散歩していたので不便を感じています。

■ ボランティアについて 2 件

今現在ボランティア(月一回独居老人へのお弁当)をさせていただいています。配っているとみんなが“美味しい”とか“珍しいものありがとう”と、言っていただきます。本当にうれしく思います。又、やりがいがあり沢山作ってしまうことがあります、一言ありがとうと言ってくれるとうれしいですね。(ちょっと一言)
私、猫が好きです。もちろん犬や動物も好きです。特に猫の保護活動等、避妊、去勢等興味あります。鴨川市はその辺の取り組みが弱い。そのような取り組みがあれば、参加したい。

■ 子育て環境について 2 件

東町から東条小学校までの道をこどもに歩かせるのが不安でならない。 産前産後の保育園利用について、産後 3 ヶ月は短かすぎる。
子供の教育に力をいれてほしい。

■ その他 14 件

生活保護を受ける枠組の緩和。
鴨川市は、無駄な税金を使いすぎるので、ちゃんとした税金の使い道を考えて下さい。特に、最近だと西条の JA ガソリンスタンドの道から長狭街道の道にでるショートカットの道が出来上がりましたが、あれを作ったのは、無駄な税金です。もっと介護で働いている人達の給料アップの為に介護を必要としている人達の為に、鴨川市をもっと盛り上げて行く為、鴨川市の税金を上手く使っていく事が、一番大切だと思います。介護に関しては、高齢者の人達と若い人達との交流の場を1つ設けたらいいと思います。後、若者の人達に、理解して貰える体験とかも、出来たらいいと思います。
先日日曜朝の NHK のドキュメント番組では、サッカーなでしこ1部リーグで 2023 年のオルカ鴨川の次の昨年、1部昇格1年目で優勝した鴨川市より小さな町の宮崎県のチームでは練習や試合以外は地域の高齢者の買い物や見守り、授産所の作業指導員と活躍して町に溶け込んだ活動をしていて、オルカ鴨川の選手よりも住民と選手の距離も近く、町ぐるみでチームを応援していました。なでしこリーグはアマチュアなので、こちらはボランティアとはいきませんが、保健センター職員として採用して活躍してもらえれば人手不足の足しになるのではないのでしょうか？アマチュアのサッカー界からプロに上がる選手はひと握りですので、引退する選手も多いですし、セカンドキャリアとして福祉の世界に残り鴨川市に若い力が残ってくれるのは有り難いと思います。
和泉地区は、猿の出没で皆恐怖を覚えています。2 階にも上がってきて悪さをします。現在は、20～30 頭いると思われます。ちなみに、家は男金神社の麓です。助けて下さい。
知ろうとしない自分も悪いと思うが、何をやっているのかわからない行政は意味無いと思う。
市役所主導の運動はうまくいかない！
特にありません。忙しいと思いますが、これからも宜しくお願いします。
資料作りご苦労様でした。私は福祉協議会の人達と少しかわりがありいろいろな情報をいただいているので、このアンケートもよくわかりましたが、なにも知らない人はどうとらえたか、いい結果はえられなかったのではと心配します。鴨川市は高齢化が進み独居や老人夫婦と若い人達は都会にでてしまいましたが、でも子ども達が今いるので、遺産相続等あんまり心配している人は少ないと思われますが、これからやることのない農業農地はどんどん荒れていく事でしょう。都市中心となりどうなることか心配されます。
日々の活動で苦労様です。
お世話になりありがとうございます。よろしくお願いいたします。
行政と住民の協働体制が大切と考えています。
現状を維持していければ良いと思います。過ごしやすい地域を作って下さりありがとうございます。
外でゴミ(枝や葉っぱ)、野焼きをやめていただきたい。呼吸器系に疾患を持っている方は重症化しやすい。子どもも同様。喘息の悪化、咳が酷くなったりする。健康被害が出る。それだけでなく、洗濯も干せない。子どもが外で遊べない。ストレス。

生物が生き続け未来へバトンタッチしていくためには、自然の保護、山～川～海の繋がりを無視することは不可能であり、基本は山(森林)の保護と考えられます。過去から連綿と続く自然の流れを途絶えてしまうことは大きな損失である事は周知の事実です。もとに戻す事は困難です。目をつぶることなく、流されることなく、鴨川市の未来のためにも、広大なソーラーの設置に反対します！！自然こそ鴨川市の財産であり、住民の生命、健康に関わる一番の基本、最も重要で取り組むべき課題。

第 3 章 調査票

鴨川市健康福祉推進計画策定のための

市民アンケート調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

鴨川市では、住み慣れた地域でいつまでも健康で、安心して生活できる地域づくりを目指し「第3期鴨川市健康福祉推進計画」のもと、市の健康・福祉施策の推進に取り組んでおります。このたび、第3期計画の期間が令和7年度に終了することに伴い、新たな「第4期鴨川市健康福祉推進計画」の策定を予定しています。

つきましては、計画策定時の基礎資料として、皆さまのご意見、ご要望やこれまでの取り組みに対する評価について幅広くお聴きするため、健康・福祉全般の調査を実施します。

この調査票は、鴨川市にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に2,000人を選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年2月

鴨川市長 長谷川 孝夫

《ご記入についてのお願い》

- 1. アンケートは、必ずあて名の方がお答えください。
- 2. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 3. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印(→) など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。

ご記入が済みしましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて **3月3日(月)** までにお近くのポストへご投函ください(切手を貼る必要はありません)。

また、記入上の不明な点や調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【連絡先】鴨川市 市民福祉部 福祉課 電話 04-7093-7112 (直通)
FAX 04-7093-7115

【最初に、あなたやあなたのご家族のことについておたずねします】

問1 あなたの性別はどれですか。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. その他・こたえたくない
-------	-------	----------------

問2 あなたの年齢はどれですか。(○は1つ)

1. 18～19歳	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳	4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳	6. 60歳～69歳	7. 70歳～79歳	8. 80歳以上

問3 ご家族はあなたを含めて何人ですか。(○は1つ)

1. 1人	2. 2人	3. 3人
4. 4人	5. 5人	6. 6人以上

問4 あなたの世帯構成はどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦ふたり暮らし
3. 親と同居(二世帯)	4. 子どもと同居(二世帯)
5. 子どもと親又は孫の三世帯同居	6. その他の世帯

問5 あなたが住んでいる地区はどこですか。(○は1つ)

1. 田原地区	2. 東条地区	3. 西条地区
4. 鴨川地区	5. 大山地区	6. 吉尾地区
7. 主基地区	8. 江見地区	9. 曾呂地区
10. 太海地区	11. 小湊地区	12. 天津地区

問6 現在、あなたのお住まいは次のどれですか。(○は1つ)

1. 一戸建て持ち家(家族名義を含む)	2. 分譲マンション(家族名義を含む)
3. 一戸建て借家	4. 賃貸マンション・アパート
5. 県営・市営住宅	6. 公団・公社の賃貸住宅
7. 社宅・公務員住宅・社員寮	8. その他(具体的に:)

問7 あなたの職業は、次のどれですか。(○は1つ)

1. 会社員	2. 公務員・教員・団体職員
3. 農林漁業	4. 農林漁業以外の自営業
5. 家事専業	6. パート・アルバイト
7. 学生	8. 無職
9. その他(具体的に:)	

問8 鴨川市にあなたは何年住んでいますか。(○は1つ)

1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10～20年未満	5. 20年以上	

【地域福祉についておたずねします】

問 9 あなたは、普段ご近所の人との程度のつきあいをしていますか。(○は1つ)

1. ほとんど顔も知らない 2. 顔は知っているが、声をかけたことがない 3. 顔を合わせれば、あいさつをする 4. 留守の時に荷物を預かったりする 5. 2～3日留守にする時は、声をかける 6. 常備品が切れた時など、物の貸し借りをすることがある 7. 家族ぐるみで親交を持ち、時々家を行き来する 8. その他(具体的に：)

問 10 次の項目にお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	はい	いいえ	地域にない、 わからない
ア. 地域の子ども会、保護者会・PTAなどの行事に参加している	1	2	3
イ. 地域の防犯パトロール・子どもの登下校の見守りなどに参加している	1	2	3
ウ. 地域の防災訓練に参加している	1	2	3
エ. 自治会・区の行事に参加している	1	2	3
オ. 消防団や青少年健全育成の行事に参加している	1	2	3
カ. 地域の子どもたちに声かけしたり、高齢者や障害者の話し相手になったりしている	1	2	3
キ. 地域の高齢者や障害者で、外出が困難な方のために買い物や通院などを手伝っている	1	2	3
ク. 地区社会福祉協議会の行事に参加している	1	2	3
ケ. 老人クラブに参加している	1	2	3
コ. サークル活動、通いの場など地域の方々が集う場に参加している	1	2	3

問 11 地域における人とのつきあいや地域との関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい 2. 隣近所で気軽に挨拶したり、声をかけあったりしたい 3. 住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加していきたい 4. 隣近所の協力はあてにできないので、自分のことは自分でする 5. 時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わればよい 6. 自分の生活・時間を大切にしたいので、地域的な関わりは持ちたくない 7. その他(具体的に：)

問 12 あなたの近所や地域には、次のような気にかかる人(支援が必要そうな人)がいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者のみの世帯(ひとり暮らし含む) 3. 病氣や障害を抱えている人 5. 経済的に生活に困っている人 7. 虐待が心配な障害者 9. ヤングケアラー* 11. 地域との関わりがない人 13. その他(具体的に：)	2. 認知症の人 4. ひきこもりや閉じこもりの人 6. 虐待が心配な子ども 8. 虐待が心配な高齢者 10. ごみ屋敷に暮らしている人 12. 気にかかる人はいない)
---	---

*ヤングケアラー…家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者

問 13 最近、高齢者の孤独死や児童虐待などのニュースを聞くことがあります。もし、あなたの周辺でそのようなことが起きるおそれがある状況を感じたら、どのように対応しますか。(○は1つ)

1. 直接自分で様子を見るために訪問する 2. 民生委員・児童委員に連絡する 3. 自治会役員に連絡する 4. 市役所、警察、児童相談所等に連絡する 5. しばらく様子を見る 6. 関わりたくないのでもししない 7. わからない 8. その他(具体的に：)
--

問 14 現在、あなたの住んでいる地域の中で、どのようなことが問題だと思われますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. あいさつをしない人が多い	2. 緊急時の対応体制がわからない
3. 犯罪の増加	4. 交通マナーの乱れ
5. 道ばたのごみの増加	6. 子どもの見守りがなされていない
7. 高齢者だけの世帯の支援がなされていない	8. 買い物に困っている
9. 隣近所との交流が少ない	10. 地域の活動に参加する人が少ない
11. 地域の活動が少ない	12. 障害者に対する理解が不足している
13. 交通が不便	14. 特にない
15. その他（具体的に： ）	

問 15 現在、不安に感じていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自分や家族の健康	2. 自分や家族の老後
3. 子どもの教育や将来	4. 介護に関すること
5. 経済的な問題	6. 住宅・住まいに関すること
7. 地域の治安、防犯	8. 災害に関すること
9. 地域や職場での人間関係	10. その他（具体的に： ）
11. 特に不安はない	

問 16 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。（○は1つ）

1. ある	2. ない
-------	-------

《問16で「1」とお答えの方に》
問 16-1 ボランティア活動に参加した理由として最もあてはまるものは何ですか。
(○は1つ)

1. 自分の成長に繋がるから	2. 身近な地域のために役立ちたいから
3. 楽しく興味のある内容だから	4. 付き合いで仕方なく
5. 老後のいきがいくつくりとして	6. 人間関係の幅を広げたい
7. 自分の健康づくりのため	8. その他（具体的に： ）

問 17 今後、あなたはボランティア活動をしたいと思いますか。（○は1つ）

1. ぜひ活動したい	2. できれば活動したい
3. 活動したくない	4. わからない

問 18 どのような条件であれば、地域活動などに参加したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 活動情報の提供がある	2. 友人などと一緒に参加できる
3. 身近なところで活動できる	4. 活動時間や曜日が自由に決められる
5. 気軽に参加できる	6. 適切な指導者やリーダーがいる
7. 特技や知識が活かせる	8. 活動中に事故等があったときの保険がある
9. 身体的な負担が少ない	10. 経済的な負担が少ない
11. 特にない	12. その他（ ）

問 19 新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、現在のあなたの日常生活はどのような変化がありましたか。（○はそれぞれ1つ）

	増えた	変わらない ・該当なし	減った
ア. 通勤・通学の頻度・回数	1	2	3
イ. 買い物物の頻度・回数	1	2	3
ウ. 友人・知人などとの交流機会	1	2	3
エ. 通院の頻度	1	2	3
オ. 運動や体を動かす頻度・回数	1	2	3
カ. 趣味や余暇活動の頻度・回数	1	2	3
キ. ボランティアや地域活動の頻度・回数	1	2	3
ク. デジタル機器の使用時間	1	2	3

【福祉のまちづくりについておたずねします】

問 20 あなたは、福祉について困ったとき、誰に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族	2. 友人・知人
3. 近所の人	4. 職場の人
5. 民生委員・児童委員	6. 医師・歯科医師・看護師
7. 病院等のソーシャルワーカー	8. 市役所の担当課
9. 社会福祉協議会*	10. 保健所
11. 障害者基幹相談支援センター*	
12. 福祉総合相談センターや居宅介護支援事業所等のケアマネジャー・相談支援専門員	
13. 子ども家庭センター・子育て支援室	14. 認定こども園・保育園・幼稚園・学校
15. 福祉施設	16. 相談相手がいらない
17. どこに相談したらよいかわからない	18. その他（具体的に： ）
19. 相談すべきことはない	

*社会福祉協議会…社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を図ることを目的とした社会福祉法人。
*障害者基幹相談支援センター…障害者の相談支援について鶴川市において中核的な役割を担う相談窓口。（鶴川市市民福祉部福祉課）

問 21 あなたは、福祉サービスに関する情報をどの程度入手できていると思いますか。
(○は1つ)

1. 十分に入手できている	2. ある程度入手できている
3. あまり入手できていない	4. ほとんど入手できていない
5. 入手する必要がある	

問 22 あなたは、福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族	2. 近所・知り合い
3. 市役所の窓口や広報紙	4. 民生委員・児童委員
5. 社会福祉協議会	6. 保健所
7. ボランティア	8. 障害者基幹相談支援センター
9. 医療機関	10. 学校・職場
11. 福祉施設	
12. 福祉総合相談センターや居宅介護支援事業所等のケアマネジャー・相談支援専門員	
13. 地域の回覧板	14. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
15. インターネット・SNS	16. その他(具体的に：)
17. 今は福祉の情報は必要ない	18. 入手できていない・入手先がわからない

問 23 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。(○は1つ)

1. 自分自身の身近な問題として関心がある
2. 自分自身の身近な問題としてよりも、社会的な問題として関心がある
3. 関心がない

問 24 鶴川市は、高齢者・障害者・子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。
(○は1つ)

1. 住みやすい	2. ぶつう
3. 住みにくい	4. わからない

《問 24 で「3」とお答えの方に》

問 24-1 どのような点が住みにくいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域住民の理解や協力が少ない
2. 交通機関が不便・利用しにくい
3. 買い物などが不便
4. 障害のある人や子どもが利用しやすい公共施設が少ない
5. 空気、騒音、日照など自然環境がよくない
6. 道路の段差が多かったり、歩道が整備されていないなどのため外出しにくい
7. 身近に障害のある人の働く場所が少ない
8. 利用しやすい医療機関が少ない
9. 機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない
10. 障害のある人などが日常的に利用できる施設が少ない
11. 親子で遊べる場所がない
12. その他(具体的に：)
13. わからない

問 25 あなたは、次の権利擁護*の制度や事業について、どの程度知っていますか。
(○はそれぞれ1つ)

	利用している (していた)	利用はして いないが、 利用の仕方 は知っている	利用はして いないが、 聞いたことが ある程度	知らない
ア. 成年後見制度	1	2	3	4
イ. 任意後見制度	1	2	3	4
ウ. 日常生活自立支援事業	1	2	3	4
エ. 法人後見	1	2	3	4
オ. 市民後見	1	2	3	4
カ. 安房地域権利擁護 推進センター	1	2	3	4

*権利擁護…自ら意思を決定することに困難を抱える高齢者や障害のある方の財産の管理や日常生活上の法律行為をサポートし、安心してその人らしい生活が続けられるよう支援すること。

問 26 あなたが、もしも成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 自分の子どもやその配偶者	3. 自分の兄弟姉妹
4. 弁護士	5. 司法書士	6. 社会福祉士
7. 行政書士	8. 社会福祉法人	9. 市民後見人
10. わからない	11. その他(具体的に：)	

問 27 市では鶴川市社会福祉協議会を始め関係機関と協働し、権利擁護が必要な方を身近な市民の方々が支える体制作りを進めています。あなたは、認知症や障害のある方を地域の方々が一定のサポートを受けながら市民後見人として支えることについてどのように思いますか。(○は1つ)

1. 市民後見人として支援をしていきたい
2. 支援の必要性は感じるが、自分ではできない
3. 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)が支援するのが望ましい
4. その他(具体的に：)

問 28 地域で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。
(○は1つ)

1. 自分たちの生活に関わることから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
2. 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
3. 住民と行政の協働で解決したい
4. 行政に解決してもらえるように要求していきたい
5. その他(具体的に：)

問 29 経済的な理由により生活に困っている人を地域で支えることについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 直接的な支援に関わりたい(家事手伝い、学習支援など)

2. 間接的な支援に関わりたい(食品、生活必需品の寄付など)

3. 関わりたい気持ちはあるが自分の生活で手いっぱいいて関与れない

4. 支援は必要だと思うが、行政が支援すればよい

5. 本人の問題なので、本人に任せておけばよい

6. その他(具体的に:)

問 30 非行や罪を犯した人の立ち直りや再犯防止に何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと

2. 就業できるように学習支援や資格取得の支援を行うこと

3. 支援する窓口を充実すること

4. 犯罪や非行の特性に応じた改善のための支援をする団体との連携強化

5. 刑期を終えた後などに住むことができて居場所を提供すること

6. 学校等と連携した就学支援を行うこと

7. 住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動を行うこと

8. 犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をすること

9. その他(具体的に:)

問 31 地域共生社会推進の観点から、鴨川市においては平成 24 年度より福祉の総合相談窓口として福祉総合相談センターを設置しています。福祉総合相談センターをご存じですか。(○は1つ)

1. 名前も設置されている場所も知っている

2. 名前は聞いたことがあるが設置されている場所は知らない

3. 名前も設置場所もしらない

問 32 鴨川市社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのため、地域の皆さんを中心に、ボランティア、健康・福祉関係者、行政と協働し、地域福祉活動とともに考え実行していく社会福祉法人です。あなたは社会福祉協議会をご存知でしたか。(○は1つ)

1. 名前も活動内容も知っている

2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない

3. 名前も活動内容も知らない

問 33 障害のある人や、高齢者、妊産婦等が支障なく外出できるような福祉のまちづくりの整備が課題となっていますが、次の施設の状態についてどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	整備 されている	整備されて いるが 十分ではない	ほとんど 整備 されていない
ア. 公園や公共施設等のスロープ設置	1	2	3
イ. 歩道の整備	1	2	3
ウ. 道路等の段差の解消	1	2	3
エ. エレベーターの設置	1	2	3
オ. 音の出る歩行者信号機	1	2	3
カ. 障害者等に配慮したトイレの整備	1	2	3
キ. 点字ブロック	1	2	3
ク. 障害者用駐車スペース	1	2	3

問 34 今後、地域福祉活動を推進していく上で、地域住民として、どのような取組が必要であるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 福祉施設の運営への参加

2. 介護をしている人や介護を必要としている人への支援

3. 病院への通院等の際の外出支援

4. スポーツ、趣味活動への援助

5. 生涯学習のための援助

6. 退職後の再就職を行うための援助

7. 高齢者と若い世代の交流活動

8. 安全で快適な居住環境整備のための活動

9. 福祉問題に関する話し合い

10. 若い母親への子育て支援活動

11. 孤立した人やひきこもりの人への支援

12. 青少年健全育成活動

13. 自治会など地域組織の活性化

14. 誰もが自由にふれあえる場づくり

15. 生きがいづくり

16. その他(具体的に:)

【災害時に対する備えについておたずねします】

問 35 あなたは、災害が起きた時の対応（連絡のとり方や避難の方法など）について、自分以外の誰かと取り決めていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|-------------------------------------|
| 1. 同居の家族と | 2. 比較的近くに住む家族・親族と |
| 3. 隣近所の人と（自主防災組織の人を含む） | 4. 利用している福祉施設と |
| 5. 特に誰とも取り決めていない | 6. その他（具体的に： ） |

問 36 災害時に、高齢者や障害のある人など避難に配慮を必要とする人が一人でも多く助かるよう、そうした要配慮者の住所や連絡先などの個人情報や地域の関係者で共有することに対してどのように思っていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| 1. 抵抗があり、利用したいと思わない | 2. 生命に関わることなので必要である |
| 3. わからない | 4. その他（具体的に： ） |

問 37 あなたは、災害が起こった場合に備えてどのような準備をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している |
| 2. 食料や飲料水を準備している |
| 3. 簡易トイレを準備している |
| 4. 常備薬・入れ歯や補聴器などないと困るものを準備している |
| 5. 避難する場所を決めている |
| 6. 家具の転倒防止をしている |
| 7. スリッパやくつなどをいつでも使えるように置いている |
| 8. 貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している |
| 9. 自宅などに耐震補強工事をしている |
| 10. 市発行の防災マップで防災情報を確認している |
| 11. 特に準備していない |

問 38 災害発生時に住民同士が協力しあえるようにするために、どのようなことが必要だと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. 地域での定期的な防災訓練 | 2. 地域での自主防災組織づくり |
| 3. 福祉事業者や行政との連携 | 4. 日頃からの近隣との関係づくり |
| 5. ボランティア活動の活性化 | 6. 特にない |
| 7. その他（具体的に： ） | |

【健康状態と健康への備えについておたずねします】

問 39 あなたは、現在の健康状態をどのように思われますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 健康である | 2. どちらかといえば健康である |
| 3. どちらかといえば健康でない | 4. 健康でない |

問 40 あなたは、ふだんから健康に気をつけていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 気をつけている | 2. 少しは気をつけている |
| 3. あまり気をつけていない | 4. 気をつけていない |

問 41 あなたは、過去1年間に健康診断（健康診査）を受けましたか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 市で実施している集団健康診査 | 2. 市内の医療機関で実施している市の個別健康診査 |
| 3. 人間ドックなど | 4. 職場の健康診断 |
| 5. 学校や福祉施設の健康診断 | 6. その他の場所での健康診断 |
| 7. 健康診断は受けていない | |

《問 41で「7」とお答えの方に》
問 41-1 健康診査を受けていないのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 入院中または治療中だったから |
| 2. 健康に自信があるから |
| 3. 検査結果が怖いから |
| 4. 検査の該当年齢でなかったから |
| 5. 身近な場所では受けられないから |
| 6. 健康診断の受け方や日程が分からなかったから |
| 7. 受診しなくても自分で判断できと思うから |
| 8. 健康診断の料金が高いから |
| 9. 忙しくて受ける時間がなかったから |
| 10. 受けようと思っていたが忘れてしまったから |
| 11. 健康診断の結果を信用することができないから |
| 12. 特に理由はない |
| 13. その他（具体的に： ） |

問 42 適正体重を維持していますか。（○は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【 BMI＝体重(kg)÷身長(m)² 】 ※18.5～25:適正体重(標準体重)

問 43 あなたは、ふだん朝食を食べますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | 2. 週4～5日食べる |
| 3. 週2～3日食べる | 4. ほとんど食べない |

問 44

主食・主菜・副菜を組合わせるなどバランスの摂れた食事を摂っていますか。
(○は1つ)

1. ほとんど毎日摂っている

2. 週に4～5日程度は摂っている

3. 週に2～3日程度は摂っている

4. ほとんど摂っていない

問 45

普段の食生活で心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 塩分を控える

2. 炭水化物(ご飯・パン・芋類など)の適正摂取

3. 油・油脂類の適正摂取

4. 肉や魚を多くとる

5. 野菜を多くとる

6. 乳製品をとる

7. 量を腹八分目にする

8. 規則正しい食事をする

9. よく噛みゆっくり食べる

10. 地元でとれる野菜等を食べる

11. 食べ物を無駄にしない

12. その他()

問 46

外食や食品を購入する時に、栄養成分表示(カロリー等)を参考にしていますか。
(○は1つ)

1. いつもしている

2. 時々している

3. ほとんどしていない

4. 栄養成分表示を知らない

問 47

あなたは、日頃から、健康の維持増進のために、意識的に運動(ウォーキングの場合30分程度)をしていますか。(○は1つ)

1. 毎日している

2. 週3・4回している

3. 週1・2回している

4. 月に数回している

5. 以前はしていたが、今はしていない

6. 全くしたことがない

問 48

日常生活における家事、通勤・通学、労働などに伴う活動として、いつもより10分程度身体を動かす(買い物、洗濯、掃除、徒歩・自転車通勤、階段を使う)ことが健康に良いとされています。あなたは、日頃から身体を動かすように心がけていますか。(○は1つ)

1. いつもしている

2. 時々している

3. ほとんどしていない

4. 全くしていない

問 49

あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

1. 吸う

2. 以前は吸っていたが、今は吸わない

3. 吸ったことがない

問 50

他人が吸っているたばこから立ち上がる煙や、吐き出された煙を吸い込むことを、受動喫煙といいます。あなたは、この1か月間に、望まずに他人が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

問 51

あなたはお酒(ビール、日本酒、洋酒など)をどの程度飲みますか。(○は1つ)

1. 毎日飲む

2. 週に5～6日飲む

3. 週に3～4日飲む

4. 週に1～2日飲む程度

5. 月に1～2日飲む程度

6. 全く飲まない

問 52

何でもよく噛んで食べられますか。(○は1つ)

1. 1合未満

2. 1～2合未満

3. 2～3合未満

4. 3合以上

問 53

この1年以内に歯科健診を受けましたか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

問 54

過去1か月間に、心理的な問題(不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり)にどれくらい悩まされましたか。(○は1つ)

1. ぜんぜん悩まされなかった

2. あまり悩まされなかった

3. 多少悩まされた

4. 大いに悩まされた

問 55

あなたは、睡眠による休養がとれていると思いますか。(○は1つ)

1. 十分とれている

2. 十分ではないがとれている

3. あまりとれていない

4. 全くとれていない

125

14

【かかりつけ医についておたずねします】

問 56 あなたには、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談に応じてくれたりする、かかりつけのお医者さんはいますか。（○はそれぞれ1つ）

ア. かかりつけの医師	1. いる	2. いない
イ. かかりつけの歯科医師	1. いる	2. いない

【鴨川市の健康・福祉についておたずねします】

問 57 あなたは、鴨川市の健康・福祉の各種施策の現状について、どの程度、満足していますか。最もお考えに近いものにそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
ア. ライフステージに応じた健康づくり	1	2	3	4	5
イ. 生活習慣病の発生予防と重症化予防の徹底	1	2	3	4	5
ウ. 栄養・食生活による健康増進（食育の推進）	1	2	3	4	5
エ. 身体活動・運動による健康増進	1	2	3	4	5
オ. 休養・こころの健康づくり（自殺予防、相談支援）	1	2	3	4	5
カ. 喫煙・飲酒対策の充実	1	2	3	4	5
キ. 歯と口腔の健康づくり	1	2	3	4	5
ク. 地域連携・協働による健康をささえる基盤づくり	1	2	3	4	5
ケ. ふれあい・ささえあいのある地域づくり（福祉啓発、担い手の育成、市民活動情報の発信等）	1	2	3	4	5
コ. 地域づくりを支える包括的な仕組みづくり（総合相談支援、保健・医療・福祉の連携など）	1	2	3	4	5
サ. 安心して生活できる環境づくり（見守り、生活困窮者支援、移動支援など）	1	2	3	4	5
シ. 災害等の非常事態に備える体制づくり	1	2	3	4	5
ス. 権利と利益を守る体制づくり	1	2	3	4	5

問 58 問 57 のア～スの中から、今後特に重要であると思う項目を3つまで選び、下の枠内に項目の番号を記入してください。

--	--	--

問 59 市では、健康・福祉・医療等に関わるサービスについて、市民の皆さまとともに、よりよい仕組みを作り上げたいと考えております。市に対する要望や市民の皆さまが取り組んでいただけたことなどがございましたら、ご自由にお書き下さい。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票のご記入が завершиましたら、3月3日（月）までに
同封の返信用封筒でポストへご投函ください。（切手不要）

鴨川市健康福祉推進計画策定のための
市民アンケート調査 調査報告書

発行：令和7年3月

編集：鴨川市 市民福祉部 福祉課

電話 04-7093-7112（直通）

FAX 04-7093-7115

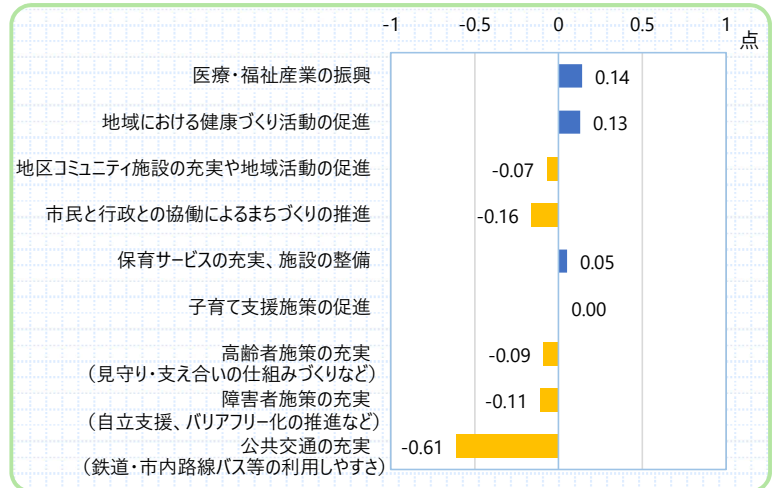
アンケート調査からみる状況

令和6年度に行った「鴨川市まちづくりアンケート」から、健康・福祉にかかわる結果を抜粋。

●【施策満足度】健康づくりはプラス評価、コミュニティや福祉はマイナス評価傾向

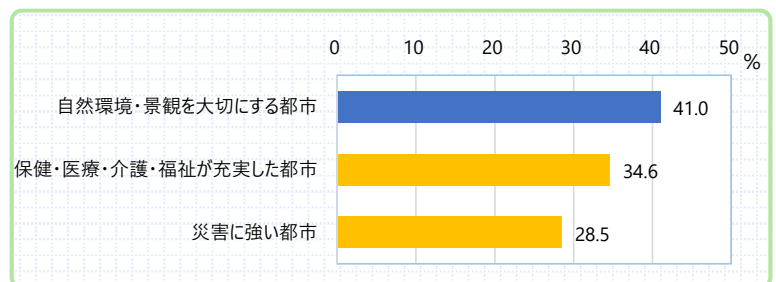
市の37施策の満足度を5段階評価で伺った結果について、保健・地域福祉分野を抽出したところ、「医療・福祉産業の振興」と「地域における健康づくり活動の促進」はプラス評価となった。

一方、コミュニティ活動、協働の取り組みや個別福祉分野の評価はマイナス評価となるほか、日常生活に大きく関りのある「公共交通の充実」は不満度が最も高い結果となる。



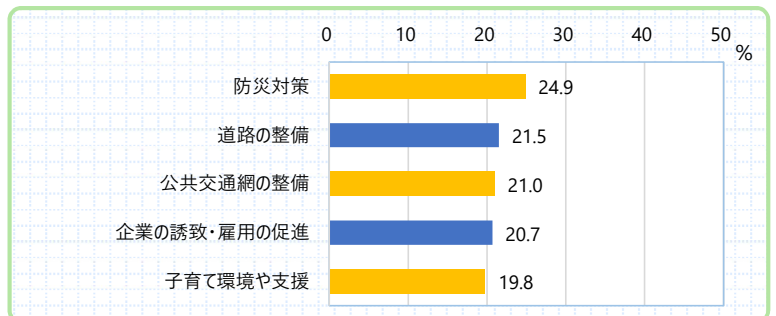
●【鴨川市の将来イメージ】「保健・医療・介護・福祉が充実した都市」が2位

鴨川市の将来イメージは、「保健・医療・介護・福祉が充実した都市」が2位となったほか、「災害に強い都市」が3位であった。



●【今後10年で力を入れる取り組み】福祉分野では「子育て支援」が1位

鴨川市が今後10年間で特に力を入れる取り組みについて、結果の上位5項目をみると、福祉分野では「子育て環境や支援」が最も多くなっている。また、「防災対策」「公共交通の整備」といった、地域福祉と関わりの深いテーマも上位。



●【ほか、市民からの声】



毎日生活を送らなければならない時、気持ち良く過ごすにはどうしたら良いかを考えた時、隣人、地域の人々の優しさ、温かさ、親切さが絶対必要だと思います。

鴨川市が今考えなくてはいけないのは、高齢者の問題です。お店が無い地域が多く、孤立している。公共交通も減り、買い物や病院に行くことがとても困難になってきている。

今後のスケジュール(案)

	令和7年度								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
現状分析・課題把握									
統計的把握									
国及び県の動向、他市等の先駆的取組の状況									
上位計画及び関連計画の動向把握									
住民意識調査結果の分析									
事業の進捗状況・課題把握									
地域ニーズ・課題の把握									
調査設計・企画									
インタビューの実施									
とりまとめ									
計画書の作成									
骨子案の作成(基本方針等の検討)									
施策の検討									
計画素案の作成									
パブリックコメントの実施									
計画書・概要版の編集・校正									
計画書・概要版の印刷									
会議における検討・意見聴取									
地域福祉推進会議(4回)		●		●		●		●	
健康づくり推進協議会(4回)		●		●		●		●	
合同会議(2回)				●		●			

日程	主な内容
第1回会議(8月26・27)	計画策定にあたって ・ 今後のスケジュール
第2回会議(10月)	計画の方向性・骨子案の検討
第3回会議(12月)	計画素案の検討
第4回会議(2月)	パブリックコメント結果の報告 ・ 計画案の検討

※現時点でのスケジュールです。今後、変更される場合もあります。

《団体名》

《役職》《代表者名》 様

鴨川市長 佐々木 久之

鴨川市健康福祉推進計画策定のための関係団体インタビューの協力について

(お願い)

日頃より鴨川市の福祉行政にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

本市におきましては、誰もが住み慣れた地域で、健康で安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、令和 8 年度からの第 4 期鴨川市健康福祉推進計画の策定に着手しております。

先般、計画策定のための基礎資料とすべく、特に充実した活動を展開されている貴団体におかれまして、下記の日程にてインタビュー調査を実施させていただき、団体運営や地域の課題等についてお聞かせいただければと考えております。

この調査は前述の計画策定のためにのみ使用し、回答内容によって貴事業者に不利益となることは決してございません。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

記

1 日にち 令和 7 年 ● 月 ● 日 (●)

2 時 間 ● 時 ● 分 ~ (● 分程度)

3 内 容 聞き取り項目リストを元に下記の項目を質問をさせていただきます。

- (1) 団体の運営について
- (2) 地域の抱えている課題について
- (3) 行政機関・社会福祉協議会への要望について
- (4) その他

4 インタビュー場所 《事前電話にて指定した場所》

5 インタビュー職員 鴨川市市民福祉部福祉課職員 ● 人

【担当】鴨川市市民福祉部福祉課

地域ささえあい係

電話 04-7093-7112

インタビュー内容について（案）

★は特に聞いていきたい優先順位が高い項目です。

意図は大きく分けると2つあり、①団体自身の状況把握、②団体から見た地域の状況把握です。

貴団体の活動の状況について

★問1 活動を行う上で、貴団体が課題だと感じていることや困っていることはありますか。

- ・回答いただいた選択肢を掘り下げる形で伺う

例えば、必要な情報→どんな情報が欲しいか

情報発信ができない→どのようにやりたいか

- ・新たな会員確保や会員減少については、

問2 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。

についても聞いていく

- ・他団体や個人との連携で解決できそうな課題については、

問3 貴団体では、地域他団体や会員以外の個人との交流がありますか。

についても聞いていく

- ・上記に加え、

問4 問1で挙げた課題解決のためには何が必要だと感じますか。ご自由にお書きください。

について聞いていく。

問5 新型コロナウイルスによる影響を受けつつも、新たに取り組んでいることがあれば教えてください。

- ・新たに取り組んでいることを掘り下げる

問6 活動をしていく上で、貴団体は市にどのような支援を希望しますか。

問7 活動をしていく上で、貴団体は社会福祉協議会にどのような支援を希望しますか。

- ・市と社協まとめて、必要な支援について聞く

貴団体から見た地域の状況について

★問8 貴団体の活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。

- ・回答いただいた内容を掘り下げて伺う

例えば、どのような場面でその課題を感じるかといった実例や、活動をしている中で実際に地域の人から聞かれる声など

《参考》 前回団体インタビュー協力依頼リスト（令和２年10月実施）

No.	分類	団体名	役職名	代表者名	住所	インタビュー 担当
1	高齢者	鴨川市老人クラブ連合会	会長	鈴木 助市	鴨川市太海9-5	福祉課
2	障害者	鴨川未来倶楽部NEXT		久根崎 克美	鴨川市西町1231-1	福祉課
3	人権	館山人権擁護委員協議会鴨川支部	部会長	高橋 欽司	鴨川市経営企画課	福祉課
4	その他	鴨川市農林業体験交流協会	会長	渡辺 公康	鴨川市江見太夫崎22（鴨川オーシャンパーク）	福祉課
5	その他	鴨川市赤十字奉仕団	委員長	小滝 久子	鴨川市浜荻1607-1	福祉課
6	健康づくり	長狭地区健康推進協議会	会長	池田 幹雄	鴨川市八色887-1 ふれあいセンター	健康推進課
7	健康づくり	鴨川市スポーツ推進委員連絡協議会	会長	山下 洋介	鴨川市太尾866-1 総合運動施設内	健康推進課
8	健康づくり	鴨川市食生活改善協議会	会長	宮本 利子	鴨川市八色887-1 ふれあいセンター	健康推進課
9	高齢者	天津小湊介護予防サポーター		金高 和江	鴨川市天津2010	健康推進課
10	国際交流	鴨川市国際交流協会	会長	鈴木 健史	鴨川市横渚1450 市民交流課内	健康推進課
11	子ども・青少年	鴨川市子ども会育成会	会長	高橋 和夫	鴨川市天津1104 鴨川市教育委員会	社会福祉協議会
12	地区社協	天津地区社会福祉協議会	会長	小滝 義弘	鴨川市浜荻1607-1	社会福祉協議会
13	地区社協	主基地区社会福祉協議会	会長	栗原 博之	鴨川市南小町538-1	社会福祉協議会
14	地区社協	江見地区社会福祉協議会	会長	山口 俊男	鴨川市江見青木599	社会福祉協議会
15	地区社協	むぎの会（田原地区社協）		金杉 厚子	鴨川市大里626-2	社会福祉協議会